



TOYOTA TUNDRA



MULTIMEDIA
OWNER'S MANUAL

本車両は米国にて生産され、主に米国内でのご使用を前提として設計されております。

そのため、日本国内においては一部機能に制限が生じる場合がございます。

誠に恐れ入りますが、あらかじめご理解・ご了承のうえ、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

基本操作	マルチメディアシステムの基本操作	1
各種設定および登録	さまざまな機能に関する設定や登録など	2
スマートフォンや通信機器の接続	Bluetooth®やWi-Fi®を使用するには	3
ナビゲーション	クラウドナビゲーションを利用するには	4
オーディオ	ラジオや音楽を聴くには	5
ハンズフリー電話	携帯電話をハンズフリーで使用するには	6
コネクテッドサービス	コネクテッドサービスを利用するには	7
付録	参考情報および認証情報	8
さくいん	アルファベット順で検索 五十音順で検索	

はじめに

知っておいていただきたいこと	5
安全にお使いいただくため.....	7
本書の見方	8
イラスト目次.....	10

1 基本操作

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

ディスプレイと操作スイッチ	12
マルチメディア画面の概要.....	14
メインメニュー	15
ステータスアイコン.....	17
タッチスクリーンの操作	19
画面の基本操作	22
文字や数字の入力	24

1-2. ナビゲーションの基本操作

地図画面の概要	25
地図画面の操作	26

1-3. オーディオの基本操作

オーディオの ON/OFF と音量を調整する	29
オーディオソースを変更する	31
USB 機器を接続する	32

1-4. インテリジェントアシスタント

インテリジェントアシスタントシステムを使用する	33
音声操作を開始する.....	36
音声コマンドを発話する	38
検索機能を使用する.....	41

2 各種設定および登録

2-1. マルチメディアシステムの初期設定

ユーザープロファイルの連携.....	44
--------------------	----

2-2. 各種設定

各種設定を変更する.....	49
----------------	----

2-3. ドライバー設定

ユーザープロファイルの切り替えや連携をする	51
ドライバーの特定方法を設定する	53

2-4. 共通設定

マルチメディアシステムの共通設定を変更する	55
-----------------------------	----

2-5. 通知設定

通知設定	57
------------	----

2-6. 画面設定

画面表示の設定を変更する.....	58
-------------------	----

2-7. サウンド&メディア設定

サウンドやメディアの設定を変更する.....	60
------------------------	----

2-8. 音声操作設定

音声操作の設定を変更する.....	64
-------------------	----

2-9. 車両設定

販売店情報を設定する	65
セキュリティ設定を変更する	66
ソフトウェア情報の確認や更新をする.....	68

2-10. ナビゲーションシステム設定

ナビゲーションシステムの設定画面を表示する	73
地図の詳細設定を変更する.....	74
ルートオプション設定を変更する	76

2-11. Wi-Fi®設定

Wi-Fi®設定を変更する	77
Wi-Fi® Hotspot を設定する	79

2-12. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する.....	81
------------------------	----

2-13. アプリケーション設定

アプリケーションを設定する	84
---------------------	----

3 スマートフォンや通信機器の接続

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項	86
Bluetooth®の仕様、対応プロファイル	88
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する	89
Bluetooth®機器の登録を削除する	92
Bluetooth®機器との接続	93
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する	96
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する	97

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項	98
Wi-Fi®を使用してネットワークに接続する	100
Wi-Fi® Hotspot に接続する	103

3-3. Apple CarPlay/Android Autoの使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項	105
未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する	107
登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する	110
未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する	113
登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する	116
Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に	119

4 ナビゲーション

4-1. ナビゲーション

クラウドナビゲーション	124
-------------------	-----

4-2. 地図情報

地図オプション画面	125
地図画面に表示される情報	126

4-3. 目的地の検索

目的地検索画面	127
目的地検索結果のリスト画面	130
POI 提案	131
デスティネーションアシスト	132

4-4. ルート案内の開始

ルート案内の開始	134
全ルートマップ画面	135

4-5. ルート案内画面

ルート案内画面	137
代表的な音声案内	141

5 オーディオ

5-1. ラジオの操作

ラジオを聴く	144
トラブルシューティングガイド	147
問題を特定し、提案された対処方法を実施する	148

5-2. USB メモリーの操作

USB メモリーの音楽ファイルを再生する	149
USB メモリーの再生についての留意事項	151

5-3. iPod/iPhone の操作

iPod/iPhone を再生する	153
iPod/iPhone の再生についての留意事項	155

5-4. Apple CarPlay の操作

Apple CarPlay を再生する	156
Apple CarPlay の再生についての留意事項	158

5-5. Android Auto の操作

Android Auto を再生する	159
Android Auto の再生についての留意事項	160

5-6. Bluetooth®オーディオの操作

Bluetooth®オーディオを再生する161

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項163

5-7. インテグレートッドストリーミング

インテグレートッドストリーミングを再生する164

6 ハンズフリー電話

6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

ハンズフリー電話についての留意事項168

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に172

6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

ステアリングスイッチで操作する175

6-3. 電話のかけ方

履歴から電話をかける176

お気に入りリストから電話をかける177

連絡先から電話をかける178

キーパッドから電話をかける...179

6-4. 電話の受け方

電話に出る180

着信を拒否する181

6-5. 通話中の操作

通話画面で操作する182

割込着信の電話に出る184

通話中に別の通話相手へ電話をかける185

グループ通話をする186

電話を切る187

6-6. ハンズフリー電話の変更

ハンズフリー電話を切りかえる188

6-7. 連絡先データの編集

連絡先データの転送189

6-8. メッセージ機能の使い方

メッセージ機能使用時の留意事項191

メッセージから電話をかける...194

7 コネクテッドサービス

7-1. コネクテッドサービス概要

機能概要196

タイプ A : DCM と本システムを使用する機能198

タイプ B : DCM を使用する機能199

タイプ C : DCM とスマートフォンを使用する機能200

8 付録

8-1. 付録

メディア/データについての情報204

HD ラジオ™/SiriusXM®サテライトラジオについて213

認証情報216

さくいん220




知っておいていただきたいこと

マルチメディア取扱説明書



- 本書は、マルチメディアシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の「取扱説明書」と併せてお読みください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書では、システムのソフトウェアバージョン Ver.2230 までの情報を記載しています。最新情報については、下記 URL から確認することができます。ご使用前には必ずソフトウェアバージョンにあった最新情報をお読みください。本機のソフトウェアバージョンの確認方法は、「ソフトウェア情報の確認や更新をする」(→ P.68)をご覧ください。


国や地域によっては、ソフトウェア更新サービスが利用できない場合があります。

▶ TOYOTA TUNDRA

言語		URL	QR コード
U.S.A.	英語	https://www.toyota.com/owners/resources/warranty-owners-manuals/manual?om=om0c090u.tundra.2026.2508.cv.mm	
カナダ	英語	https://www.toyota.ca/toyota/owners/manual?om=om0c090u.tundra.2026.2508.cv.mm	
	フランス語	https://www.toyota.ca/toyota/owners/manual?om=om0c090d.tundra.2026.2508.cv.mm	

▶ TOYOTA TUNDRA HYBRID

言語		URL	QR コード
U.S.A.	英語	https://www.toyota.com/owners/resources/warranty-owners-manuals/manual?om=om0c090u.tundra.2026.2508.hev.mm	
カナダ	英語	https://www.toyota.ca/toyota/owners/manual?om=om0c090u.tundra.2026.2508.hev.mm	

言語		URL	QR コード
カナダ	フランス語	https://www.toyota.ca/toyota/owners/manual?om=om0c090d.tundra.2026.2508.hev.mm	

- 本書の画面と実際の画面は、装備、契約の有無、地図データの作成時期などによって異なる場合があります。
- 本書に記載されている会社名や製品名などは、各社の商標および登録商標です。

データの補償に関する免責事項について

マルチメディアシステムは各種データを内蔵メモリーに保存します。マルチメディアシステムの故障、修理、誤作動、不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化、消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接または間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

補機バッテリーの取りはずしについて

マルチメディアシステムはエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にするごとに、各種データをマルチメディアシステムに保存しています。各種データの保存が終わる前に補機バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。

安全にお使いいただくため

システムを安全にご利用いただくには、次の安全上の注意をお守りください。

ナビゲーションシステムは目的地に到着するまでのサポートをするものです。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。安全運転をさまたげるような使い方はしないでください。運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。

運転中は音声案内に従い、画面は安全な状況でのみ短時間で確認してください。ただし、音声案内にすべてを頼るのではなく、あくまでも参考としてください。システムが現在位置を正しく特定できない場合、音声案内が誤っていたり、遅れたり、音声案内されないことがあります。

システム内のデータは不完全な場合があります。交通規則（左折禁止、通行止めなど）を含む道路状況は頻繁に変更されます。そのため、システムの指示に従う前に、指示の内容が安全かつ合法で実行可能であるか確認してください。

本システムは、地域の安全性や道路状況、緊急サービスの利用可能状況などについて警告することはできません。安全性が不明な場合は、その地域へ進入しないでください。いかなる場合においても、本システムは運転者自身の判断に代わるものではありません。




▲ 警告

- 安全のため、運転中はシステムを操作しないでください。道路や交通状況への注意が不十分な場合、事故を引き起こす可能性があります。
- 運転中は、必ず交通規制を遵守し道路状況に注意してください。

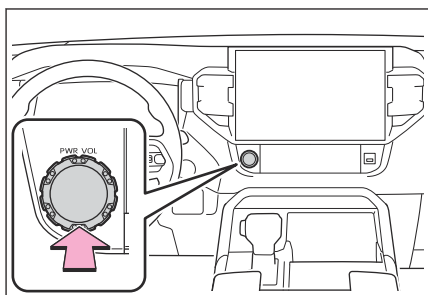
本書の見方


本書で使用している記号について説明します

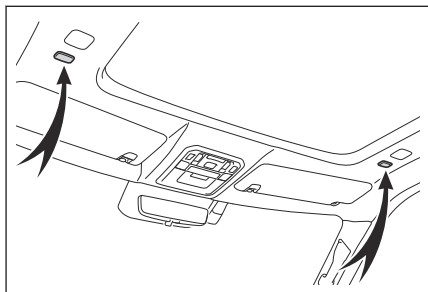
本文の記号について


記号	意味
	警告：お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意：お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
1 2 3...	操作や作業の手順を示しています。
	知識：機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



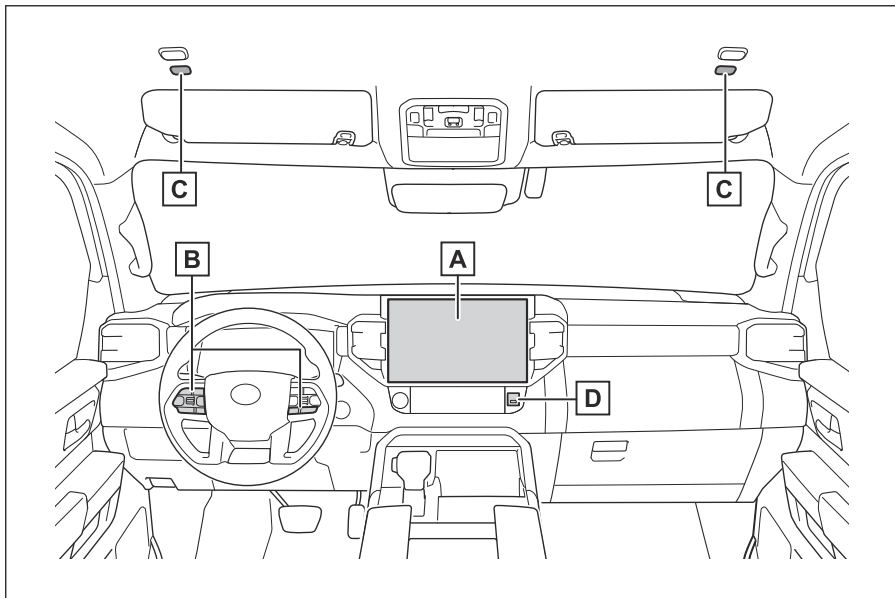
記号	意味
	押す、まわすなどの操作を示しています。



記号	意味
	説明の対象となるものや場所を示しています。

イラスト目次

インストルメントパネル



A	ディスプレイ	P.12
B	ステアリングスイッチ	
	オーディオを操作する	P.29,31,143
	インテリジェントアシスタントシステムを使用する	P.36
	電話をかける	P.175
C	マイク	P.35
D	USB 端子	P.32

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

ディスプレイと操作スイッチ	12
マルチメディア画面の概要	14
メインメニュー	15
ステータスアイコン	17
タッチスクリーンの操作	19
画面の基本操作	22
文字や数字の入力	24

1-2. ナビゲーションの基本操作

地図画面の概要	25
地図画面の操作	26

1-3. オーディオの基本操作

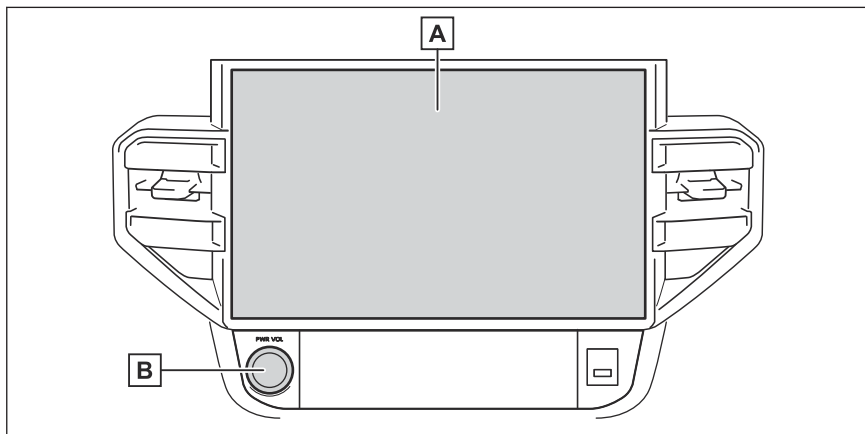
オーディオの ON/OFF と音量 を調整する	29
オーディオソースを変更する	31
USB 機器を接続する	32

1-4. インテリジェントアシスタント

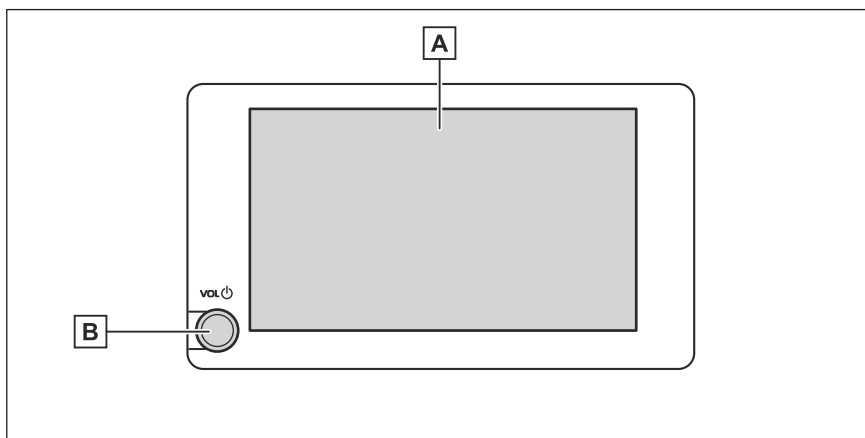
インテリジェントアシスタント システムを使用する	33
音声操作を開始する	36
音声コマンドを発話する	38
検索機能を使用する	41

ディスプレイと操作スイッチ

▶ 14 インチディスプレイ



▶ 8 インチディスプレイ



A ディスプレイ

タッチスクリーンを指で直接ふれて操作します。

B PWR/VOL ノブ

オーディオの ON/OFF や音量を調整できます。

☐ 知識

- 液晶画面は、周囲環境や見る方向により画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面にあたると画面が見にくくなります。

- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

▲ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作をせず、停車させてから操作をしてください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

▲ 注意

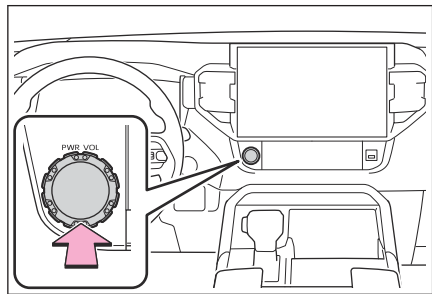
エンジン<ハイブリッドシステム>が停止した状態で長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。

システムを再起動する

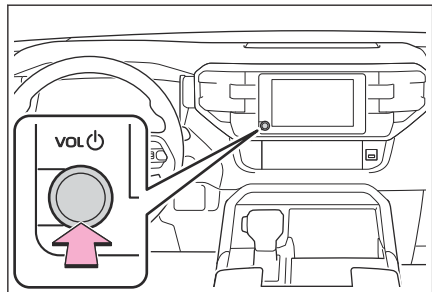
システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動できます。

- **PWR/VOL ノブを 3 秒以上押し続けます。**

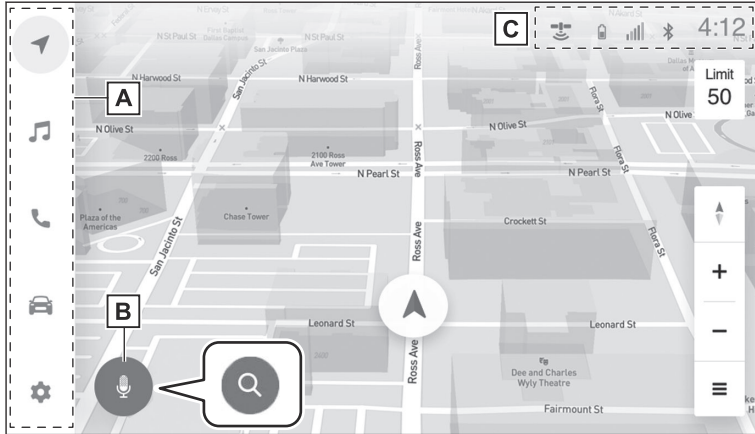
▶ 14 インチディスプレイ



▶ 8 インチディスプレイ



マルチメディア画面の概要



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B 音声検索ボタン

音声操作画面が表示され、音声でナビゲーションやオーディオなどさまざまな機能を操作できます。状況に応じてボタンの表示が変化します。



: 走行中



: 停車中

C ステータスアイコン

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。

関連リンク

[メインメニュー \(P.15\)](#)

[ステータスアイコン \(P.17\)](#)

[音声操作を開始する \(P.36\)](#)

メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。



: Apple CarPlay®

Apple CarPlay 画面を表示します。対応デバイスがシステムに接続され、該当機能が有効になっている場合に Apple CarPlay アイコンが表示されます。
(→ P.107,110)



: Android Auto™

Android Auto 画面を表示します。対応デバイスがシステムに接続され、該当機能が有効になっている場合に Android Auto アイコンが表示されます。
(→ P.113,116)



: ナビゲーション

地図画面を表示します。目的地検索などナビゲーションに関する操作を行うことができます。(→ P.25,124)



: オーディオ

オーディオ操作画面を表示します。お好みのオーディオソースを選択して再生できます。(→ P.31,143)



: 電話

電話画面を表示します。Bluetooth®接続した携帯電話を使用してハンズフリー通話を行うことができます。(→ P.167)



: 車両連携*1

車両情報画面を表示します。燃費などの車両情報の表示や車両装備の設定を行うことができます。



: 設定

*1: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

設定画面を表示します。マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。(→ P.49)

 知識

Apple CarPlay/Android Auto のアイコンは、対応機器を接続して機能を有効にすると表示されます。

ステータスアイコン

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。



4:12

現在の時刻が表示されます。時計にタッチすると、日付や時刻の設定画面を表示できます。



Bluetooth[®]接続されている携帯電話の接続状態が表示されます。アイコンにタッチすると、Bluetooth[®]機器の設定画面を表示できます。



接続されている携帯電話の受信レベルが表示されます。



接続されている携帯電話の電池残量が表示されます。



通信モジュール（DCM）の受信状態が表示されます。^{*1}



Wi-Fi[®]の受信レベルが表示されます。



Wi-Fi[®] Hotspotの接続状況が表示されます。^{*1}



^{*1}: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

クリアランスソナーが作動している場合に表示されます。★



電話画面以外の画面が表示されているときにハンズフリー通話が行われた場合に表示されます。



ワイヤレス充電器が搭載されている場合に表示されます。★

 知識

- 携帯電話の電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- Wi-Fi®の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。
- 次のような場所や状態で携帯電話を使用すると、Bluetooth®接続ができないことがあります。
 - 携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、グローブボックスやコンソールボックスの中にあるとき
 - 携帯電話が金属製のものに接していたり、覆われていたりするとき
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth®接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

— 関連リンク —

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.55\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

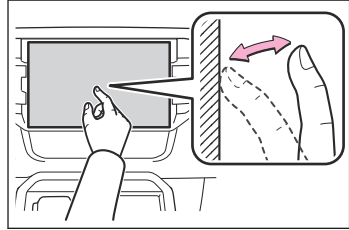
★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

タッチスクリーンの操作

画面を指で直接ふれて操作します。

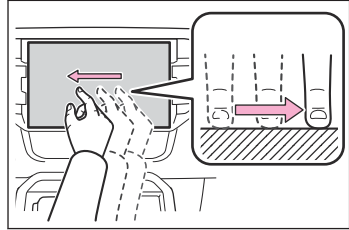
■ タッチ

画面を指で軽くタッチします。画面内の項目を選択できます。



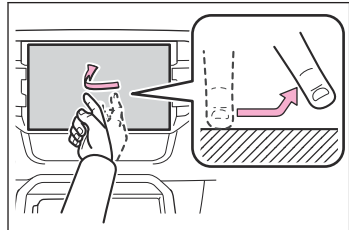
■ ドラッグ

画面にふれたまま指を動かします。リスト画面や地図画面を指を動かした分だけスクロールできます。



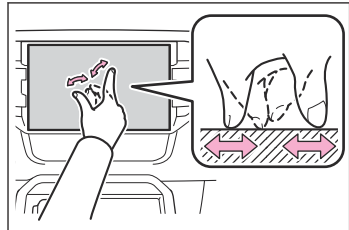
■ フリック

画面にふれた指先を素早く払います。リスト画面や地図画面を大きくスクロールできます。



■ ピンチイン／ピンチアウト

画面にふれた2本の指を広げたり近づけたりします。地図の拡大や縮小を行うことができます。



□ 知識

- 一部の機能において、長押し（画面にタッチし続ける）やダブルタップ（画面に素早く2回タッチする）が必要な操作があります。
- 画面をタッチするときの感度レベルを変更できます。
- 画面のボタンにタッチしたときの応答音出力の有無を変更できます。
- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。
- 走行中は操作が制限されます。

— 関連リンク —

[マルチメディアシステムの共通設定を変更する \(P.55\)](#)

タッチスクリーン操作上の留意事項

□ 知識

- タッチスクリーン操作の反応がないときは、一度画面から手を離して再度操作をしてください。
- 次の場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - 手袋などを装着しているとき
 - 爪で操作したとき
 - 他の指や手のひらが画面にふれているとき
 - 画面に汚れや水分が付着しているとき
 - 画面にフィルムなどを貼ったり、塗装などをしたとき
 - 近くにテレビ塔や発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など、強い電波やノイズを発生する場所があるとき
 - 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき、または車内で充電しているとき
- 画面に次のような金属製のものが接していたり、覆われていたりしている場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
 - アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - アルミ箔を使用したタバコの箱
 - 財布やかばんの金属部品
 - 小銭
 - CD/DVD などのメディア、USB ケーブルなど
- 画面に手がふれた状態でシステムを起動すると、タッチスクリーン操作が反応しないことがあります。画面から手を離し再度操作をしてください。それでも反応しない場合は、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にし、再度システムを起動してください。

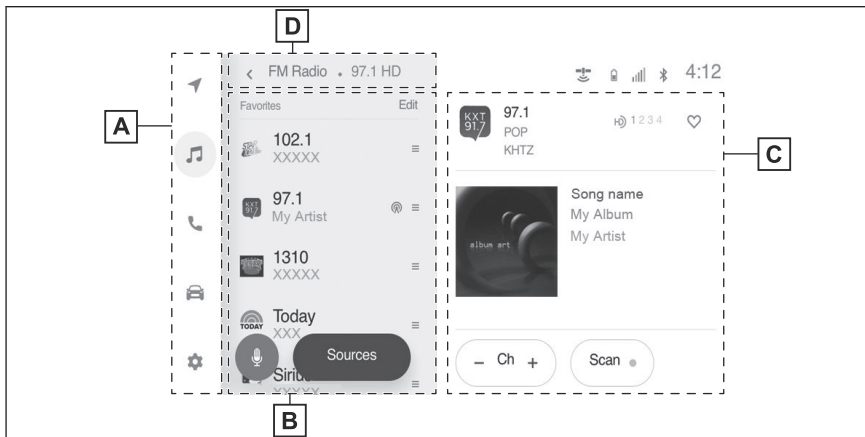
- Apple CarPlay のマップアプリはピンチイン／ピンチアウト機能に対応していません。

注意

- 画面保護のため、指を軽く画面にふれてタッチスクリーンを操作してください。
- 指以外のものでもタッチスクリーンを操作しないでください。
- 画面の汚れは、メガネ用クリーニングクロスなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- ベンジンやアルカリ性溶液などを使用して画面を清掃しないでください。画面が損傷するおそれがあります。
- 条件によって画面表面が熱くなることがあります。長時間ふれ続けると低温やけどを起こす可能性があります。

画面の基本操作

設定画面や楽曲検索など、複数の候補がある場合にリスト画面が表示されます。リストをスクロールして希望の項目を選択します。



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B サブメニュー

項目がリストで表示されます。ドラッグまたはフリック操作でリストをスクロールできます。

C メインエリア

サブメニューで選択した項目の詳細情報が表示されます。

D 戻るボタン／画面タイトル

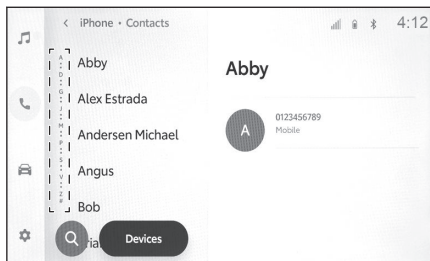
画面タイトルが階層表示されます。[<]にタッチすると1つ上の階層に戻ります。

知識

走行中は操作が制限されます。

■ リストの検索

インデックスの文字にタッチすると、リストの中から希望の項目を表示できます。

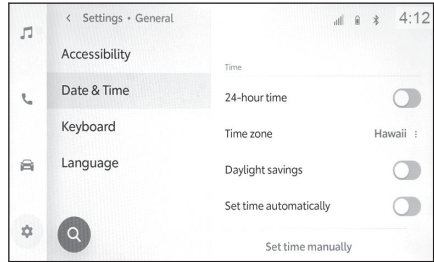


■ 設定の ON/OFF 切りかえ


項目にタッチすると、設定の ON/OFF が切りかわります。

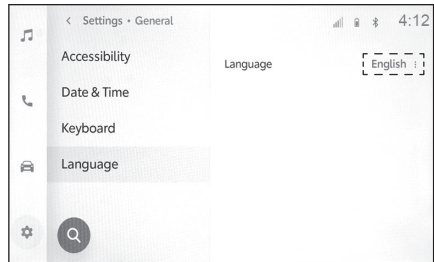
 : ON

 : OFF



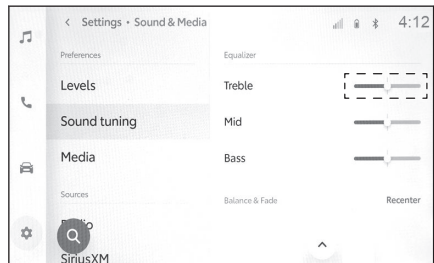
■ 複数オプションの設定項目

[]が付いた項目にタッチすると、複数のオプションから項目を選択できます。



■ レベル調整

スライダーをドラッグして項目のレベルを調整できます。



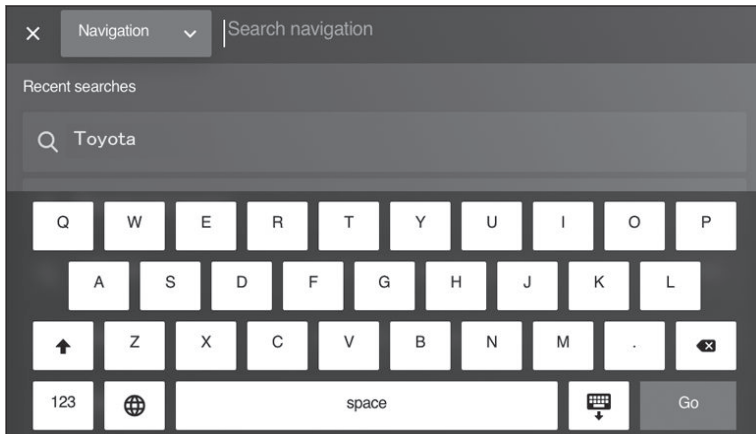
関連リンク

[メインメニュー \(P.15\)](#)

文字や数字の入力

キーボードを使用して、文字や数字を入力できます。文字を入力すると、あとに続く文字を予測して変換候補が表示されます。

▶ 画面例




 : キーボードを終了して前の画面にもどります。

 : 1つ前の文字を消去します。

 : キーボードの種類を切りかえます。

 : 大文字と小文字を切りかえます。

[Go] : 入力した文字を確定して検索を実行します。


 : キーボードを閉じます。

123 : 数字や記号の入力モードに切りかえます。


ABC : アルファベット入力モードに切りかえます。

知識

- 機能により、表示されるキーボードの種類が異なります。

- ]をダブルタップすると、入力する文字を大文字に固定することができます。

地図画面の概要

地図画面を表示するには、メインメニューの[]にタッチします。



A 速度制限アイコン

走行中の道路の速度制限を表示します。

B 方位マーク

地図の方角を表示します。タッチすると地図の向きが切りかわります。

C 拡大／縮小ボタン

地図の表示を拡大／縮小します。

D 地図オプションボタン

地図オプション画面を表示します。

E 自車位置マーク

現在位置と車が向いている方角を表示します。タッチすると、現在位置の詳細情報が表示され、車両の現在位置を共有することもできます。

F 音声検索ボタン

音声操作画面を表示します。

— 関連リンク —

[現在地の表示 \(P.26\)](#)

[地図のスケール \(P.26\)](#)


[地図の向き \(P.26\)](#)

[音声操作で目的地を検索する \(P.129\)](#)

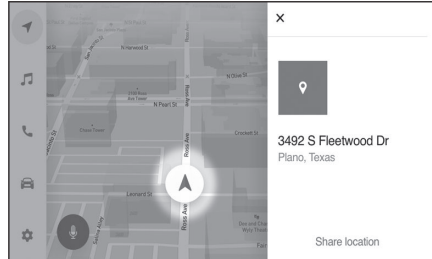
地図画面の操作

現在地表示や地図のスクロールなど、地図表示に関する基本的な操作について説明します。



現在地の表示

[] をタッチすると、現在地の詳細情報が表示されます。

[Share location] : 車両の現在地を登録済みの連絡先と共有します。この機能を使用するには、スマートフォンをマルチメディアシステムに接続する必要があります。



地図のスケール


[] または [] をタッチすると、地図のスケールを変更できます。




知識

- 画面をピンチアウトすると拡大、ピンチインすると縮小します。
- 1本指でのダブルタップでも拡大できます。2本指でのダブルタップは縮小します。
- 2本指でスライドすると3D表示と2D表示を切り替えることができます。


地図の向き

[] にタッチするごとに、ノースアップ、ヘディングアップまたは3Dヘディングアップに切りかわります。

[] : ノースアップアイコン


車両の進行方向に関わらず、地図は常に北を上にして表示されます。



[]: ヘディングアップアイコン

地図は常に進行方向を上にして表示されます。



[]: 3D ヘディングアップアイコン

3D マップを表示します。地図は常に進行方向を上にして表示されます。

地図のスクロール操作

タッチした地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。

フリック／ドラッグ操作

地図は、タッチ、ドラッグ、フリックで移動できます。[Recenter]をタッチすると、自転車位置マークが地図の中心に戻ります。



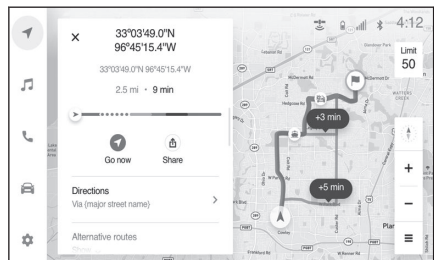
長押し操作

地図上で目的の地点を長押しすると、選択した地点までのルートが表示されます。

1 目的の地点を長押しします。



2 選択した地点までの全ルートが表示されます。



— 関連リンク —

[全ルートマップ画面 \(P.135\)](#)

オーディオの ON/OFF と音量を調整する

オーディオを使用しないときに OFF にしたり、適度な音量に調整できます。エンジンスイッチ<パワースイッチ>が ACC または ON のときにシステムを使用できます。

⚠ 注意

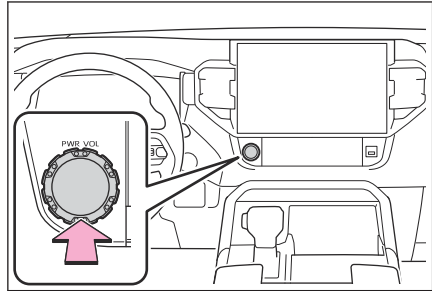
- エンジンがかかっていない状態<ハイブリッドシステムが作動していない状態>で、オーディオシステムを長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。
- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

■ オーディオコントロールスイッチの操作

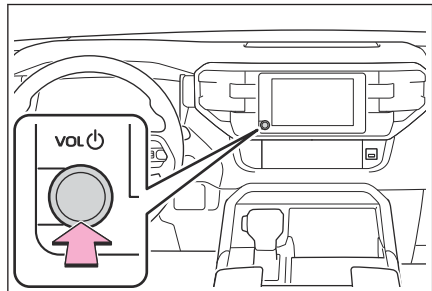
PWR/VOL ノブ

押すたびにオーディオの ON/OFF を切り替えます。回すと音量を調整できます。


▶ 14 インチディスプレイ



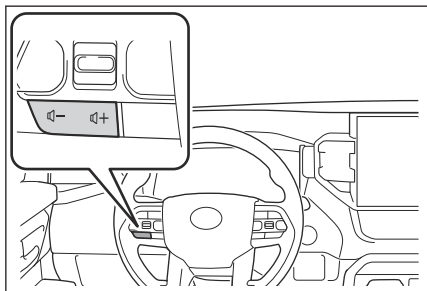
▶ 8 インチディスプレイ



■ ステアリングスイッチの操作

[]スイッチ

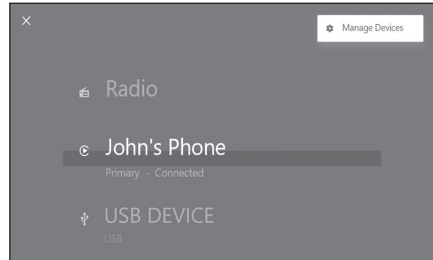
オーディオの音量を調整します。押し続けると、連続して音量を調整できます。



オーディオソースを変更する

ラジオや USB などのソースを変更できます。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 希望のソースにタッチします。



知識

- マルチメディアシステムにデバイスが接続されていない場合、ソース選択画面にスイッチは表示されません。(USB/iPod/Apple CarPlay/Android Auto/Bluetooth®オーディオ)
- オーディオを聴いているときに車内または車の付近で携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズが出る場合があります。
- Apple CarPlay を USB 接続している場合は、次の機能は使用できません。
 - iPod
 - USB オーディオ
- Android Auto を USB 接続している場合は、USB オーディオは使用できません。

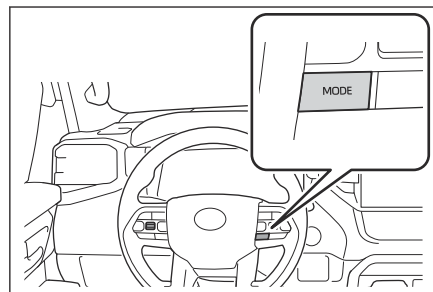
ステアリングスイッチでソースを変更する

ステアリングスイッチでソースの変更ができます。

[MODE]スイッチ

ソースが順番に切りかわります。

押し続けると一時停止または消音します。再度押し続けると解除します。

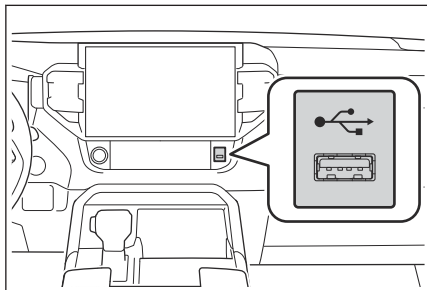


USB 機器を接続する

スマートフォンやポータブルプレーヤーなどの機器を接続できます。

● USB ケーブルを端子に接続します。

USB メモリーを接続するときは USB 端子に直接接続してください。



□ 知識

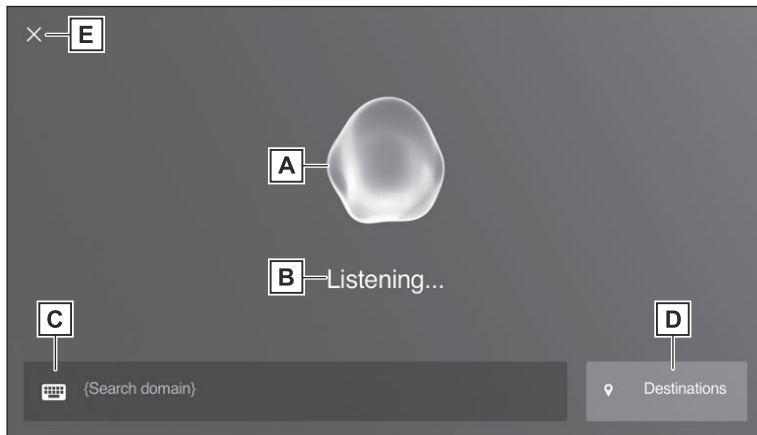
- お使いの機器によっては使用できない場合があります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- USB ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車両のアクセサリースOCKETを使用すると、ノイズが出ることがあります。(アクセサリースOCKETについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください)

⚠ 注意

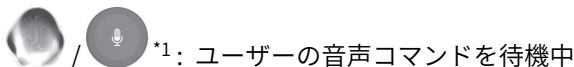
- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

インテリジェントアシスタントシステムを使用する

インテリジェントアシスタントは、音声コマンドでマルチメディアシステムを操作できるサブスクリプション型のサービスです。ナビゲーション、インテグレートッドストーリーミング、ラジオ、電話などの操作が可能です。サブスクリプションを解約した場合、アシスタントはラジオと電話機能に限定されます。



A 音声認識ステータスが表示されます。



B インテリジェントアシスタントシステムの応答を表示します。

C キーボード画面を表示します。

キーボードを使用してさまざまな情報を検索できます。

D 目的地履歴やお気に入りなどのカテゴリ一覧から目的地を設定します。

E 音声操作画面を閉じます。

*1: サブスクリプションを解約した場合

知識

運転中は、音声コントロールバーが画面下部に表示されます。



関連リンク

[検索機能を使用する \(P.41\)](#)

[カテゴリから目的地を検索する \(P.127\)](#)

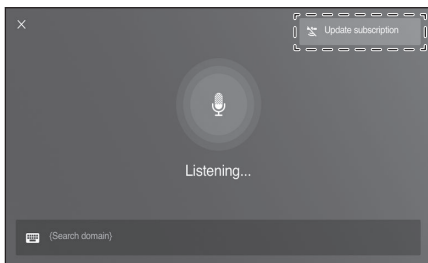
インテリジェントアシスタントクラウドサブスクリプション^{*1}

インテリジェントアシスタントは、お客様に次の強化された機能を提供します。

- 音声認識／自然言語理解の強化
車載音声認識とクラウドベースの音声認識を併用することで、音声パフォーマンスを向上させます。
- パーソナライズされたエクスペリエンス
クラウドに保存されたユーザー学習データを活用し、個々のユーザーに合わせてパーソナライズされたエクスペリエンスを提供します。
- 最新情報
クラウドコンテンツは常に最新の状態に保たれているため、データ更新のために販売店を訪れる必要がありません。

知識

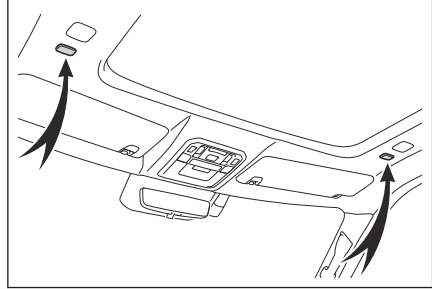
[Update subscription]ボタンをタッチするか、トヨタアプリを使用して、インテリジェントアシスタントクラウドサブスクリプションを更新できます。



^{*1}: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

マイク位置

マイクは運転席側と助手席側にそれぞれ設置されています。



☐ 知識

- 起動ワードで音声操作システムを起動することで、運転席または助手席から音声操作を行うことができます。その際、音声操作システムを起動させた席以外からの音声コマンドは認識されません。
- 助手席からの音声操作は、一部の機能を利用することができません。


対応言語

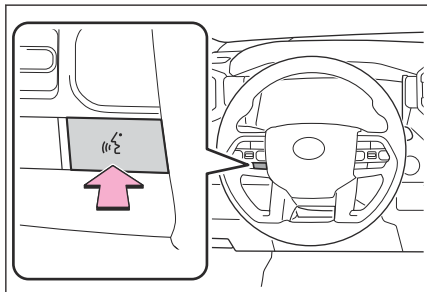
インテリジェントアシスタントが認識する言語は、英語、フランス語、スペイン語です。

音声操作を開始する

次のいずれかの操作で音声操作をはじめることができます。

■ トークスイッチを押す

ステアリングの[]スイッチ（トークスイッチ）を押します。

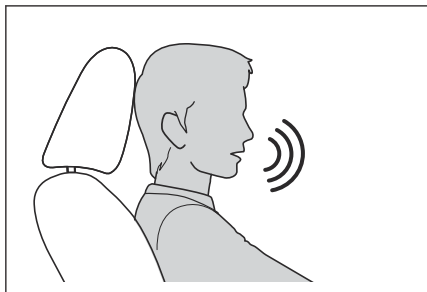


■ 起動ワードを発話する



「Hey Toyota」と発話します。

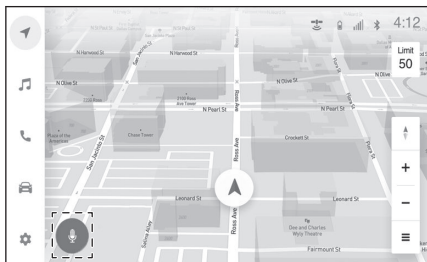
- 起動ワードの ON/OFF を変更できます。
- 起動ワードと音声コマンドを続けて一度に発話できます。

例: 「Hey Toyota」、「Take me to an Italian restaurant.」




■ 音声検索ボタンにタッチする

画面の[]または[]にタッチします。



知識

- ステアリングの[]スイッチまたは音声検索ボタンでインテリジェントアシスタントを起動した場合は、運転席からのみ音声操作を行うことができます。
- インテリジェントアシスタントは、正しく発話しないと認識されないことがあります。次の点にご留意の上、ご使用ください。

- ハッキリした声で発話してください。
- 騒音（風切り音や外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、窓を閉めてください。
- エアコンの送風音が大きいときは、正しく認識されないことがあるため、風量を下げてください。
- 音楽が大音量で再生されているときは、正しく認識されないことがあるため、音量を下げてください。
- 複数人で同時に話すとは認識されないことがあります。
- 音声ガイドの途中でも音声コマンドを発話できます。
- 音声ガイドの ON/OFF は、音声操作設定画面で変更できます。
- システムの音声音量は、[Sound & Media]設定画面で調整できます。


— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

[音声操作の設定を変更する \(P.64\)](#)

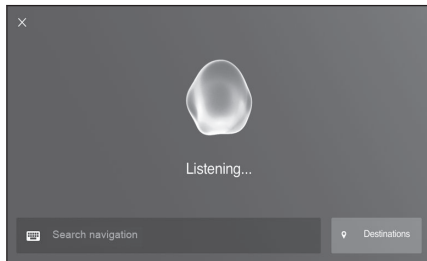
音声操作を終了する

次のいずれかの操作で音声操作を終了します。

- 「Cancel」と発話します。
- 音声操作画面の[×]にタッチします。
- ステアリングの[>]スイッチを長押しします。

音声コマンドを発話する

音声操作画面が表示されたら音声コマンドを発話してください。システムは自然な発話を認識できます。



□ 知識

- 方言や言い方の違いなどにより正しく認識されないことがあります。
- 地名や施設を検索するときに、システムが通称や略称を認識しない場合は、正式名称でお話してください。

機能一覧

次の表は、各機能カテゴリでよく使用されるコマンドの一覧です。

- 利用可能な機能は、搭載されているシステムによって異なる場合があります。
- サブスクリプションの記載のある項目は、インテリジェントアシスタント機能が必要です。

■ 共通

動作	発話例	サブスクリプション
一般的なコマンドの一覧を表示します	「Help」	不要
現在の会話を中断し、最初から再開します	「Start over」	不要
音声操作をキャンセルします	「Cancel」	不要

■ ナビゲーション

インテリジェントアシスタントシステムでは、ナビゲーションの音声検索が可能です。これにより、POI（Point of Interest）や住所への案内、新しい POI の発見など、さまざまな機能が利用できます。

動作	発話例	サブスクリプション
目的地検索	「Take me to <location category/business name>」 「Take me to an Italian restaurant」 「Take me to <address>」 「Take me to 6565 Headquarters drive Plano TX」 「Take me home」 「Take me to work」	必要
地図操作	「Zoom in」 「Zoom out」	必要
ルート情報	「Cancel trip」	必要
テレマティクス	「Call Destination Assist」	不要

■ マルチメディアの操作

音声でインテリジェントアシスタントと対話しながら様々なマルチメディアタスクを実行できます。

動作	発話例	サブスクリプション
ラジオ	「Tune to 99.5 FM」 「Tune to Rock on FM」 「Tune to channel 2 on SiriusXM」	不要
メディア	「Mute audio」 「Next」 「Previous」	不要
メディアストリーミング	「Play <artist/album/song/genre/playlist>」 「Play Frank Sinatra」	必要

■ ハンズフリー電話の操作

インテリジェントアシスタントとの対話により、連絡先への電話やデスティネーションアシストの呼び出しなど、音声入力によるさまざまなタスクを実行できます。

動作	発話例	サブスクリプション
電話	「Call John Smith」 「Dial 555 212 1212」 「Call back」 「Redial」	不要
メッセージ	「Send message to John Smith」 「Read message」	不要

■ 画面表示の切り替え

音声で簡単に様々な機能の画面に切り替えることができます。

動作	発話例	サブスクリプション
ナビゲーション	「Show map」	必要
電話	「Show recent calls」	不要
マルチメディア	「Show the FM station list」	不要
設定	「Show display settings」	不要


■ 通知

ユーザーの好み、車両の位置情報、学習した行動に基づいて通知を行います。サービス毎にトヨタアプリから通知の ON/OFF を設定できます。

動作	内容	サブスクリプション
POI 提案 (ナビゲーション)	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンアプリで共有された POI ● 目的地付近の駐車場提案 	必要
燃料残量低下通知 (ナビゲーション)	燃料残量が少なくなると自動的にユーザーに通知します。その場合、付近 (前方) またはルート沿いの POI リストが表示され、タッチ操作で選択して案内することができます。	必要

検索機能を使用する

キーボードを使用して、連絡先、音楽、場所、車両設定などを検索できます。インテリジェントアシスタントをご利用の場合は、クラウド上のコンテンツを活用した目的地検索ができます。

- 1  にタッチします。
- 2 検索したいジャンルにタッチします。

[Navigation]: 住所、交差点、POI、電話番号、道路名などで検索します。

[Media]: アーティスト名、曲名、アルバム名、放送局名、ジャンルなどで検索します。

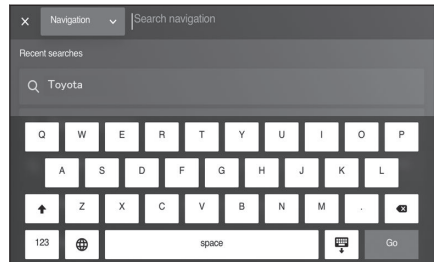
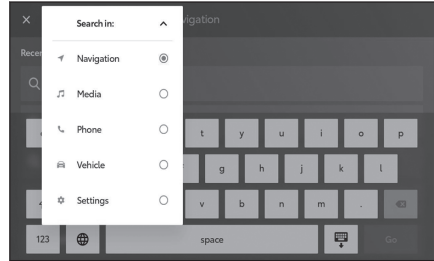
[Phone]: 連絡先名または電話番号で検索します。

[Vehicle]: 燃費など、表示したい項目を入力して検索します。

[Settings]: 一般、日時、言語と単位、通知など、設定したい項目を入力して検索します。

- 3 検索するテキストを入力し、**[Go]**にタッチします。

複数の条件を指定する場合は、単語の間にスペースを入れて検索します。



- 4 検索結果の一覧が表示されたら、目的の項目にタッチします。

知識

- 車速が約 8km/h (5mph) を超えると、画面の操作が制限されます。
- Apple CarPlay および Android Auto の画面がアクティブな場合、キーボード検索は利用できません。

2-1. マルチメディアシステムの初期設定	
ユーザープロファイルの連携.....	44
2-2. 各種設定	
各種設定を変更する.....	49
2-3. ドライバー設定	
ユーザープロファイルの切り替えや連携をする.....	51
ドライバーの特定方法を設定する.....	53
2-4. 共通設定	
マルチメディアシステムの共通設定を変更する.....	55
2-5. 通知設定	
通知設定.....	57
2-6. 画面設定	
画面表示の設定を変更する.....	58
2-7. サウンド&メディア設定	
サウンドやメディアの設定を変更する.....	60
2-8. 音声操作設定	
音声操作の設定を変更する.....	64
2-9. 車両設定	
販売店情報を設定する.....	65
セキュリティ設定を変更する.....	66
ソフトウェア情報の確認や更新をする.....	68
2-10. ナビゲーションシステム設定	
ナビゲーションシステムの設定画面を表示する.....	73
地図の詳細設定を変更する.....	74
ルートオプション設定を変更する.....	76

2-11. Wi-Fi®設定

Wi-Fi®設定を変更する.....77

Wi-Fi® Hotspot を設定する.....79

2-12. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する.....81

2-13. アプリケーション設定

アプリケーションを設定する.....84

ユーザープロファイルの連携^{*1}


マルチメディアシステムの初期設定として、メインユーザーのユーザープロファイルを連携します。

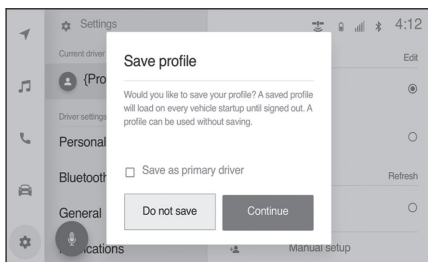
ユーザープロファイルを連携することで、車両やマルチメディアの各種設定をドライバーごとにプロファイルとして保存できます。家族や友人など複数のドライバーで車両を運転する場合、他のドライバーの設定を変更せずに運転できます。

ユーザープロファイルを使用しない場合は、ゲストモードで車両を運転できます。

ユーザープロファイル

ドライバーごとにマルチメディアや車両設定の一部を保存でき、乗車時に設定を呼び出すことができます。

- 最大3つのユーザープロファイルを保存できます。
- プロファイルを保存すると、サインアウトするまで毎回設定が読み込まれます。
 - マルチメディア設定の例：音量、オーディオ、ナビゲーション、電話
 - 一部の車両では、エアコンやマルチインフォメーションディスプレイの情報も保存できます。
- 設定を変更すると現在の設定情報が自動的に保存されます。
- プロファイルを使用することにより、検索履歴、個別設定、その他の個人情報を保護できます。
- メインメニューの[]にタッチするとドライバーリスト画面が表示され、プロファイルが変更できます。



■ トヨタアカウントとの連携

- プロファイルを使用するには、有効なトヨタアカウントが必要です。
- 連携されたプロファイルはクラウドに保存されるため、車両でプロファイルを削除してもクラウドからは削除されません。
- トヨタアプリを使用してトヨタアカウントと連携すると、どの車両でもクラウドからプロファイルを読み込むことができます。

^{*1}: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

- 車両オーナーとして登録されたドライバーは、車両に保存されているすべてのプロフィールを削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナーのプロフィールを削除できません。
- 同じプロフィールを他の車両で同時に使用することはできません。
- 一部のマルチメディア設定を変更すると、クラウドに保存されているプロフィールが自動的に更新され、プロフィールが更新されたことを通知する画面が表示されます。
- アメリカ合衆国本土 48 州以外の地域では、車両間のユーザープロフィールの移行機能が利用できない場合があります。

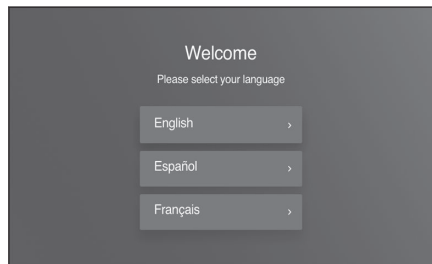
 関連リンク

[ドライバーの特定方法を設定する \(P.53\)](#)

ユーザープロフィールの初回連携

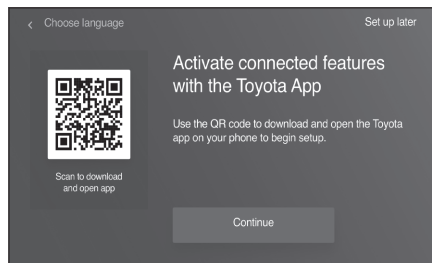
ユーザープロフィールを使用するには、有効なトヨタアカウントが必要です。

- 1 車両を始動後、言語選択画面が表示されます。希望の言語をタッチします。



- 2 車両にプロフィールを連携するには、スマートフォンのカメラで QR コードをスキャンし、トヨタアプリをダウンロードしてください。


プロフィールを連携しない場合は、[Set up later]をタッチしてください。[Do not show setup again]をタッチすると、プロフィール連携画面は今後表示されなくなります。



- 3 トヨタアプリを開き、サインインした状態で車両追加を選択し、アプリ内で車両識別番号 (VIN) を入力またはスキャンします。マルチメディアシステム画面で[Continue]を選択すると、8桁の認証コードが表示されます。
- 4 トヨタアプリでサブスクリプションまたはトライアルの設定を完了し、[I've completed app setup]にタッチします。
 - 連携が完了するとメッセージが表示され、プロフィールが保存されます。
 - トヨタアプリでサブスクリプションまたはトライアルの設定を完了した場合、マップ画面が表示され、ナビゲーションシステムが使用可能になります。

- トヨタアプリでサブスクリプションまたはトライアルの設定を完了しない場合、サブスクリプション画面が表示され、ナビゲーションシステムは使用できません。
- 5 プロファイルを連携した後、ドライバーを識別するために Bluetooth®デバイスを登録します。設定を続行するには、[Yes]にタッチします。
- 後でデバイスを登録することも可能です。

□ 知識


- ユーザープロファイルが連携されていない場合、メインメニューの[]および[Get Started]を選択することで、このプロセスを再開できます。
- ユーザープロファイルに登録されている Bluetooth®デバイスのうち、最後に使用したドライバーの Bluetooth®デバイスのみが検出されます。Bluetooth®デバイスの使用状況によっては、ドライバーの識別が遅れたり、車両の始動前に識別できない場合があります。そのため、Bluetooth®デバイスに加えてスマートキーを登録することを推奨します。

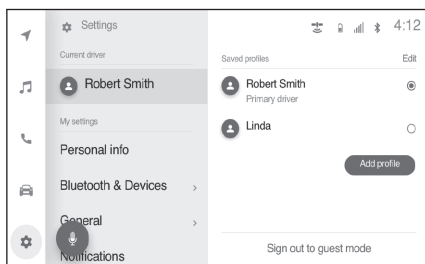
— 関連リンク —

[ユーザープロファイルの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

ユーザープロファイルを切り替える

車両に保存されているユーザーリストから、使用するプロファイルを選択できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 「Saved profiles」から、変更したいユーザープロファイル名を選択します。




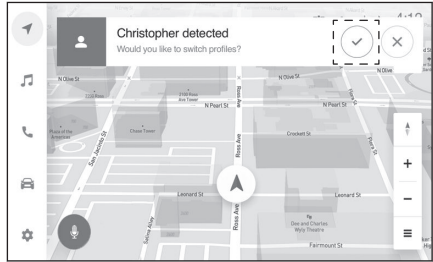
- 3 PIN コードを入力します。

- トヨタアカウント作成時にトヨタアプリで設定した PIN コードを入力してください。
- Bluetooth®デバイスがドライバーの認証デバイスとして登録されている場合は、PIN コードは不要です。
- ユーザープロファイルが変更されると、画面にメッセージが表示されます。

□ 知識

システムが別のユーザープロフィールに設定されたデバイスを検出すると、ポップアップメッセージが表示されます。

[]をタッチすると、ユーザープロフィールを変更できます。

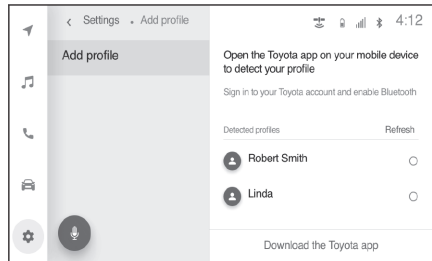


検出されたプロフィールを読み込む

システムが別のドライバーが使用しているスマートフォン上のトヨタアプリを検出すると、検出されたプロフィール名が画面に表示されます。使用するプロフィール名をタッチし、PIN コードを入力してプロフィールを変更してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Add profile]にタッチします。
- 3 [Detected profiles]から、変更したいユーザープロフィール名を選択します。

[Refresh]をタッチして、プロフィールリストを更新してください。

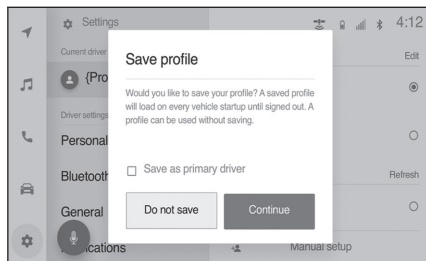


4 PIN コードを入力します。

- トヨタアカウント作成時にトヨタアプリで設定した PIN コードを入力してください。
- ドライバーに Bluetooth® デバイスを識別デバイスとして接続している場合は、PIN コードは不要です。
- プロフィールが変更されると、画面にメッセージが表示されます。

5 車両にプロフィールを保存するには、[Continue]をタッチします。


- 読み込んだプロフィールは、車両にプライマリドライバーまたはセカンダリドライバーとして保存できます。
- この車両にプロフィールを保存したくない場合は、一時的に使用することもできます。




保存されたプロフィールを削除する

次のいずれかの操作で、車両に保存されたユーザープロフィールを削除することができます。

プロフィールリストからプロフィールを削除する

- 1 メインメニューの[

設定からプロフィールを削除する


- 1 メインメニューの[

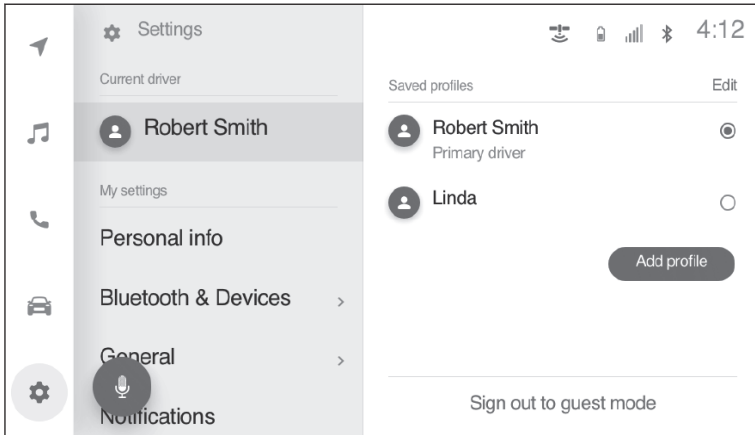
知識



- 車両のオーナーとして登録されているドライバーを削除すると、その他全てのドライバーのプロフィールが削除されます。
- オーナーとして登録されているドライバーは、車両に登録されたすべてのプロフィールを削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナーのプロフィールを削除できません。

各種設定を変更する

マルチメディアシステムや車両装備の各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
「Current driver」	
[ (ユーザープロフィール名)]	現在のユーザープロフィール名を表示します。プロフィールをタッチすると、ユーザープロフィールの変更や連携ができます。(→ P.51)
[ Guest]	
「My settings」	
[Personal info]	ドライバーを識別するためのデバイスを登録します。(→ P.53)
[Bluetooth & Devices]	Bluetooth®デバイスを登録または編集します。(→ P.81)
[General]	時刻設定や表示言語、その他のマルチメディアの共通設定を変更します。(→ P.55)
[Notifications]	ソフトウェア更新やその他の通知の設定を変更します。(→ P.57)
[Wi-Fi]	Wi-Fi®の設定を行います。(→ P.77)
[Display]	画面のコントラストや明るさなどを調整します。(→ P.58)
[Sound & Media]	システムの音声設定やラジオの設定などを変更します。(→ P.60)

設定項目	内容
[Navigation]	地図表示やルート案内に関する設定を変更します。(→ P.74,76)
[Voice & Search]	インテリジェントアシスタントに関する設定を変更します。(→ P.64)
「Vehicle」	
[Vehicle customize] ⁽¹⁾	車載機器に関する設定を変更します。
[Dealer info]	販売店情報の追加や編集、削除を行います。(→ P.65)
[Info & Security]	セキュリティとプライバシーに関する設定を変更します。(→ P.66)
[Software update]	ソフトウェア情報の確認や更新を行います。(→ P.68)
[Apps]	アプリケーションや Remote Connect を再インストールします。(→ P.84)




(1) 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

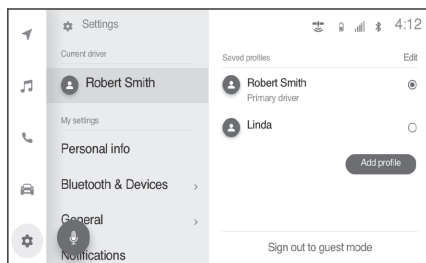
知識

安全上の理由により、走行中は操作できない機能があります。

ユーザープロファイルの切り替えや連携をする^{*1}

ユーザープロファイルの切り替えや連携ができます。ユーザープロファイルを連携すると、ドライビングポジションやマルチメディア設定、その他さまざまな車両個別設定を、ドライバーごとのプロファイルとして保存できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[] (ユーザープロフィール名) または[] [Guest]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
[Get started]	プライマリーユーザーのプロファイルが登録されていない場合は、プロファイルの連携が開始されます。(→ P.45)
[Saved profiles]	車両に登録されているユーザープロファイルがリスト表示されます。使用したいプロファイルをタッチし、PIN コードを入力してプロファイルを切り替えることができます。 [Edit]にタッチすると、登録済みのプロファイルを削除できます。プロファイルはクラウド上に保存され、すべての設定とカスタマイズ情報は保持されます。車両には最大3つのユーザープロファイルを登録できます。
[Add profile]	[Add profile]にタッチすると、検出されたプロファイルが画面に表示されます。 システムが別のドライバーが使用しているスマートフォン上のトヨタアプリを検知した場合、検知されたプロファイル名が画面に表示されます。使用したいプロファイル名をタッチし、PIN コードを入力するとプロファイルを切り替えることができます。 [Refresh]をタッチするとプロファイルリストを更新します。リストにBluetooth®デバイスが見つからない場合、検知されたプロファイルリストを手動で更新します。
[Sign out to guest mode]	現在のユーザープロファイルからサインアウトするとゲストモードに移行します。この機能はバレットサービス時に個人情報保護のために利用できます。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。


設定項目	内容
[Sign out to guest mode]	検索履歴および個人設定以外のドライバー設定は、ゲストのドライバー設定に引き継がれます。

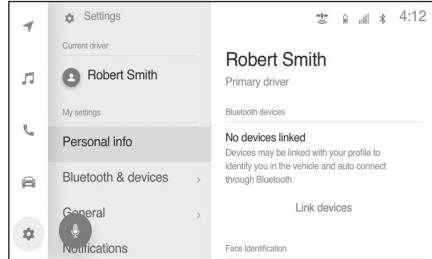
 知識

安全上の理由により、走行中はこれらの設定を操作できません。

ドライバーの特定方法を設定する

ドライバーを識別するためのデバイスを設定します。車両の始動時に登録済みのデバイスが検出されると、デバイスに割り当てられたプロファイルが自動的に読み込まれます。登録するデバイスとして、スマートフォンとスマートキーを選択できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Personal info]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
ユーザープロファイル名	ユーザープロファイル名が表示されます。
「Bluetooth devices」	スマートフォンなどの Bluetooth [®] 機器でドライバーの認識を行い、該当するプロファイルを呼び出します。[Link devices]にタッチして登録をします。 (→ P.96)
[Link key] ⁽¹⁾⁽²⁾	車両のスマートキーを使用してドライバーの識別を行い、該当するプロファイルを呼び出します。
[Reset settings]	選択したユーザープロファイルの一部マルチメディア設定がリセットされます。
[Delete driver]	選択したユーザープロファイルが車両から削除されます。

(1) 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

(2) レンタカーなどのフリート車両では使用できません。


トラブルシューティング

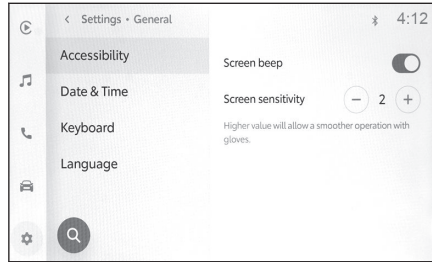
ユーザープロファイル機能に問題がある場合は、まず次の表をご確認ください。

問題	原因	解決策
保存済みのプロフィールを読み込めません。	システムが以前に保存したプロフィールを読み込めません。	Bluetooth®設定を ON にし、デバイスがシステムとペアリングされ、プライマリデバイスとして設定されていることを確認してください。
Bluetooth®設定を ON にしても保存したプロフィールを読み込めません。		Bluetooth®設定が ON になっており、デバイスでトヨタアプリが起動していることを確認してください。
PIN を忘れた。	PIN をリセットする必要があります。	PIN はトヨタアプリを使用してリセットできます。
Bluetooth®デバイスをプロフィールに追加できません。	システムが Bluetooth®デバイスを認識できないため、デバイスをプロフィールに追加できません。	デバイスが他のドライバーのプロフィールに関連付けられていないことを確認してください。
プロフィールを検出できません。	システムが検出したプロフィールの一覧にプロフィールが表示されません。	デバイスの Bluetooth®設定が ON になっており、デバイスでトヨタアプリが起動していることを確認してください。
QR コード／認証コードを生成できません。	QR コードまたは手動認証コードを読み込めません。	車両が良好なネットワークエリアにあり、DCM 接続が有効になっていることを確認してください。
登録を完了できませんでした。	QR コードおよび手動認証コードは数分間のみ有効です。	前の画面に戻り、電話番号を再入力して登録プロセスを再開すると、新しい QR コード／手動認証コードを取得できます。

マルチメディアシステムの共通設定を変更する

時刻設定や表示言語など、マルチメディアシステムの共通設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[General]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



● [Accessibility]

設定項目	内容
[Screen beep]	画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF を設定できます。
[Screen sensitivity]	スクリーンのタッチ感度を調整できます。

● [Date & Time]

設定項目	内容
[Set date & time by GPS]	GPS 情報を利用して時刻を自動で設定します。OFF にすると、手動で時刻を設定できます。
「Time」	
[24-hour time]	時刻の表示を 24 時間表示または 12 時間表示に切りかえることができます。
[Time zone]	[Set date & time by GPS] が OFF になっている場合は、タイムゾーンを設定できます。
[Daylight savings]	[Set date & time by GPS] が OFF になっている場合、サマータイムを [Auto]、[On]、[Off] に設定できます。
[Set time automatically]	GPS 情報を利用して、自動的に時刻を設定します。
[Set time manually]	[Set time automatically] が OFF になっている場合、手動で時刻を設定できます。

設定項目	内容
「Date」	
[Format]	日付の表示形式を切りかえることができます。(月/日/年、日/月/年、年/月/日など)

● [Keyboard]

設定項目	内容
「History」	
[Clear search history]	キーボードの検索履歴を削除できます。

● [Language & Units]

設定項目	内容
[Language]	言語を切りかえることができます。画面に表示する言語とシステム音声の言語が同時に切りかわります。
「Measurements」	
[Set automatically]	距離や燃費などの表示単位を地域に合わせて自動で設定できます。
[Distance]★	[Set automatically]を OFF にしたとき、距離の表示単位を手動で設定できます。
[Fuel/Electricity consumption]	[Set automatically]を OFF にしたとき、燃費の表示単位を手動で設定できます。

📖 知識

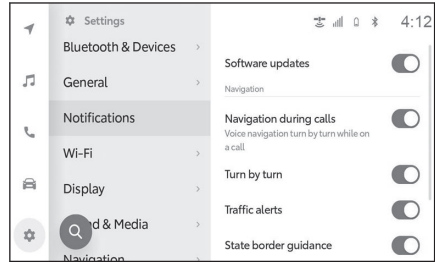
Apple CarPlay/Android Auto の言語は、接続している機器側で設定してください。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

通知設定^{*1*2}

ソフトウェア更新やその他機能の通知設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Notifications]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
[Software updates]	ソフトウェア更新の通知を ON/OFF します。
[Vehicle suggestions]	システムからの提案通知の頻度を変更します。
[Virtual assistant]	インテリジェントアシスタントサービスからの通知を ON/OFF します。
「Navigation」	
[Navigation during calls]	通話中のナビゲーションシステムの音声案内を ON/OFF します。
[Turn by turn]	ターンバイターンの音声案内を ON/OFF します。
[Traffic alerts]	交通情報の音声案内を ON/OFF します。
[State border guidance]	国境を越えたことを知らせる音声案内を ON/OFF します。
[Unverified roads]	未確認道路の案内を ON/OFF します。
[HOV/HOT lanes]	多人数乗車専用レーン／有料多人数乗車専用レーンの案内を ON/OFF します。

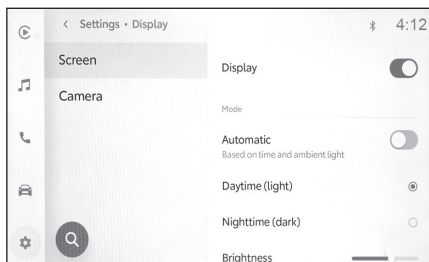
*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

*2: 一部の機能にはサブスクリプションが必要な場合があります。

画面表示の設定を変更する

画面のコントラストや明るさなどを調整できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Display]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



● [Screen]


設定項目	内容
[Display]	画面表示の ON/OFF を設定できます。 OFF にすると、画面を消して音声だけを再生します。 画面を再度表示させるには、画面にタッチして、画面中央のボタンをタッチします。
「Mode」	
[Automatic] ⁽¹⁾	ヘッドランプの点灯や消灯に合わせて、昼間モードと夜間モードを自動で切りかえることができます。
[Daytime (light)]	[Automatic]を OFF にしたとき、手動で昼間モードに切りかえることができます。
[Nighttime (dark)]	[Automatic]を OFF にしたとき、手動で夜間モードに切りかえることができます。
[Brightness]	画面の明るさを調節します。
[Contrast]	画面のコントラストの強弱を調整します。

(1) 駐車中など、状況によっては昼夜モードが自動的に切りかわらない場合があります。

● [Camera]


Setting	Description
「Camera screen」	
[Brightness]	カメラ画面の明るさを調節します。
[Contrast]	カメラ画面のコントラストの強弱を調整します。

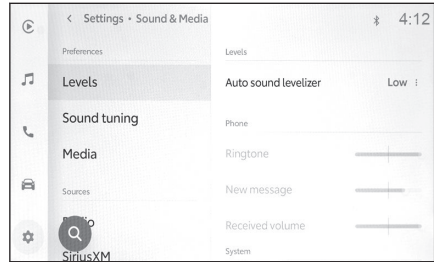
☐ 知識

- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。
- 画面が OFF のとき
 - 画面表示が OFF のときに画面をタッチすると、画面中央に解除ボタンが表示されます。画面を表示させる場合は、解除ボタンをタッチしてしてください。3 秒間操作がない場合は、再び画面表示が OFF になります。
 - 画面表示が OFF の場合でも、ステアリングの[]スイッチ（トークスイッチ）を押したり、シフトポジションを R にしたときなど、一時的に画面を表示することがあります。

サウンドやメディアの設定を変更する

システム音声の音量とオーディオソースの設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Sound & Media]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



● [Levels]

設定項目	内容
「Levels」	
[Auto sound levelizer]	車両の速度と連動して、自動的にオーディオの音量が調整されます。
「Phone」	
[Ringtone] ⁽¹⁾	着信音量を調整します。
[New message]	メッセージ受信時の音量を調整します。
[Received volume] ⁽¹⁾	受話音量を調整します。
「System」	
[System voice]	システム音量を調整します。
[Driving Assist]	運転支援システムの音量を調整します。

(1) ペアリングされたデバイスとマルチメディアシステムの音量レベルは同期されます。デバイスの音量を変更すると、Bluetooth®オーディオの音量も変更されます。

● [Sound tuning]

設定項目	内容
「Equalizer」	
[Treble]	高音域のレベルを調整します。
[Mid]	中音域のレベルを調整します。

設定項目	内容
[Bass]	低音域のレベルを調整します。
[Balance & Fade]	[●] を動かしてフェーダーとバランスを調整します。[Recenter] にタッチするとセンターに戻ります。

● [Media]

設定項目	内容
「General」	
[Display cover art]	音楽アルバムなどのカバーアートを表示します。

● [Radio]

設定項目	内容
「Radio」	
[Display FM info]	RDS (ラジオデータシステム) のテキストを表示します。
[HD Radio FM]	FM ラジオの全周波数帯域で HD ラジオ™を受信します。
[HD Radio AM]	AM ラジオの全周波数帯域で HD ラジオ™を受信します。
[Clear radio station history]	AM と FM の受信履歴を消去します。
「Gracenote database」 ⁽¹⁾	
[Enhance metadata/artwork]	Gracenote® ラジオ認識技術を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ● お気に入りとステーションリストのロゴを表示します。 ● ステーションリストのカテゴリ名を変更します。 ● ステーションリストを自動的に更新します。

(1) この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

● [SiriusXM]^{*1}

設定項目	内容
「Account information」	

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

設定項目	内容
[Active] or [No Subscription]	現在の契約状況を表示します。サービスがご利用いただけない場合は、画面に表示されている内容についてカスタマーセンターにお問い合わせください。
「Preferences」	
[Notifications]	SiriusXM からの通知を表示します。
[Block explicit]	有害と指定されたチャンネルをブロックします。
[Tune start]	音楽チャンネルを選択すると、曲の先頭から再生されます。
[Clear listening history]	SiriusXM の受信履歴を消去します。

● [Sports]^{*1}

設定項目	内容
[Sports]	お気に入りに登録したスポーツチームの試合開始を通知します。
[NFL]	[Edit]にタッチして、お気に入りのNFLチームを登録します。
[MLB]	[Edit]にタッチして、お気に入りのMLBチームを登録します。
[NBA]	[Edit]にタッチして、お気に入りのNBAチームを登録します。
[NHL]	[Edit]にタッチして、お気に入りのNHLチームを登録します。
[College football]	[Edit]にタッチして、お気に入りのカレッジフットボールチームを登録します。
[College basketball]	[Edit]にタッチして、お気に入りのカレッジバスケットボールチームを登録します。

● [Music]^{*1}

設定項目	内容
[Artists & Songs]	お気に入りに登録したアーティストまたは曲が SiriusXM で再生された際に通知します。
[Edit]	アーティストまたは曲を削除します。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

設定項目	内容
[Delete all]	お気に入りに登録したアーティストまたは曲をすべて削除します。

● [Help and support]^{*1}

設定項目	内容
[Contact]	SiriusXM カスタマーケアの電話番号を表示します。番号にタッチすると直接電話をかけることができます。
[Radio ID]	SiriusXM カスタマーケアに電話をかける際に必要なラジオ ID 情報が表示されます。
[Version]	バージョン情報を表示します。


 知識

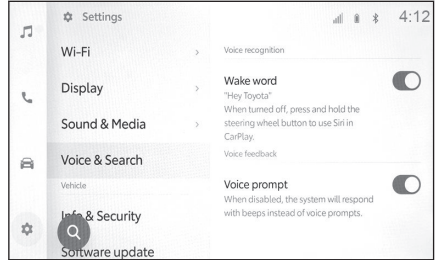
システムの音声ガイダンス中に PWR/VOL ノブを回すと、音声ガイダンスの音量を調整できます。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

音声操作の設定を変更する

音声認識機能に関する設定を変更できます。


- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Voice & Search]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。

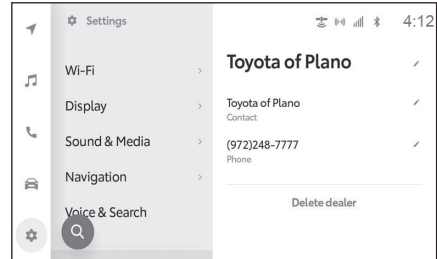





設定項目	内容
「Voice recognition」	
[Wake word]	起動ワードを話すことで音声操作を開始できます。
「Voice feedback」	
[Voice prompt]	音声プロンプトの ON/OFF を切り替えます。

販売店情報を設定する^{*1}

販売店情報の登録や削除ができます。車両の整備を依頼する販売店の情報を登録しておく、整備予約を希望する際に設定画面からその販売店へ連絡できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Dealer info]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。




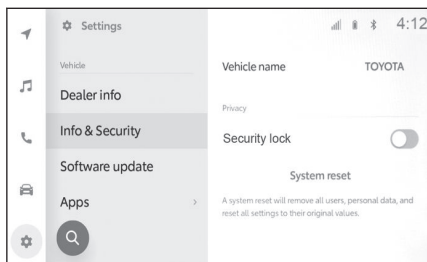
設定項目	内容
[Add dealer]	希望する販売店の連絡先名、電話番号を登録します。
販売店名	登録した販売店名を表示します。 [] にタッチすると情報を変更できます。
「Contact」	登録した連絡先名を表示します。 [] にタッチすると情報を変更できます。
「Phone」	登録した電話番号を表示します。 [] にタッチすると情報を変更できます。
[Delete dealer]	販売店情報を削除します。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

セキュリティ設定を変更する

セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Info & Security]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
[Vehicle name]	システム名称（車両名称）を表示します。 外部機器から Bluetooth®機器を検索したときに表示される機器名称です。タッチして名称を変更できます。
「Privacy」	
[Privacy lock]	個人情報保護のための、パスワードによるプライバシーロックを有効にできます。設定を ON にすると、補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステム操作をするためのパスワード入力が必要です。
[Reset privacy lock password]	設定したプライバシーロックのパスワードを初期化します。
[System reset]	システムの全データを初期化して工場出荷状態にもどします。


知識

- 全ての情報を初期化したあとは、しばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。
- システムを初期化した場合、マルチメディアシステム内の全てのデータが初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。データを初期化前の状態に戻すことはできません。

— 関連リンク —

システムを再起動する (P.13)

プライバシーロックを設定する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Info & Security]にタッチします。
- 3 [Privacy lock]にタッチします。
- 4 [OK]にタッチします。
- 5 4~15文字の英数字を含む任意のパスワードを設定します。
- 6 パスワードを再度入力します。


メッセージが表示されプライバシーロックが有効になります。

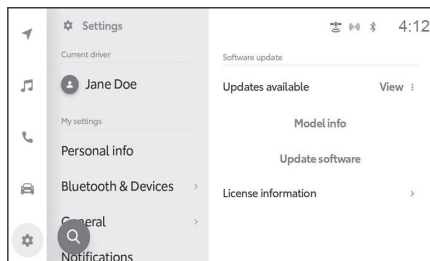
 **知識**

- パスワード設定後、補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要です。設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを一定回数間違えて入力すると、パスワード入力ができなくなります。その場合は、販売店にシステムのロック解除を依頼するか、[**System reset**]にタッチしてリセットしてください。
- セキュリティ確保のため、パスワードを設定する際は、同じパスワードを使い回したり辞書に存在する言葉を使用したりしないでください。

ソフトウェア情報の確認や更新をする^{*1}

ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。より快適にご利用いただくため、マルチメディアシステムの機能や操作性向上を目的にソフトウェアの更新をします。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Software update]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
「Software update」	
[Updates available]	[View]にタッチすると、ソフトウェアの更新情報を確認できます。更新対象の有無や更新内容を確認後、更新データのダウンロードとソフトウェア更新を行うことができます。 更新データがない場合は「No updates available」が表示されます。
[Model info]	現在のソフトウェアのバージョンなどを確認できます。
[Update software]	ソフトウェアの更新を行います。 更新データがない場合は表示されません。
[Output info to USB memory]	ソフトウェア更新に必要な車両情報を USB メモリーにコピーします。USB メモリーに書き込まれた情報に基づいて、ユーザーポータルサイトから更新データをダウンロードし、マルチメディアシステムのソフトウェアを更新します。(→ P.70) USB メモリーが USB ポートに挿入されていない場合、この設定は表示されません。
[History]	ソフトウェア更新履歴を確認します。更新履歴がない場合、この設定は表示されません。
[License information]	ソフトウェアのライセンス情報を確認します。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアを更新するには、次のいずれかの方法を使用します。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

- データ通信モジュール（DCM）を使用してソフトウェアを更新する
- Wi-Fi[®]を使用してソフトウェアを更新する
- USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

□ 知識

- 地図データは本サービスの更新対象ではありません。
- ソフトウェア更新中は一部の操作ができないことがあります。
- ご不明点についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- USB メモリーを使用してソフトウェアを更新するには、4GB 以上の空き容量がある USB メモリーと、インターネットに接続できるパソコンが必要です。お使いのパソコンの環境によっては通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新はおお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、以前のバージョンにもどすことはできません。
- 更新したソフトウェアは、本システムでのみ使用できます。他の機器では使用できません。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新中もマルチメディアシステムの操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性があります。できるだけ操作しないようにしてください。
- ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車(株)の配信サーバーに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車(株)は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。

DCM または Wi-Fi[®]を使ってソフトウェアを更新する^{*1}


本システムは定期的に配信サーバーへアクセスし、更新ソフトウェアの有無を確認します。

1. ソフトウェア更新通知内のボタンにタッチします。
2. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたときは、次回エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON にしたときにインストールを再開します。
 - 更新が完了するとメッセージが表示されます。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

- システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[Yes]にタッチするとシステムが再起動します。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で[History]にタッチします。

■ 手動でソフトウェアを更新する

1. メインメニューの[]にタッチします。
2. サブメニューの[Software update]にタッチします。
3. 「Updates available」の[View]にタッチします。
4. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認/同意します。
 - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
 - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>をOFFにしたときは、次回エンジンスイッチ<パワースイッチ>をACCまたはONにしたときにインストールを再開します。
 - 更新が完了するとメッセージが表示されます。
 - システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[Yes]にタッチするとシステムが再起動します。
 - ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で[History]にタッチします。

知識

- 配信サーバーに重要な更新データがある場合、メッセージが表示されます。[OK]にタッチして更新するデータをダウンロードすることができます。
- Wi-Fi[®]を使用してソフトウェアを更新するには、次の条件を満たす必要があります。
 - Wi-Fi[®]機能がONになっていること。
 - 車両がWi-Fi[®]にアクセスできる場所にあること。
 - システムがWi-Fi[®]アクセスポイント（自宅、職場など）に接続されていること。
- DCM または Wi-Fi[®]による更新が不可能な場合は、USB による更新プロセスを使用できます。

USB メモリーを使ってソフトウェアを更新する^{*1}

■ 更新データを USB メモリーにコピーする

1. メインメニューの[]にタッチします。
2. サブメニューの[Software update]にタッチします。


*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

3. USB メモリーを車両の USB ポートに挿入します。
4. [Output info to USB memory]をタッチします。
ソフトウェア更新に必要な車両情報が USB メモリーにコピーされます。
5. [OK]をタッチして USB メモリーを取り外します。
6. 車両情報がコピーされた USB メモリーをパソコンの USB ポートに挿入します。
7. パソコンでユーザーポータルサイト (<https://www.toyota.com/firmware-updates>) にアクセスし、更新データをパソコンにダウンロードします。
 - 更新データは、USB メモリーに書き込まれた車両情報に基づいてダウンロードされます。
 - 更新データが見つからない場合、現在該当システム用の更新データがないことを意味します。更新データは必要に応じて公開されます。
8. パソコンにダウンロードした更新データを USB メモリーにコピーします。
更新データは USB メモリーのルートディレクトリに保存してください。作成されたフォルダに更新データを保存すると、更新ソフトウェアを読み込めません。
9. 更新データのコピーが完了したら、USB メモリーを取り外します。

知識

USB メモリーに書き込まれた車両情報は、本システムのソフトウェア更新時にも必要となります。更新が完了するまでは、USB メモリー上の車両情報を削除しないでください。

■ ソフトウェアを更新する

1. メインメニューの[]にタッチします。
2. サブメニューの[Software update]にタッチします。
3. 更新データをコピーした USB メモリーを車両の USB ポートに挿入します。
4. [Update software]にタッチします。
 - 更新データがコピーされ、インストールが開始されます。
 - インストールが完了すると、更新完了のメッセージが表示されます。
5. 画面の指示に従って、更新内容と利用規約を確認し、同意します。
 - 更新データがコピーされ、インストールが開始されます。
 - インストールが完了すると、更新完了のメッセージが表示されます。

- システムの再起動が必要な場合は、USB メモリーを接続したままにしてください。再起動の準備が整うと、メッセージが表示されます。**[Yes]**にタッチすると、システムが再起動します。
6. USB メモリーを取り外します。
- ソフトウェア更新履歴を確認するには、ソフトウェア更新履歴画面で**[History]**にタッチします。
 - オフラインでソフトウェア更新を行った場合、USB メモリーに更新完了レポートデータが作成されます。更新完了レポートデータをポータルサイトにアップロードする必要があります。

 **注意**


ソフトウェア更新中は、USB メモリーを取り外したり、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたりしないでください。

— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.32\)](#)

ナビゲーションシステムの設定画面を表示する

ナビゲーションシステムの各種設定を変更できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Navigation]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。


設定項目	内容
[Map details]	地図の詳細設定画面を表示します。
[Route options]	ルートオプションを表示します。

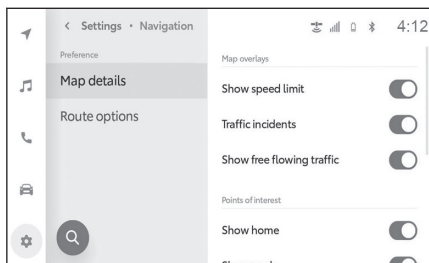
関連リンク

[地図の詳細設定を変更する \(P.74\)](#)

[ルートオプション設定を変更する \(P.76\)](#)

地図の詳細設定を変更する

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Navigation]にタッチします。
- 3 [Map details]にタッチします。
- 4 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
「Map overlays」	
[Show speed limit]	速度制限情報の表示を ON/OFF します。 (1)
[Traffic incidents]	交通事故情報の表示を ON/OFF します。
[Show free flowing traffic]	空いてる道路の矢印表示を ON/OFF します。
「Points of interest」	
[Show home]	自宅アイコンの表示を ON/OFF します。 (2)
[Show work]	職場アイコンの表示を ON/OFF します。 (2)
[Show favorites]	お気に入りのアイコンの表示を ON/OFF します。
[Show nearby parking]	近くの駐車場アイコンの表示を ON/OFF します。
[Calibrate map]	自転車位置マークの場所を手動で調整します。

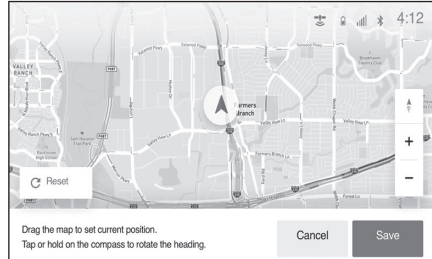
(1) RSA（ロードサインアシスト）搭載車は、ヘッドアップディスプレイに制限速度が表示されます。


(2) 自宅と職場はトヨタアプリから追加する必要があります。

位置/方向を調整する


運転中は、GPS 信号により自転車位置マークが自動補正されます。現在地の GPS 受信状態が悪い場合は、自転車位置マークを手動で調整できます。

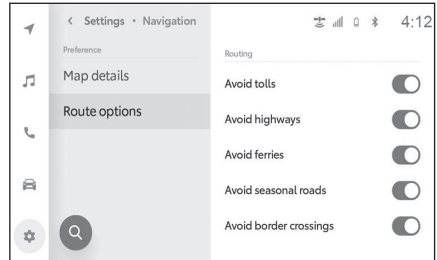
- 1 地図詳細設定画面を表示します。
- 2 [Calibrate map]にタッチします。
- 3 目的の地点まで地図をスクロールします。



- 4 []にタッチまたは長押しして方向を変更します。
- 5 [Save]にタッチします。
[Reset]： 自転車位置マークを以前の場所に戻します。

ルートオプション設定を変更する


- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Navigation]にタッチします。
- 3 [Route options]にタッチします。
- 4 希望の項目を選択します。

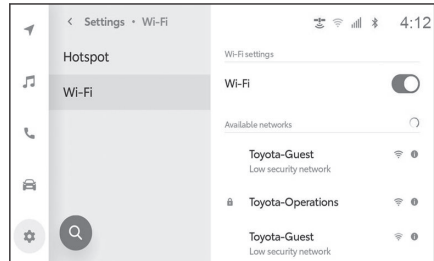


設定項目	内容
[Avoid tolls]	有料道路を通るルートを回避します。
[Avoid highways]	高速道路を通るルートを回避します。
[Avoid ferries]	フェリーを使うルートを回避します。
[Avoid seasonal roads]	季節による通行規制がある道路を走行するルートを回避します。
[Avoid border crossings]	国境を越えるルートを回避します。

Wi-Fi®設定を変更する

Wi-Fi®設定を変更します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi] > [Wi-Fi]の順にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。




● 「Wi-Fi settings」

設定項目	内容
[Wi-Fi]	Wi-Fi®機能を有効または無効にします。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示される場合があります。画面の案内に従って操作してください。
- [Wi-Fi]を ON にすると、利用可能な近くのネットワークが表示されます。
- [Wi-Fi]を OFF にすると、Wi-Fi®接続が切断されます。

● 「Available networks」 (「Available networks」は[Wi-Fi]が ON のときに表示されます。)

設定項目	内容
接続先ネットワーク名 (ネットワーク SSID)	タッチしたネットワークに接続します。
ネットワーク表示名 (ネットワーク SSID) []	ネットワーク情報画面を表示します。

- 複数の MAC アドレスが同じネットワークを共有している場合、ネットワーク名が重複して表示されることがあります。
- 最大 30 個のネットワークを表示できます。リストは 6 秒ごとに自動的に更新されます。
- 同じネットワーク名 (ネットワーク SSID) を使用しているデバイスが複数ある場合、どのデバイスを使用するか識別できません。複数のデバイスを使用する場合は、デバイスごとに異なるネットワーク名 (ネットワーク SSID) を使用してください。

● ネットワーク情報表示 (ネットワーク名の[]をタッチすると表示されます。)

設定項目	内容
「Auto connect」 *1	ネットワーク検索時に自動接続する設定の ON/OFF を切りかえます。
「Network SSID」	ネットワーク名（ネットワーク SSID）を表示します。
「MAC address」	ネットワークの MAC アドレスを表示します。
「Security」	ネットワークのセキュリティプロトコルを表示します。
「Frequency band」	ネットワークの周波数を表示します。
「Forget this network」 *1	選択したネットワークの接続履歴をマルチメディアシステムから削除します。削除されたネットワークは、システムにこれまで接続されたことのないネットワークとして認識されます。

- **[Forget this network]**を実行しても、現在の Wi-Fi®ネットワーク接続は切断されません。ネットワーク情報は記憶されず、Wi-Fi®を再起動してもこの Wi-Fi®ネットワークには再接続されません。

知識

- ネットワーク接続履歴は最大 20 件保存され、新しい接続が保存されると最も古いものから削除されます。
- 安全でないネットワークは、ネットワーク接続履歴に登録されません。

— 関連リンク —

[Wi-Fi®機器使用上の留意事項 \(P.98\)](#)

[Wi-Fi®を使用してネットワークに接続する \(P.100\)](#)

*1: マルチメディアシステムへの接続履歴があるネットワークのみが表示されます。

Wi-Fi® Hotspot を設定する*1


Wi-Fi® Hotspot 機能によりアクセスポイントの設定を変更できます。

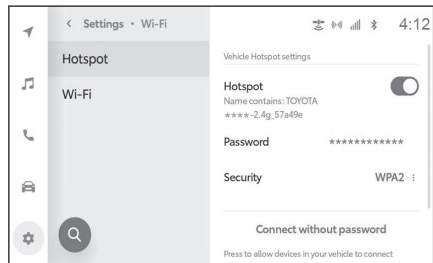
この機能を使用するには、Wi-Fi®サービスプロバイダーが提供する Wi-Fi® Hotspot サブスクリプションが必要です。

詳細は、トヨタ販売店にお問い合わせください。

知識

- Wi-Fi®機能が ON になっている場合、この機能は使用できません。
- 合計 10 台のデバイス (2.4GHz 帯使用デバイス 5 台、5.0GHz 帯使用デバイス 5 台) まで接続できます。最適なパフォーマンスを得るには、一度に 5 台までのデバイスを接続することをお勧めします。Apple CarPlay または Android Auto にワイヤレス接続する場合は、2.4GHz 帯使用デバイスが 5 台までに制限されます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi] > [Hotspot]の順にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



● 「Vehicle hotspot settings」

設定項目	内容
[Hotspot]	Wi-Fi® Hotspot 機能の ON/OFF を設定できます。
[Password]*2	アクセスポイントのパスワードを変更できます。
[Security]*2	アクセスポイントのセキュリティ方法を変更できます。
[Connect without password]*2	<p>簡単設定によるアクセスポイントへの接続を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 接続台数が上限の場合、選択できません。 ● 受付時間を過ぎると接続できません。 ● WPS でサポートされている機器のみ接続できます。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示される場合があります。画面の案内に従って操作してください。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

*2: [Hotspot]が ON になっている場合のみ表示されます。

 知識

- 設定を変更すると、Wi-Fi® Hotspot 機能を再起動する必要があります。Wi-Fi®接続中のすべてのデバイスが切断されます。
- 第三者による不正アクセスを防ぐため、パスワードを設定する際は、次のガイドラインに従うことをお勧めします。
 - 13文字以上で入力してください。
 - 文字と数字を組み合わせで入力してください。
 - 定期的に変更してください。
 - パスワードを書き留めた場合は、人目につく場所に保管しないでください。
 - 同じパスワードを繰り返し使用したり、類似のパスワードを使用しないでください。
 - 車名、ナンバープレート、辞書などに載っている一般的な単語は使用しないでください。
 - 辞書に載っている一般的な単語を、推測しやすい方法で置き換えないでください（例：「cat」の代わりに「c@t」を使用するなど）。

— 関連リンク —

[Wi-Fi® 機器使用上の注意事項 \(P.98\)](#)

[Wi-Fi® Hotspot に接続する \(P.103\)](#)

[機能概要 \(P.196\)](#)

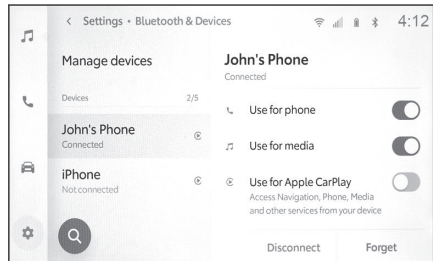
Bluetooth®機器を設定する

登録した Bluetooth®機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

□ 知識

- 設定内容は個別の Bluetooth®機器ごとの設定になります。
- Bluetooth®オーディオ再生中にハンズフリー電話を選択した場合、音声途切れることがあります。
- Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要になります。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては設定を選択できません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
 - 2 [Bluetooth & Devices]にタッチします。
 - 3 サブメニューから、設定する Bluetooth®機器にタッチします。
- Bluetooth®機器が 1 台以上登録されていないと表示されません。
- 4 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
[Use for phone]	ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[Use for media]	オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[Use for Apple CarPlay]	Apple CarPlay 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[Use for Android Auto]	Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2 Android Auto を使用中に[Use for Android Auto]設定を OFF にすると、[Use for phone]設定が ON になります。
[Setup secure password]	ワイヤレス Android Auto 機能のパスワードを変更できます。

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示/非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

設定項目	内容
[Set as secondary device]	デバイスをサブ機器に設定します。 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていない場合に使用できます。サブ機器に設定するには、[Set as secondary device]にタッチします。Bluetooth®機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。
[Remove secondary device setting]	デバイスをサブ機器から解除します。
[Disconnect]	マルチメディアと Bluetooth®機器との接続を切断できます。接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できない場合があります。
[Forget]	登録済みの Bluetooth®デバイスを削除します。

● 「General」

設定項目	内容
[Sort contacts by]	連絡先に登録した名称の表示を次のように変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> 連絡先を名で並べ替えます。 連絡先を姓で並べ替えます。
[Do not disturb]	ハンズフリー電話の着信音を次のように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> [Off]に設定すると、着信音とディスプレイによる通知が有効になります。 [Silent]に設定すると、着信音による通知が無効になります。 [On]に設定すると、着信を拒否し、音声とディスプレイによる通知が無効になります。 Apple CarPlay および Android Auto の電話機能では使用できません。Android Auto 接続中は、マルチメディアのハンズフリー機能は使用できません。
[Auto read messages]	メッセージ自動読み上げ機能の ON/OFF を設定できます。
[Clear call history]	ハンズフリー電話の履歴データを削除できます。 [Sync contacts]設定が OFF の携帯電話を接続している場合に表示されます。

● 「Syncing」

設定項目	内容
[Sync contacts]	連絡先、履歴をマルチメディアシステムへ自動転送する機能を ON/OFF に設定できます。


設定項目	内容
[Sync contacts]	設定を OFF から ON に切り替えた場合、電話帳の自動転送が始まります。 接続された携帯電話によっては、お気に入りの転送に対応していても転送されない場合があります。

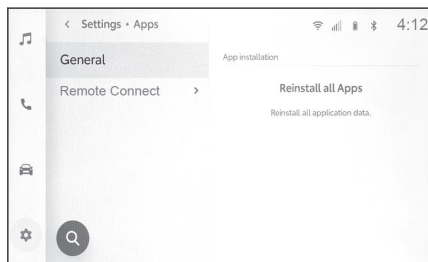
関連リンク

- [ユーザープロファイルの連携 \(P.44\)](#)
- [ユーザープロファイルの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)
- [Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.86\)](#)
- [Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.88\)](#)
- [Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.96\)](#)
- [Bluetooth®機器をサブ機器に設定する \(P.97\)](#)
- [Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.105\)](#)
- [Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 \(P.163\)](#)
- [ハンズフリー電話についての留意事項 \(P.168\)](#)

アプリケーションを設定する

マルチメディアシステムには、システムに統合されたアプリが搭載されています。これらのアプリはプリインストールされており、モバイルデバイスを接続する必要なくシームレスな体験を提供します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Apps]にタッチします。
- 3 希望の項目を選択します。



設定項目	内容
[General]	状況によっては、アプリが通信できなくなり、メモリの消去が必要になる場合があります。[Reinstall all Apps]を実行すると、メモリの消去が可能になります。
[Remote Connect]	リモート操作対応車両の場合、モバイルデバイスのリモート機能を使用して、ロックやアンロックなどの操作を行うことができます。モバイルデバイスから車両のリモートアクティベーションが要求された場合、この機能を選択して認証プロセスを完了できます。

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項	86
Bluetooth®の仕様、対応プロファイル	88
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する	89
Bluetooth®機器の登録を削除する	92
Bluetooth®機器との接続	93
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する	96
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する	97

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項	98
Wi-Fi®を使用してネットワークに接続する	100
Wi-Fi® Hotspot に接続する	103

3-3. Apple CarPlay/Android Autoの使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項	105
未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する	107
登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する	110
未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する	113
登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する	116
Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に	119

Bluetooth[®]機器使用上の留意事項

Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムで使用するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

□ 知識

- 本車両は 2.4GHz 周波数帯で Bluetooth[®]通信を使用します。性能は様々な要因に左右される場合があります。
- Bluetooth[®]と同じ 2.4GHz 帯無線通信を使用する Wi-Fi[®]と同時使用する場合には、相互に影響を与える可能性があります。
- Bluetooth[®]と Wi-Fi[®]が相互に干渉することで、互いに画像の乱れや音飛び、通信速度の低下などの現象が発生することがあります。Bluetooth[®]機器を接続した状態であれば干渉による影響が軽減されるため、Bluetooth[®]機器を登録している場合は、登録機器と接続すると問題が改善する可能性があります。(Bluetooth[®]機器が接続されているかどうかは、マルチメディアシステム画面のステータスアイコンで確認できます)
- Bluetooth[®]携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth[®]機器は、Bluetooth[®]接続により電池が早く消耗します。

▲ 警告

- 携帯電話をハンズフリー電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

⚠ 注意

- Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth[®]通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

- Bluetooth[®]通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステム内に内蔵されています。

▲ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を装着している方は、Bluetooth®アンテナから適切な距離を保ってください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Bluetooth®オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth®対応機器（携帯電話）でハンズフリー電話とBluetooth®オーディオを同時に使用すると、次のような場合があります。
 - 携帯電話のBluetooth®接続が切断されることがあります。
 - ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
 - ハンズフリー電話の動作が遅くなる場合があります。
- Bluetooth®オーディオを再生中にハンズフリー電話で使用する通信機器の選択を変更した場合、再生される音声途切れることがあります。
- 連絡先データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。
- マルチメディアシステムでの動作が確認されている具体的な機器のリストについては、トヨタ販売店または次のウェブサイトをご確認ください。：
<https://www.toyota.com/connected-services>（U.S.A.）、<https://www.toyotapr.com/serviciosconectados>（プエルトリコ）、<https://www.toyota.ca/toyota/en/about/connected-services>（カナダ）

— 関連リンク —

ステータスアイコン (P.17)

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 (P.98)

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 (P.163)

ハンズフリー電話使用上の留意事項 (P.168)

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル

マルチメディアシステムは次の仕様、対応プロファイルをサポートしています。すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

■ 対応 Bluetooth®仕様

Bluetooth® Core Specification Ver.5.0

■ 対応プロファイル

● HFP (Hands Free Profile)

サポートしているバージョン：Ver.1.7.2

携帯電話を使用したハンズフリー通話のためのプロファイル。発信および着信機能を備えています。

● PBAP (Phone Book Access Profile)

サポートしているバージョン：Ver. 1.2.3

連絡先データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル

● MAP (Message Access Profile)

サポートしているバージョン：Ver.1.4.2

電話のメッセージ機能を使用するためのプロファイル

● SPP (Serial Port Profile)

サポートしているバージョン：Ver.1.2

- Bluetooth®搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル
- スマートフォン連携を行うためのプロファイル

● A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

サポートしているバージョン：Ver.1.3.2

オーディオシステムにステレオオーディオまたは高音質サウンドを伝送するためのプロファイル


● AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

サポートしているバージョン：Ver.1.6.2

オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する

ハンズフリー電話や Bluetooth®オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機をマルチメディアシステムに登録する必要があります。登録完了後は、マルチメディアシステムを起動するたびに自動で Bluetooth®接続されます。Apple CarPlay/Android Auto を USB 接続したときは、自動的に機器登録されません。

Bluetooth®機器が1台も接続されていない場合、ステアリングの[]スイッチを押し続けることでも登録画面を表示できます。

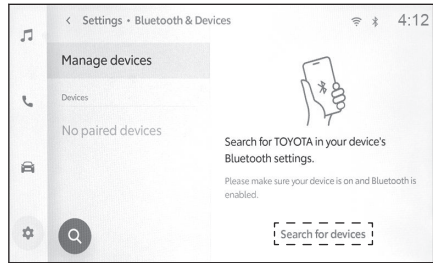
知識

- 携帯電話を、ハンズフリー電話と Bluetooth®オーディオとして登録できます。
- Bluetooth®機器は、5台まで登録できますが、ハンズフリー電話として使用できるのは最大2台までです。(ハンズフリー電話を2台接続するには、ドライバーの特定が必要です)
- Bluetooth®機器側の操作は、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の Bluetooth®機器を使用する場合は、Bluetooth®機器の数だけ登録を繰り返してください。
- PIN コードとは、Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに登録するために使用される確認コードです。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除して使用してください。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続が切断されます。
- 走行中は安全のため、機器を登録できません。
- Bluetooth®機器の登録がうまくいかない場合、Bluetooth®機器を再起動してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth & Devices]にタッチします。
登録済みの機器がない場合、手順4へ進んでください。
- 3 [Add another device]にタッチします。

デバイスがマルチメディアシステムに接続されているときは、デバイスの切断確認画面が表示されることがあります。登録を行うには、デバイスを切断してください。

- 4 [Search for devices]にタッチします。



- 5 メインエリアの登録したい機器にタッチします。

- 機器名ではなく、Bluetooth®アドレスで表示される場合があります。
- Bluetooth®機器の機種により、特定の画面を Bluetooth®機器で表示させないと、機器のリストに表示されない場合があります。詳しくは Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

- 6 表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によっては、登録を完了するために Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されません。
- Apple CarPlay/Android Auto 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay/Android Auto 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

— 関連リンク —

[ユーザープロフィールの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロフィールの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.105\)](#)

Bluetooth®機器から登録する

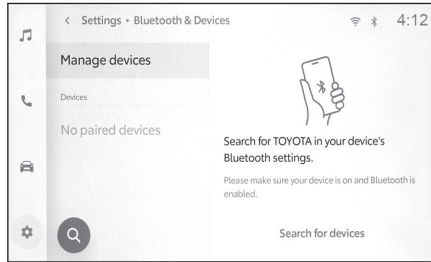
マルチメディアシステムで Bluetooth®機器を検索しても見つからない場合に、Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを検索して登録します。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth & Devices]にタッチします。
登録済みの機器がない場合、手順 4 へ進んでください。
- 3 [Add another device]にタッチします。

デバイスがマルチメディアシステムに接続されているときは、デバイスの切断確認画面が表示されることがあります。登録を行うには、デバイスを切断してください。

4 使用する Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを登録します。

- Bluetooth®機器の操作手順にしたがって操作してください。
- Bluetooth®機器からの登録操作は、必ずこの Bluetooth®接続画面を表示させて行ってください。



5 表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 登録する機種によっては、登録を完了するために Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されません。
- Apple CarPlay/Android Auto 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay/Android Auto 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されません。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。


— 関連リンク —

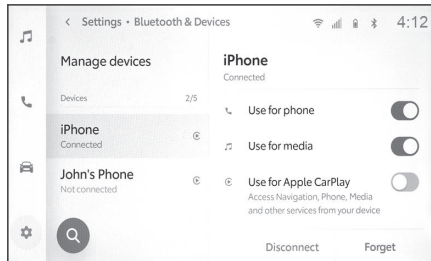
[ユーザープロファイルの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロファイルの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

Bluetooth®機器の登録を削除する

登録した Bluetooth®機器を削除できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth & Devices]にタッチします。
- 3 サブメニューから削除する Bluetooth®機器にタッチします。
- 4 [Forget]にタッチします。
他のユーザーがメイン機器に設定している機器の場合、削除できません。
- 5 [Forget]にタッチします。



知識

- Bluetooth®機器の状態によっては1回で削除できない場合があります。

— 関連リンク —

[ユーザープロファイルの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロファイルの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.96\)](#)

Bluetooth®機器との接続

Bluetooth®機器との接続は、マルチメディアシステムのさまざまな機能を利用する上で必要になります。接続方法は、自動と手動の2通りの方法があります。

□ 知識

- Bluetooth®機器側の操作については、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- Bluetooth®機器の Bluetooth®接続機能が ON になっていないと接続できません。
- Bluetooth®機器の接続が完了すると、接続完了のメッセージが画面上部に表示されます。
- Bluetooth®機器接続中は、Bluetooth®接続中のステータスアイコンが表示されます。
- 携帯電話の機種によってはエンジンスイッチ<パワースイッチ>が ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください)
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。

■ Bluetooth®接続の再接続について

エンジンスイッチ<パワースイッチ>が ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth®接続が切断された場合は、接続処理を自動的に行います。

■ Bluetooth®機器の接続数について

- ドライバーが設定されているとき
最大で2台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできません)
- ドライバーが設定されていないとき
最大で1台のハンズフリー電話と1台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできません)

□ 知識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
- Apple CarPlay が接続されている場合は、Bluetooth®接続の再接続ができない場合があります。

— 関連リンク —

[ステータスアイコン \(P.17\)](#)

[ユーザープロファイルの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロファイルの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

[Bluetooth®機器を手動で接続する \(P.94\)](#)

Bluetooth®機器を自動で接続する

エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF から ON にするたびに、マルチメディアシステムは決められた優先順位で Bluetooth®機器に自動で接続します。
*1

- ドライバーが設定されているとき

メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい順に自動で接続します。

最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

- ドライバーが設定されていないとき

接続履歴の新しい順に自動で接続します。

最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

知識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
- Bluetooth®機器の機種により Bluetooth®機器の操作が必要な場合があります。

— 関連リンク —

[ユーザープロファイルの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロファイルの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.96\)](#)

[Bluetooth®機器をサブ機器に設定する \(P.97\)](#)

Bluetooth®機器を手動で接続する

別の Bluetooth®機器に接続したいときや自動接続ができなかったときに、登録済みの Bluetooth®機器と接続できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth & Devices]にタッチします。

登録済みの Bluetooth®機器がない場合、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を登録してください。

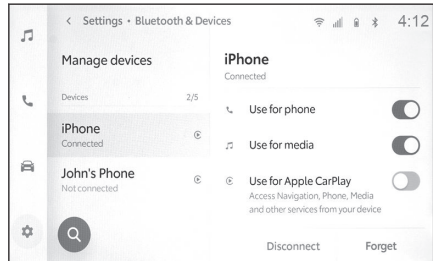
*1: [Disconnect]ボタンなどで手動で切断した機器は自動接続されません。

3 サブメニューから接続する Bluetooth®機器にタッチします。

サブメニューに接続する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器を登録してください。

4 メインエリアの接続したい機能（電話、オーディオなど）を ON にします。

別の機器が既に接続されている場合、確認画面が表示されることがあります。



知識


Bluetooth®機器の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

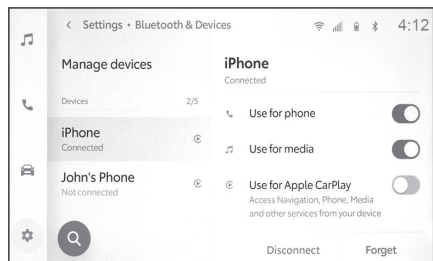
関連リンク

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.89\)](#)

Bluetooth®機器を切断する

すでに接続している Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから切断できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth & Devices]にタッチします。
- 3 サブメニューから切断する Bluetooth®機器にタッチします。
- 4 メインエリアの[Disconnect]にタッチします。




Bluetooth®機器をメイン機器に設定する

Bluetooth®機器をメイン機器に設定することで、自動接続のときに最優先で接続できます。

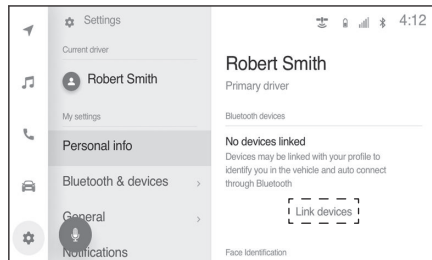
- HFP に対応した Bluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- メイン機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

□ 知識

他のドライバーにメイン機器として設定されている Bluetooth®機器をメイン機器にすることはできません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Personal info]にタッチします。
- 3 メインエリアの[Link devices]にタッチします。

メイン機器に設定可能な Bluetooth®機器が接続されていない場合は、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を検索し、マルチメディアシステムに新規登録してください。新規登録したときに、メイン機器に設定できます。



- 4 メイン機器にする Bluetooth®機器を選択します。

現在接続している Bluetooth®機器を切断し、メイン機器とサブ機器に接続します。

— 関連リンク —

[ユーザープロフィールの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロフィールの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)


[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.89\)](#)

[Bluetooth®機器を自動で接続する \(P.94\)](#)

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する

Bluetooth®機器をサブ機器に設定することで、接続したときにサブ機器として認識されます。

- ドライバーが特定されている状態で、携帯電話がメイン機器に設定されていないときに設定できます。
- HFP に対応した Bluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- サブ機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Bluetooth & Devices]にタッチします。

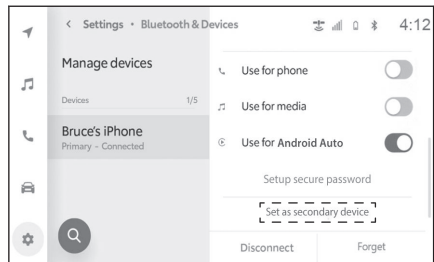
登録済みの Bluetooth®機器がない場合、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を登録してください。

- 3 サブ機器に設定する Bluetooth®機器にタッチします。

設定する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器の登録を行ってください。

- 4 メインエリアから [Set as secondary device]にタッチします。

サブ機器としてすでに設定されている場合、キャンセルボタンにかわります。



関連リンク

[ユーザープロフィールの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロフィールの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

[Bluetooth®機器を自動で接続する \(P.94\)](#)

Wi-Fi® 機器使用上の留意事項

マルチメディアシステムの Wi-Fi® を利用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi® 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

▲ 警告

- Wi-Fi® デバイスは、安全かつ合法な場合のみ使用してください。
- Wi-Fi® 通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステムに内蔵されています。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を装着している方は、Bluetooth® アンテナから適切な距離を保ってください。
電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。
電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Wi-Fi® と Bluetooth® を同時に使用するとき

本車両の Wi-Fi® は Bluetooth® と同じ 2.4GHz 帯周波数 を使用しています。Wi-Fi® と Bluetooth® を同時に使用すると、互いに干渉が発生する可能性があり、これにより性能低下や接続の問題が生じる場合があります。

■ Wi-Fi® について知っておいていただきたいこと

□ 知識

- 性能は、様々な環境や電氣的要因に左右される場合があります。
- 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- Wi-Fi® が通信圏外となった場合は、通信は切断されます。
- DCM が通信圏外となった場合は、Wi-Fi® Hotspot 機能による通信は切断されます。
- 接続されている機器が Wi-Fi® 圏外になった場合、接続は切断されます。
- 車両が携帯電話通信エリア外に移動した場合、Wi-Fi® Hotspot 経由でのインターネット接続は利用できなくなります。
- Wi-Fi® Hotspot に接続している Bluetooth® 機器を使用すると、通信速度が低下する場合があります。
- Wi-Fi® Hotspot を利用する環境によって、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。

- 車両がラジオアンテナ、ラジオ局、またはその他の強い電波や電気ノイズの発生源の近くにある場合、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- お客さまのご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり本サービスをご利用いただけないことがあります。

対応 Wi-Fi®通信方式

IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)

IEEE 802.11a/n/ac (5GHz)

対応セキュリティ方式

- WEP
- WPA™
- WPA2™
- WPA3™

関連リンク

[ステータスアイコン \(P.17\)](#)

[Wi-Fi®設定を変更する \(P.77\)](#)

[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.79\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.86\)](#)

[機能概要 \(P.196\)](#)

Wi-Fi®を使用してネットワークに接続する^{*1}

マルチメディアシステムを Wi-Fi®ネットワークに接続することでインターネットに接続できます。

☐ 知識


- 受信レベルは画面上部に表示されます。
- Wi-Fi® Hotspot が ON の時は、この機能は使用できません。また、Apple CarPlay または Android Auto をワイヤレス接続している時も使用できません。
- 一部のスマートフォンでは、毎回接続が必要な場合があります。
- Wi-Fi®機能が ON の状態でネットワークが検出されると、直近で接続したネットワークへ優先的に自動接続します。

— 関連リンク —

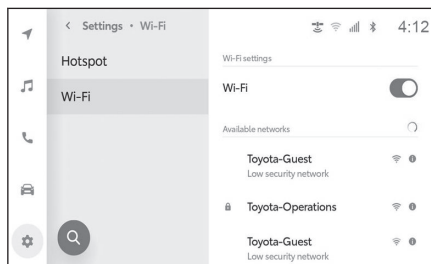
[Wi-Fi®設定を変更する \(P.77\)](#)

スマートフォンで Wi-Fi®に接続する

Wi-Fi®テザリングに対応したスマートフォンを使用して Wi-Fi®接続を確立するには、次の操作例を参照してください。テザリングの設定方法の詳細については、スマートフォンの取扱説明書などを参照してください。スマートフォンの機種によっては、毎回接続が必要な場合があります。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 4 メインエリアの[Wi-Fi]を ON にします。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。
- [Wi-Fi]を ON にすると、利用可能な近くのネットワークが表示されません。



- 5 スマートフォンで設定している名前と一致するネットワーク名を選択してください。
 - 複数の MAC アドレスが同一ネットワークを共有している場合、ネットワーク名が重複して表示されることがあります。
 - 最大 30 個のネットワークを表示できます。リストは 6 秒ごとに自動的に更新されます。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

- 同じネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用しているデバイスがある場合、どのデバイスを使用すべきか識別できません。複数のデバイスを使用する場合は、異なるネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用してください。
- 運転中は選択できません。

6 選択したネットワークのパスワードを入力します。


- パスワードが設定されていない場合、ネットワークを選択すると接続されます。
- 自動接続設定が ON になっているネットワークが検出された場合、自動的に接続されます。

□ 知識

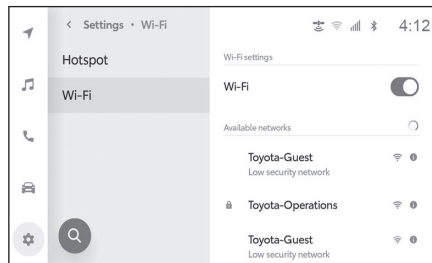
ネットワーク接続履歴は最大 20 件まで保持され、新しい履歴が保存されると最も古い履歴が削除されます。

利用可能なネットワークへの Wi-Fi®接続する


Wi-Fi®を使用して、近くのネットワークからインターネットに接続します。使用するネットワークのパスワードを事前に確認してください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 4 メインエリアの[Wi-Fi]を ON にします。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。
- [Wi-Fi]を ON にすると、利用可能な近くのネットワークが表示されます。



5 メインエリアの [Available networks]から接続するネットワークにタッチします。

- 複数の MAC アドレスが同一ネットワークを共有している場合、ネットワーク名が重複して表示されることがあります。
- 最大 30 個のネットワークを表示できます。リストは 6 秒ごとに自動的に更新されます。
- 同じネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用しているデバイスがある場合、どのデバイスを使用すべきか識別できません。複数のデバイスを使用する場合は、異なるネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用してください。
- 運転中は選択できません。
- 該当するネットワークの詳細を確認するには、[]をタッチしてください。

6 選択したネットワークのパスワードを入力します。


- パスワードが設定されていない場合、ネットワークを選択すると接続されます。
- 自動接続設定が ON になっているネットワークが検出された場合、自動的に接続されます。

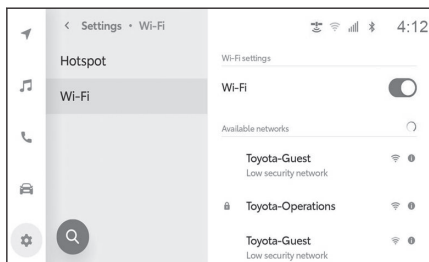
📄 知識

ネットワーク接続履歴は最大 20 件まで保持され、新しい履歴が保存されると最も古い履歴が削除されます。

Wi-Fi®を切断する

Wi-Fi®機能を OFF にすることで、Wi-Fi®を切断できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 4 メインエリアの[Wi-Fi]を OFF にします。



Wi-Fi® Hotspot に接続する^{*1}

Wi-Fi® Hotspot 機能を使って Wi-Fi®のアクセスポイントを設定し、Wi-Fi®機器で接続できます。

この機能を使用するには、Wi-Fi サービスプロバイダーが提供する Wi-Fi® Connect サブスクリプションが必要です。

詳細はトヨタ販売店にお問い合わせください。

□ 知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、Wi-Fi® Hotspot は使用できません。
- 合計 10 台 (2.4GHz 帯 5 台、5.0GHz 帯 5 台) の機器を接続できます。最適なパフォーマンスのために、同時に接続するデバイスは最大 5 台までを推奨します。Apple CarPlay または Android Auto をワイヤレスで接続する場合、2.4GHz 帯を使用する機器の上限は 5 台となります。

1 Wi-Fi®機器の Wi-Fi®機能を ON にします。

2 メインメニューの[]にタッチします。

3 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。

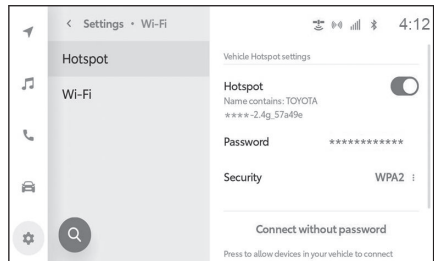
4 サブメニューの[Hotspot]にタッチします。

5 メインエリアの[Hotspot]を ON にします。

マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。

6 Wi-Fi®機器からマルチメディアシステムの Wi-Fi® Hotspot に接続します。

- Wi-Fi®機器からの接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク名はメインエリアの Hotspot 下部に表示されます。
- ネットワークのパスワードはメインエリアに表示されます。パスワードが長い場合、省略されて表示される場合があります。画面にタッチしてパスワード編集画面で確認してください。



— 関連リンク —


[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.79\)](#)

[機能概要 \(P.196\)](#)

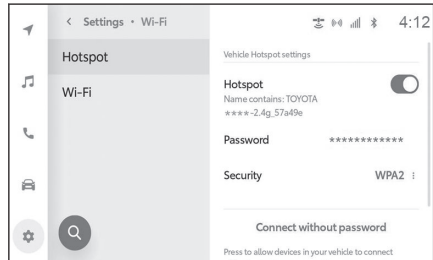
*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

Wi-Fi® Hotspot に簡単設定で接続する

Wi-Fi®機器が Wi-Fi Protected Setup™と互換性がある場合、より簡単に接続できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 サブメニューの[Hotspot]にタッチします。
- 4 メインエリアの[Hotspot]を ON にします。

マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。



- 5 メインエリアの[Connect without password]にタッチします。

マルチメディアシステムが簡単設定による受付を開始します。


- 運転中は選択できません。
- この機能は WPS 対応デバイスのみで利用可能です。
- 接続台数が上限の場合、選択できません。

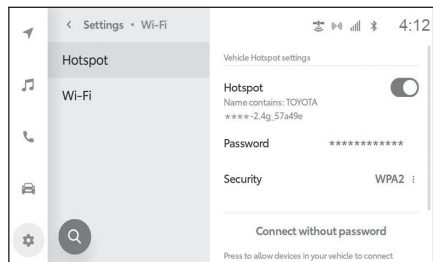
- 6 Wi-Fi®機器を操作して接続します。

- Wi-Fi®機器の簡単設定による接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 受付時間を過ぎると、接続失敗のメッセージが表示されます。

Wi-Fi® Hotspot を切断する

Wi-Fi® Hotspot 機能を OFF にすることで、Wi-Fi® Hotspot を切断できます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。
- 3 サブメニューの[Hotspot]にタッチします。
- 4 メインエリアの[Hotspot]を OFF にします。



Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項

Apple CarPlay/Android Auto では、地図、電話、音楽などの一部のアプリケーションをマルチメディアシステムで使用できます。Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、対応アプリケーションが表示されます。Apple CarPlay/Android Auto を使用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

車内で Android Auto を使用するには、Google Play ストア™から Android Auto をインストールしてください。

■ 対応機器

- Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone (iOS Ver.13.3 以降)
対応機器については、<https://www.apple.com/ios/carplay/>でご確認ください。^{*1}
- Android Auto をサポートする Android™機器
対応機器については、<https://www.android.com/auto/>でご確認ください。^{*1}

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体を操作しないでください。

⚠ 注意

- スマートフォンを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンが故障するおそれがあります。
- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたは端子が損傷する可能性があります。
- USB 端子に異物を入れないでください。スマートフォンや端子が破損するおそれがあります。

☐ 知識

- USB 接続の場合は、電話メーカーが提供するデータ通信用の USB ケーブルを使用してください。
- Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、システムの一部のボタン機能がかわりません。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続すると、Bluetooth®オーディオや電話などの一部機能が Apple CarPlay/Android Auto によって管理されます。
- [Sound & Media]設定画面で案内音量を変更できます。オーディオシステムの音量調整でも変更できます。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に、もう一台の Apple CarPlay/Android Auto を使用することはできません。

*1: 動作を保証しているわけではありません。

- Apple CarPlay/Android Auto は、Apple 社/Google 社によって開発されたアプリケーションです。接続されている機器のオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア、または Apple CarPlay/Android Auto の仕様の変更により、その機能およびサービスは予告なしに終了または変更されることがあります。
- Apple CarPlay または Android Auto でサポートされているアプリケーションについては、それぞれの Web サイトをご覧ください。
- Apple CarPlay/Android Auto を使用しているあいだ、場所や車速などの車両およびユーザー情報は、それぞれのアプリケーション発行元および携帯電話サービスプロバイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードして使用することにより、それらの利用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送信され、料金が発生する可能性があります。データ通信料金については、携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アプリケーションによっては、音楽の再生など一部の機能が制限される場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止することがあります。詳しくは、各機能の Web サイトをご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステムでルート案内中に、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリを使用して新たにルート案内を開始した場合、車両のナビゲーションシステムのルート案内は終了します。Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリでルート案内中に、車両のナビゲーションシステムを使用して新たにルート案内を開始した場合、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリのルート案内は終了します。
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth[®]機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth[®]機能が使用できません。
- USB 接続の場合は、USB ケーブルを抜くと、Apple CarPlay/Android Auto の動作が終了します。このとき音声出力は停止し、マルチメディアシステムの画面にかわります。
- Android Auto を切断しても、電話接続は継続するため、ハンズフリー電話を使用することができます。

— 関連リンク —

[オーディオの ON/OFF と音量を調整する \(P.29\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

[Bluetooth[®]機器使用上の留意事項 \(P.86\)](#)

[Wi-Fi[®]機器使用上の留意事項 \(P.98\)](#)

[iPod/iPhone の再生についての留意事項 \(P.155\)](#)

[Apple CarPlay の再生についての留意事項 \(P.158\)](#)

[Android Auto の再生についての留意事項 \(P.160\)](#)

[Bluetooth[®]オーディオの再生についての留意事項 \(P.163\)](#)

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

未登録のスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。登録済みスマートフォンの場合は、手順が異なります。

関連リンク

[登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.110\)](#)

Apple CarPlay を USB 接続で使用する


マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。

- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
- 2 スマートフォンを USB 端子に接続します。

Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

- 3 Apple CarPlay を操作します。

Apple CarPlay メニューに移動するには、 にタッチします。

Apple CarPlay とその他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンにタッチします。

マルチメディアシステムの機能を使用するには、Apple CarPlay アプリケーション画面の にタッチします。

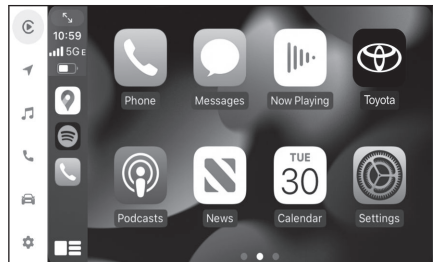
 / 

画面表示を切りかえます。



タッチし続けると Siri が起動します。

 / 

マルチメディアシステムのメインメニューの表示／非表示を切り替えます。



知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングのスイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングのスイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。

Siri のウェイクワード機能は、言語が英語に設定されている場合のみ使用できません。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。

- USB 接続で登録した時に、スマートフォン側でワイヤレス接続を使用する設定にした場合、次回からワイヤレス接続できるようになります。


関連リンク

[USB 機器を接続する \(P.32\)](#)

[音声操作の設定を変更する \(P.64\)](#)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する


Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
- 2 メインメニューの[]にタッチします。
- 3 [Bluetooth & Devices]にタッチします。
 - マルチメディアシステムに登録済みのスマートフォンがない場合、機器検索画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。
- 4 [Add another device]にタッチします。
- 5 [Search for devices]にタッチします。
- 6 登録するスマートフォンを選択します。
- 7 表示されている PIN コードが、スマートフォンに表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。
 - 画面の案内に従って操作してください。
- 8 Apple CarPlay 設定が表示されたら、[Yes]にタッチしてください。

Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

9 Apple CarPlay を操作します。

Apple CarPlay メニューに移動するには、 にタッチします。

Apple CarPlay とその他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンにタッチします。

マルチメディアシステムの機能を使用するには、Apple CarPlay アプリケーション画面の にタッチします。

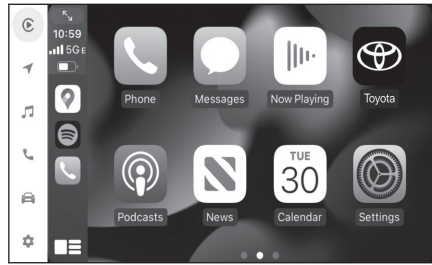


画面表示を切りかえます。



タッチし続けると Siri が起動します。



マルチメディアシステムのメインメニューの表示／非表示を切り替えます。



知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。

Siri のウェイクワード機能は、言語が英語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。

— 関連リンク —

[音声操作の設定を変更する \(P.64\)](#)

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

登録済みスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。登録していないスマートフォンの場合は、手順が異なります。

関連リンク

[未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.107\)](#)



Apple CarPlay を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。


- スマートフォンがマルチメディアシステムに接続されているかご確認ください。

- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
- 2 スマートフォンを USB 端子に接続します。


Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
 - メインメニューの[]をタッチしてください。
 - メインメニューに[]が表示されていない場合は、AppleCarPlay を使用するスマートフォンを選択し、[Use for Apple CarPlay] を ON にします。
 - 画面の案内に従って操作してください。

- 3 Apple CarPlay を操作します。

Apple CarPlay メニューに移動するには、[]にタッチします。

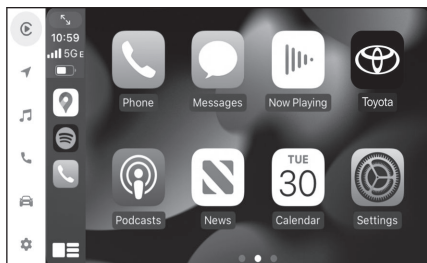
Apple CarPlay とその他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンにタッチします。

マルチメディアシステムの機能を使用するには、Apple CarPlay アプリケーション画面の[]にタッチします。

[]/[]

画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。





マルチメディアシステムのメインメニューの表示／非表示を切り替えます。

□ 知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。

Siri のウェイクワード機能は、言語が英語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。

— 関連リンク —

[USB 機器を接続する \(P.32\)](#)

[音声操作の設定を変更する \(P.64\)](#)

[Bluetooth[®] 機器を設定する \(P.81\)](#)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する


Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに接続されているかご確認ください。
- 1 スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。
 - 2 メインメニューの[]にタッチします。
 - 3 [Bluetooth & Devices]にタッチします。
 - 4 Apple CarPlay を使用するスマートフォンを選択し、[Use for Apple CarPlay]を ON にします。


Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

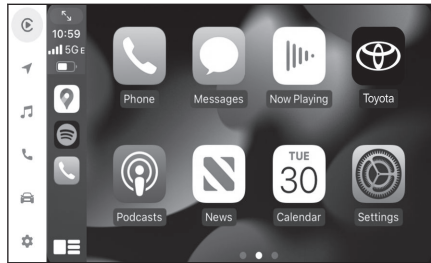
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[]をタッチしてください。

5 Apple CarPlay を操作します。

Apple CarPlay メニューに移動するには、 にタッチします。

Apple CarPlay とその他の機能を切り替えるには、メインメニューのアイコンにタッチします。

マルチメディアシステムの機能を使用するには、Apple CarPlay アプリケーション画面の にタッチします。



 / 



画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

 / 

マルチメディアシステムのメインメニューの表示／非表示を切り替えます。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。

Siri のウェイクワード機能は、言語が英語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。

— 関連リンク —

[音声操作の設定を変更する \(P.64\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.81\)](#)

未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する

未登録のスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Android Auto を使用できます。登録済みスマートフォンの場合は、手順が異なります。

関連リンク

[登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.116\)](#)

Android Auto を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

- 1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。
- 2 スマートフォンを USB 端子に接続します。

Android Auto のホーム画面が表示されます。


- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

- 3 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

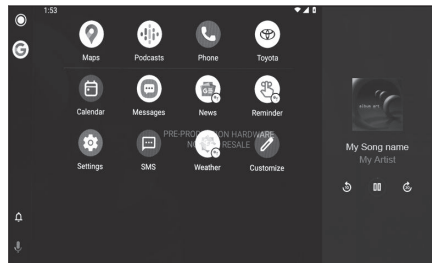


マルチメディアシステムの画面を表示します。



再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューのにタッチします。



Google Assistant™を起動します。



知識


Android Auto が接続されているときは、ステアリングのスイッチを押し続けると Google Assistant™を開始します。中止するには、ステアリングのスイッチを短く押します。

関連リンク

[USB 機器を接続する \(P.32\)](#)

Android Auto をワイヤレス接続で使用する

Android Auto は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

- 1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。
- 2 メインメニューの[]にタッチします。
- 3 [Bluetooth & Devices]にタッチします。
マルチメディアシステムに登録済みのスマートフォンがない場合、機器検索画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。
- 4 [Add another device]にタッチします。
- 5 [Search for devices]にタッチします。
- 6 登録するスマートフォンを選択します。
- 7 表示されている PIN コードが、スマートフォンに表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。

- 画面の案内に従って操作してください。

- 8 Android Auto 設定が表示されたら、[Yes]にタッチしてください。

Android Auto のホーム画面が表示されます。


- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

- 9 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

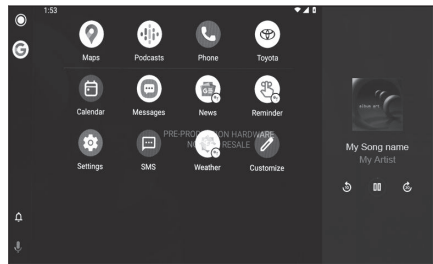
[]

マルチメディアシステムの画面を表示します。



再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[]にタッチします。

[]

Google Assistant™を起動します。



 知識

Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[]スイッチを押し続けると Google Assistant™を開始します。中止するには、ステアリングの[]スイッチを短く押します。

登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する

登録済みスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Android Auto を使用できます。登録していないスマートフォンの場合は、手順が異なります。

関連リンク



[未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.113\)](#)

Android Auto を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに接続されているかご確認ください。
- 1 **接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。**
 - 2 **スマートフォンを USB 端子に接続します。**

Android Auto のホーム画面が表示されます。


- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
 - ・メインメニューの[]をタッチしてください。
 - ・メインメニューに[]が表示されていない場合は、Android Auto を使用するスマートフォンを選択し、[Use for Android Auto]を ON にします。
 - ・画面の案内に従って操作してください。

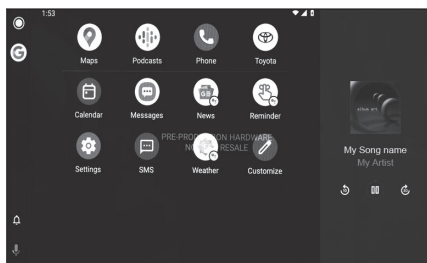
- 3 **Android Auto を操作します。**

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

[]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[]にタッチします。





Google Assistant™を起動します。

知識

Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[]スイッチを押し続けると Google Assistant™を開始します。中止するには、ステアリングの[]スイッチを短く押します。

関連リンク

[USB 機器を接続する \(P.32\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

Android Auto をワイヤレス接続で使用する

Android Auto は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに接続されているかご確認ください。
- 1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。
 - 2 メインメニューの[]にタッチします。
 - 3 [Bluetooth & Devices]にタッチします。
 - 4 Android Auto を使用するスマートフォンを選択し、[Use for Android Auto]を ON にします。

Android Auto のホーム画面が表示されます。


- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3~6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[]をタッチしてください。

5 Android Auto を操作します。

アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

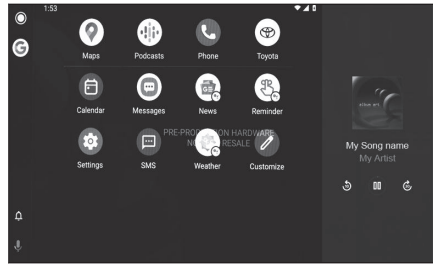


マルチメディアシステムの画面を表示します。



再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[]にタッチします。



Google Assistant™を起動します。



知識

Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[]スイッチを押し続けると Google Assistant™を開始します。中止するには、ステアリングの[]スイッチを短く押します。


— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に

Apple CarPlay/Android Auto でお困りの際は、まず次の表を確認してください。

症状	処置
Apple CarPlay/Android Auto が起動しない。	<p>接続するスマートフォンが Apple CarPlay/Android Auto をサポートしているか確認してください。</p> <p>スマートフォン側で Apple CarPlay/Android Auto が有効になっているか確認してください。</p> <p>詳細については、次の URL をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Apple CarPlay : https://www.apple.com/ios/carplay/ ● Android Auto : https://www.android.com/auto/
	<p>登録済みスマートフォンの Apple CarPlay/Android Auto 機能がマルチメディアシステムで ON になっているか確認してください。</p>
	<p>USB 接続の場合、USB 接続に使用している USB ケーブルがスマートフォンと USB 端子にしっかりと接続されているか確認してください。USB ハブは使用せずに、直接 USB 端子にスマートフォンを接続してください。</p> <p>Apple CarPlay と Android Auto の接続に正しい USB 端子が使用されていることを確認してください。充電専用の USB 端子はスマートフォンアプリではご利用いただけません。ワイヤレス充電に使用するワイヤレス充電器では、ワイヤレス Apple CarPlay/ワイヤレス Android Auto 接続できません。</p>
	<p>ワイヤレス接続の場合、次のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンでマルチメディアシステムに Bluetooth®接続できているかご確認ください。 ● スマートフォンが Wi-Fi®を使用できる設定になっているかご確認ください。 <p>Apple CarPlay の場合：使用している Lightning ケーブルが Apple 認証されているものか確認してください。</p> <p>Siri が有効になっているか確認してください。</p> <p>充電専用の USB ケーブルではスマートフォン連携機能はご利用になれません。</p> <p>データ転送が可能なケーブルをご利用ください。一部ケーブルには対応できないものがあります。</p> <p>USB ケーブルに関する推奨要件は下記となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● iPhone : Apple 純正の USB ケーブルもしくは、Apple の MFi 認証取得済み USB ケーブルを使用してください。

症状	処置
Apple CarPlay/Android Auto が起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Android : 1.8m 以下の長さのケーブルを使用し、延長ケーブルは使用しないでください。 ● USB マーク  のあるケーブルを使用してください。 <p>これまで動作していたスマートフォン連携機能が動作しなくなった場合は、USB ケーブルを交換すると問題が解決する場合があります。</p> <p>上記をすべて確認したあとに、Apple CarPlay/Android Auto を接続してください。</p>
Apple CarPlay/Android Auto 接続し、動画再生したときに、動画は表示されず、音声のみ出力される。	本システムは Apple CarPlay/Android Auto 経由での動画再生に対応していないため、誤動作ではありません。
音声が出力されない。	<p>マルチメディアシステムがミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。マルチメディアシステム側の音量を上げてください。</p> <p>Apple がサポートするアプリが Apple CarPlay に使用されている、または Google™ がサポートするアプリが Android Auto に使用されていることを確認してください。Web ブラウザから音楽を再生すると、音声が出力されないか、適切な音声が出力されない場合があります。</p>
画面がちらつく、音声にノイズが入る。	<p>マルチメディアシステムとの接続に使用している USB ケーブルが損傷していないか確認してください。USB ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。</p> <p>USB ケーブルを別のケーブルに交換してください。</p>
Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない。	Apple CarPlay 地図アプリはピンチアウト／ピンチイン操作することはできません。
Apple CarPlay の画面がディスプレイの中央に表示され、画面全体に表示されない。	iOS Ver.10 以降で画面全体表示がサポートされています。最新の iOS にアップデートしてください。

症状	処置
Apple CarPlay の Music アプリで音楽再生中に、iPhone 側で Apple CarPlay 非対応アプリ ⁽¹⁾ を起動し音声出力した際、マルチメディアシステムでボリュームを変更すると、非対応アプリの音声を終了し、元の Music アプリの音楽再生に戻る。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。
FM などマルチメディアシステムのオーディオ再生中に、Apple CarPlay 非対応アプリ ⁽¹⁾ の割り込み音声出力が発生した場合、元のオーディオに戻らない。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。お客様自身でオーディオソースを変更してください。もしくは、Apple CarPlay 非対応アプリ ⁽¹⁾ の使用をお控えください。一部のナビアプリは iOS12 から対応となっています。最新の iOS、アプリに更新してください。
Apple CarPlay を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印とターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本機能はマルチインフォメーションディスプレイとの仕様や、使用中の地図アプリにより表示されない場合があります。
Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印が表示されない。	
Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイおよびマルチメディアシステム画面に、ターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本機能ではではこれらの項目を表示することができないため、誤動作ではありません。
Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない。	<p>通話を終了してください。</p> <p>スマートフォンを USB ケーブルからはずし、ハンズフリー電話を使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。</p> <p>マルチメディアシステムの音量を上げて、ハンズフリー電話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。他のスマートフォンにかえた場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。</p>

症状	処置
Android Auto を終了した後、電話が接続されていた。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。

- (1) Apple CarPlay 非対応アプリとは、Apple CarPlay 画面のアプリ一覧に表示されないが iPhone 上にインストールされたアプリのこと。

— 関連リンク —

- [タッチスクリーン操作上の留意事項 \(P.20\)](#)
- [オーディオの ON/OFF と音量を調整する \(P.29\)](#)
- [USB 機器を接続する \(P.32\)](#)
- [サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)
- [Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)
- [Bluetooth®機器との接続 \(P.93\)](#)

4-1. ナビゲーション

クラウドナビゲーション124

4-2. 地図情報

地図オプション画面.....125

地図画面に表示される情報.....126

4-3. 目的地の検索

目的地検索画面127

目的地検索結果のリスト画面...130

POI 提案.....131

デスティネーションアシスト ...132

4-4. ルート案内の開始

ルート案内の開始134

全ルートマップ画面.....135

4-5. ルート案内画面

ルート案内画面137

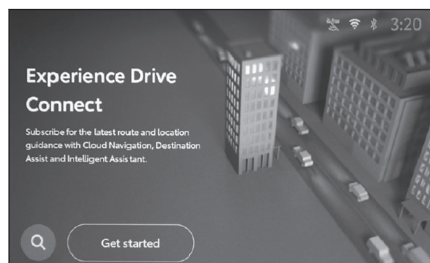
代表的な音声案内141

クラウドナビゲーション

ナビゲーションシステムは現在の位置を表示し、目的地の検索を支援します。ナビゲーションはクラウド対応サービスです。車両にトライアル版が付属している場合、コネクテッドサービス利用規約に同意することでサービスが有効になります。

クラウドナビゲーションはサブスクリプションサービスであり、車載ナビゲーションを利用するには有効なサブスクリプションが必要です。有効なサブスクリプションがない場合、または期限切れの場合、ナビゲーション画面に[**Get started**]ボタンが表示され、クラウドナビゲーションの有効化を開始できます。

この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。



地図オプション画面

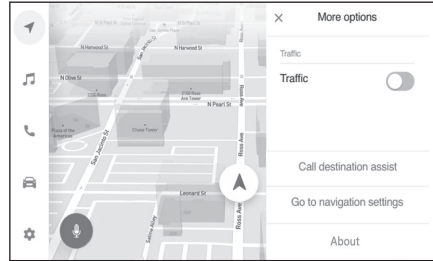
- 1 地図画面の[☰]にタッチします。
- 2 希望の項目にタッチします。

[Traffic]: 交通情報の表示を ON/OFF します。

[Call destination assist]: デスティネーションアシストを呼び出します。

[Go to navigation settings]: ナビゲーション設定画面を表示します。

[About]: ソフトウェアバージョンとライセンス情報を表示します。



関連リンク

[交通情報 \(P.126\)](#)

地図画面に表示される情報

交通情報

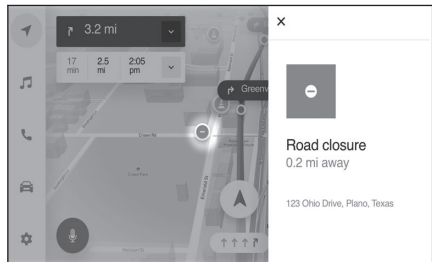
DCM（データ通信モジュール）経由で交通データを受信し、地図画面に交通情報を表示します。

- 1 地図画面の[☰]にタッチします。
- 2 [Traffic]にタッチします。

地図画面に交通情報が表示されます。

- アイコンで道路状況や事故を表示します。
- 矢印で交通の流れの方向を示します。
- 色で交通の速度を示します。

交通アイコンをタッチすると、選択した交通事象の詳細を表示できます。

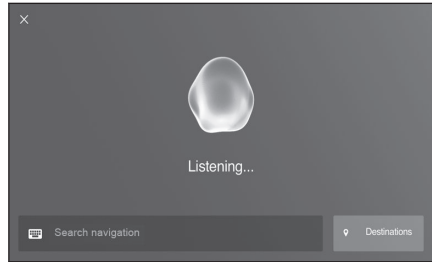


目的地検索画面

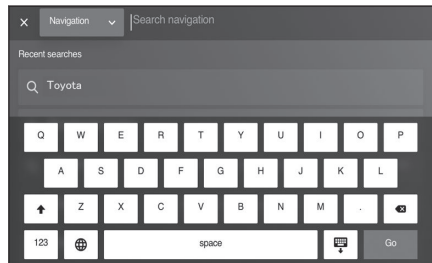
キーボードを使用して目的地を検索する

目的地はキーワードを入力して検索できます。

- 1 地図画面の[🔍]にタッチします。
- 2 [📄]にタッチします。



- 3 キーボードを使用して文字を入力します。

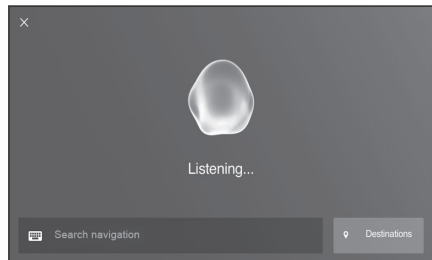


- 4 [Go]にタッチします。
- 5 リストから目的の項目を選択します。

カテゴリから目的地を検索する

カテゴリ一覧から目的地を検索できます。

- 1 地図画面の[🔍]にタッチします。
- 2 [Destinations]にタッチします。



- 3 [Navigation]を選択します。

4 希望の検索方法にタッチします。

[Home]: 登録済みの自宅を目的地に設定します。

この機能を使用する前に、自宅の地点を登録しておく必要があります。^{*1}

[Work]: 登録済みの職場を目的地に設定します。

この機能を使用する前に、職場の地点を登録しておく必要があります。^{*1}

[Favorites]: お気に入りリストから場所を選択して目的地を設定します。

[Recents]: 目的地の履歴から場所を選択して目的地を設定します。

[Sent to car]: トヨタアプリから送信された場所を選択して目的地を設定します。

[Food]: 目的地に設定する飲食店を検索します。

[Fuel / Charging]: 目的地に設定するガソリンスタンド／充電施設を検索します。

[Parking]: 目的地として設定する近くの駐車場を検索します。

[Hospitals]: 目的地として設定する病院を検索します。

目的地に設定した施設の到着予定時刻が営業時間外または閉店間近の場合、目的地の確認を求める通知が表示されます。

5 リストから希望の目的地をタッチします。

— 関連リンク —

[全ルートマップ画面 \(P.135\)](#)

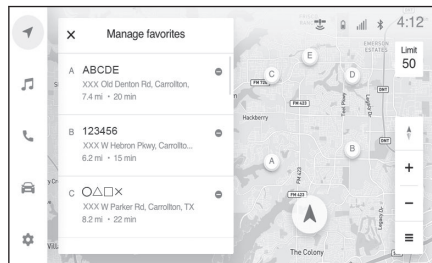
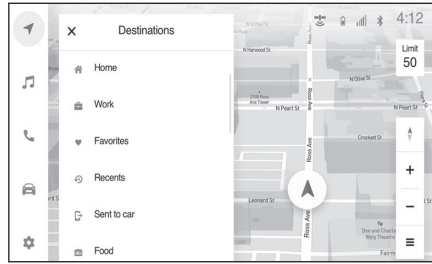
お気に入りリストを編集する

お気に入りリストを編集できます。

- 1 地図画面で[🔍]にタッチします。
- 2 [Destinations]にタッチします。
- 3 [Favorites]にタッチします。
- 4 [✏️]にタッチします。

[−]にタッチすると、お気に入りの削除されます。

お気に入りリストの編集画面が表示されます。



5 [Save]にタッチします。

^{*1}: 自宅と職場はトヨタアプリから登録する必要があります。

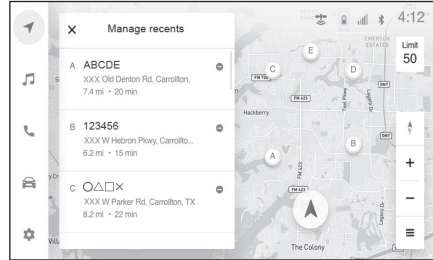
目的地履歴を編集する

目的地履歴を編集できます。

- 1 地図画面で[🔍]にタッチします。
- 2 [Destinations]にタッチします。
- 3 [Recents]にタッチします。
- 4 [✏️]にタッチします。

目的地履歴の編集画面が表示されます。

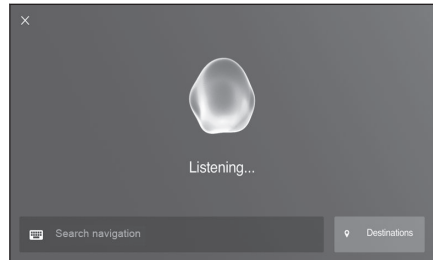
目的地履歴を削除するには、[−]にタッチします。



- 5 [Save]にタッチします。

音声操作で目的地を検索する

- 1 地図画面の[🎤]または[🔍]にタッチします。
- 2 検索に使用するキーワードを発声します。

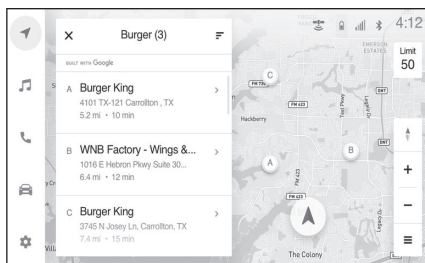


- 3 検索結果から目的の施設をタッチ、または音声で選択します。

目的地検索結果のリスト画面

目的地を検索すると、検索結果のリストが表示されます。

- リストから希望の目的地をタッチ、または音声コマンドで選択すると、全ルートマップ画面が表示されます。[≡]をタッチすると、リストを絞り込んだり並び替えたりできます。



関連リンク

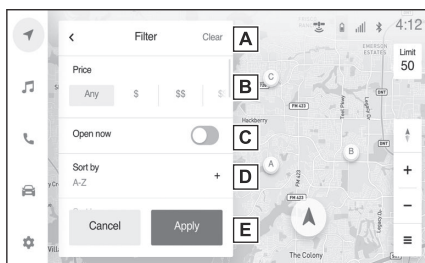
[ルート案内の開始 \(P.134\)](#)

目的地候補リストの並び替え／絞り込み

この機能はインターネット接続時のみ利用できます。検索結果はインターネットから取得するため、表示内容が変更される場合があります。

目的地候補リストで[≡]にタッチすると、リストの並び替えや絞り込みができます。

- A 並び替え／絞り込み条件をクリアします。
- B 価格でリストを絞り込みます。
- C 現在営業中の場所でリストを絞り込みます。
- D リストの並び替え条件を変更します。
- E 並び替え／絞り込み条件を適用し、リストに戻ります。



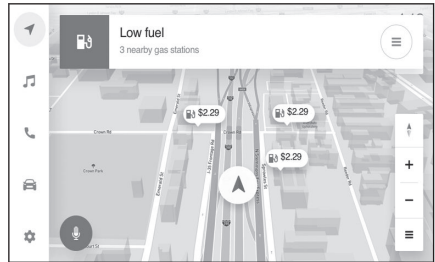
POI 提案

ナビゲーションシステムは、現在地や走行時間などの様々な情報に基づいて、目的地を提案することがあります。

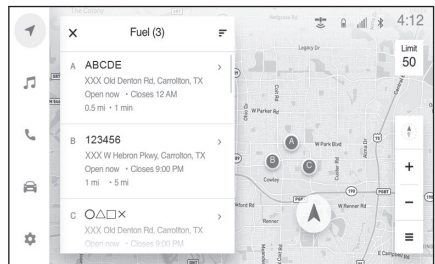
例：

- 燃料残量が少なくなると、ガソリンスタンドが目的地として提案されます。
- ルート案内中に目的地に近づくと、目的地周辺の駐車場が表示されます。

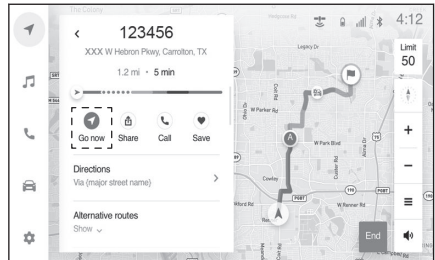
- 1 ナビゲーションシステムから目的地を提案されたら、[≡] にタッチします。



- 2 提案された施設にタッチします。



- 3 [Go now] にタッチします。



関連リンク

[全ルートマップ画面 \(P.135\)](#)

デスティネーションアシスト

デスティネーションアシストは、トヨタのレスポンスセンターを通じて、目的地検索をリアルタイムでサポートします。特定の店舗や住所を指定するほか、レストラン、ガソリンスタンド、ショッピングセンター、その他の POI (Point of Interest) などのカテゴリー別に目的地検索を依頼できます。



オペレーターに目的地を伝えると、その座標、住所、目的地名が車両のナビゲーションシステムに送信されます。

デスティネーションアシスト使用中は、ハンズフリー電話システムが使用できません。

デスティネーションアシストのオペレーターから送信された目的地は、お気に入りとして登録できません。

音声コマンドでデスティネーションアシストを呼び出す

1 次のいずれかの操作で音声操作を開始します。

- ステアリングのトークスイッチを押す。
- 「Hey Toyota」と発声する。
- 地図画面で[]または[]にタッチする。

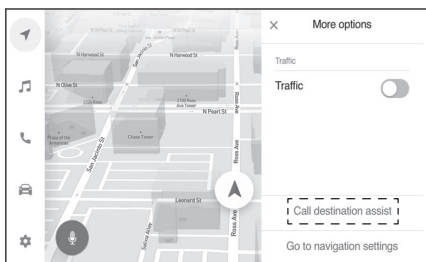
2 「Destination Assist」と発声します。

地図画面からデスティネーションアシストを呼び出す

1 地図画面で[]にタッチします。



2 [Call destination assist]にタッチします。

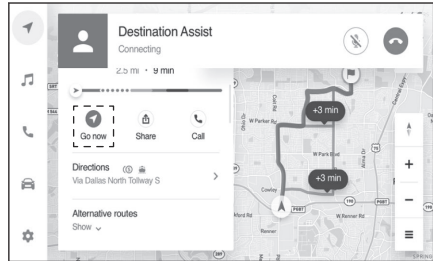


3 通話が繋がったら、オペレーターに話しかけます。

オペレーターが希望の目的地情報を確認し、車両のナビゲーション画面に目的地を送信します。また、追加の目的地を設定したり、経由地としたり、現在の目的地と置き換えたりすることもできます。



4 [Go now]にタッチします。



5 通話を終了するには[📞]にタッチします。

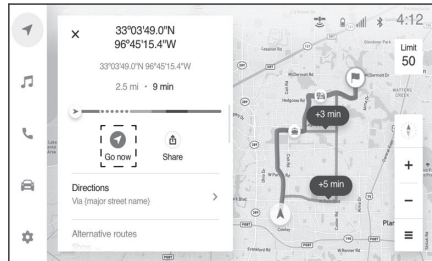
- 目的地が設定されたら、オペレーターに通話を終了するように依頼することもできます。

ルート案内の開始

目的地を設定すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルートマップ画面（現在地から目的地までの全ルート）が表示されます。全ルートマップ画面では、希望のルートを選択したり、ルート情報を確認したりできます。

目的地が現在地から 60m（200ft）以内にある場合は、ルートを探索できません。

- [Go now]にタッチします。



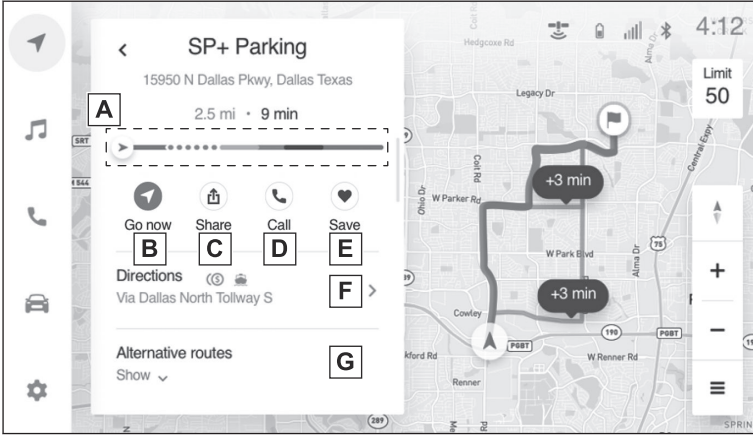
知識

- 復路のルートは、往路と同じルートにならない場合があります。
- 目的地までのルート案内は、最短ルートや渋滞のないルートにならない場合があります。
- 指定した場所に道路のデータがない場合、ルート案内が利用できない場合があります。
- 道路上にない目的地を設定した場合は、目的地に最も近い道路上の地点まで案内されます。選択した地点に最も近い道路が目的地として設定されます。

警告

運転中は交通規則を遵守し、道路状況に注意してください。道路上の標識が変更された場合、ルート案内にその変更情報が反映されていないことがあります。

全ルートマップ画面



- A** ルート上の渋滞状況を色で表示します。
- 渋滞が少ない、または渋滞していないとき：青
 - 渋滞がひどいとき：赤
 - 道路が通行止めになっているとき：赤い破線
- B** ルート案内を開始します。長押しするとデモモードが起動します。
- C** 登録した連絡先に到着予定時刻を共有します。
この機能を使用するには、スマートフォンをナビゲーションシステムに接続する必要があります。
- D** POI に登録されている電話番号に電話をかけます。
- E** 目的地をお気に入りに登録します。
- F** 経路リストを表示します。
- G** 別のルートを選択します。

知識

目的地として POI を設定した場合、営業時間なども表示されます。

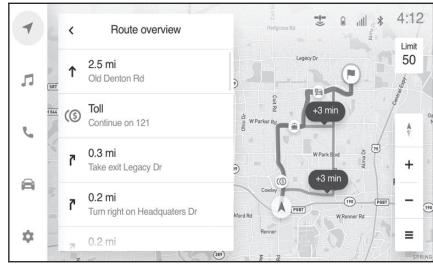
関連リンク

- [経路リスト画面 \(P.135\)](#)
- [ルート選択画面 \(P.136\)](#)
- [デモモードの開始 \(P.136\)](#)

経路リスト画面

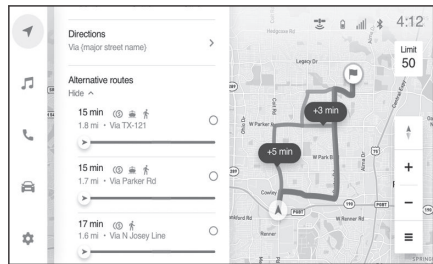
ルートごとの経路リストが表示されます。

通過または曲がる交差点名と、現在位置からの距離を表示します。



ルート選択画面

- 1 [Alternative routes]にタッチします。
- 2 希望のルートにタッチします。



- 3 [◀]にタッチします。

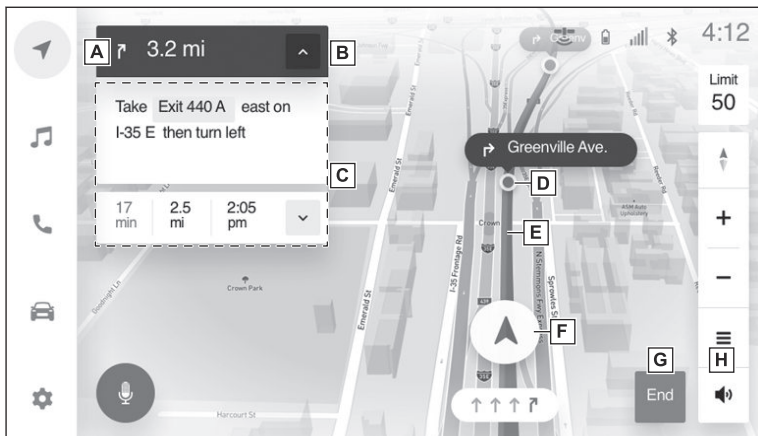
デモモードの開始

ルート検索後、ルート案内開始前にルート案内のデモを確認できます。

- 全体ルートマップ画面で[Go now]を長押しします。
デモ終了には[End]にタッチするか、運転を開始します。

ルート案内画面

ルート案内中は、状況に応じて様々な案内画面が表示されます。



- A** 次の曲がり角までの距離と、曲がる方向を示す矢印を表示します。タッチすると経路リストが表示されます。
- B** 次の案内地点の情報を表示します。
- [**▲**] [**▼**] : 次の案内地点の情報の表示/非表示を切りかえます。
- C** ルート情報を表示します。
- 案内ルートに沿って走行している場合は、目的地までの距離、予想所要時間、到着予想時刻を表示します。
 - 案内ルートに沿って走行していない場合は、[Proceed to the highlighted] と表示されます。
 - [**▼**] にタッチすると、目的地情報画面が表示されます。
- D** 案内地点を示します。
- E** 案内ルートを示します。
- F** 車両の現在地を示します。
- G** ナビゲーションを終了します。
- H** 音声案内をミュートします。

☐ 知識

- ルート案内中により速いルートが見つかった場合、ルート変更の提案が表示されません。
- 車両が案内ルートから外れた場合は、ルートが再計算されます。
- 一部の地域では、道路のデータベースが完全にデジタル化されていません。そのため、ルート案内が通行すべきでない道路を選択する場合があります。

— 関連リンク —

[経路リスト画面 \(P.135\)](#)

[目的地情報画面 \(P.138\)](#)

目的地情報画面



A ルート案内画面に戻ります。

B ナビゲーションをキャンセルまたは終了します。

C 目的地の追加や編集をします。

複数の目的地を設定している場合は、編集終了画面が表示されます。

D 到着予定時刻を共有します。

この機能を使用するには、スマートフォンをナビゲーションシステムに接続する必要があります。

E 代替ルートを選択します。

— 関連リンク —

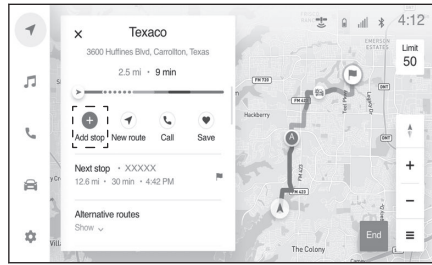
[ルート選択画面 \(P.136\)](#)

[到着予定時刻の共有 \(P.139\)](#)

目的地を追加する

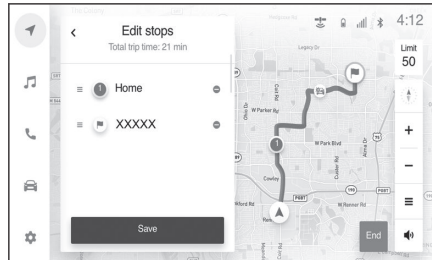
- 1 目的地情報画面を表示します。
- 2 [Add Stop]にタッチします。
- 3 追加する目的地を検索します。

4 [Add Stop]にタッチします。



目的地を削除する（複数の目的地が設定されている場合）

- 1 目的地情報画面を表示します。
- 2 [Edit Stop]にタッチします。
- 3 削除したい目的地の[**−**]にタッチします。

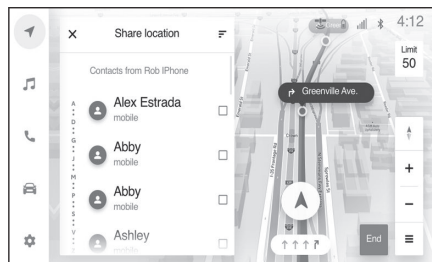


4 [Save]にタッチします。

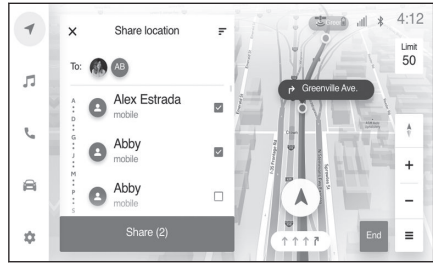
目的地名をドラッグすると、目的地の順序を変更することができます。

到着予定時刻の共有

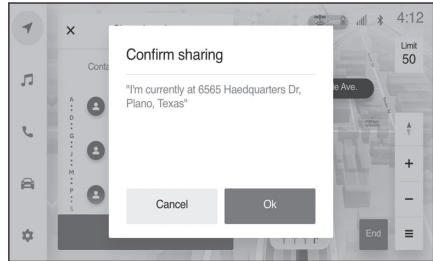
- 1 目的地情報画面を表示します。
- 2 [Share ETA]にタッチします。
- 3 到着予定時刻を共有したい連絡先をタッチします。



4 [Share]にタッチします。



5 [OK]にタッチします。



目的地に到着したとき

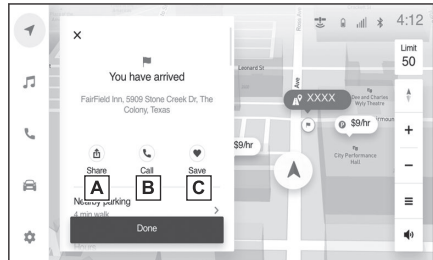
目的地に到着すると、目的地到着画面が表示されます。

A 登録した連絡先と位置情報を共有します。

この機能を使用するには、スマートフォンをナビゲーションシステムに接続する必要があります。

B 目的地に電話をかけます。

C 目的地をお気に入りに登録します。



代表的な音声案内

ルート案内中は、ナビゲーション画面を表示していなくても、交差点や高速道路／フリーウェイの出入口、Uターン、どの車線を維持するかなどの操作を音声案内で支援します。このような操作ポイントは案内ポイントと呼ばれます。これらの音声案内は、案内ポイントに接近すると特定の距離で2～3回行われます。音声案内は、ユーザーが設定した言語で話されます。

▲ 警告

交通規則を遵守し、特に IPD 道路（当社データベースで完全デジタル化されていない道路）を走行する際は道路状況に注意してください。ルート案内には一方通行の方向などの最新情報が反映されていない場合があります。

5-1. ラジオの操作

- ラジオを聴く 144
- トラブルシューティングガイド 147
- 問題を特定し、提案された対処方法を実施する 148

5-2. USB メモリーの操作

- USB メモリーの音楽ファイルを再生する 149
- USB メモリーの再生についての留意事項 151

5-3. iPod/iPhone の操作

- iPod/iPhone を再生する 153
- iPod/iPhone の再生についての留意事項 155

5-4. Apple CarPlay の操作

- Apple CarPlay を再生する 156
- Apple CarPlay の再生についての留意事項 158

5-5. Android Auto の操作

- Android Auto を再生する 159
- Android Auto の再生についての留意事項 160

5-6. Bluetooth®オーディオの操作

- Bluetooth®オーディオを再生する 161
- Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 163

5-7. インテグレートッドストリーミング

- インテグレートッドストリーミングを再生する 164

ラジオを聴く

お好みの周波数やサービスに切りかえてラジオを受信できます。

□ 知識

- ラジオは、利用可能な場所で自動的に AM または FM の HD ラジオ™信号に切り替わります。ステレオ放送が受信されると自動的にステレオ受信に切り替わります。
- ラジオモードにはミックスプリセット機能があり、AM/FM および SiriusXM の各バンドから最大 20 局を保存できます。
- ラジオを再生中に別のラジオ局に切り替えると、再生画面が最小化されます。最小化された再生画面をタッチすると、再生画面が元のサイズに戻ります。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 [Radio]にタッチします。
- 4 必要に応じて、局の選択方法やサービスを選択します。

[Favorites]: プリセット登録した放送局から放送局を選択します。

[Tune]: キーパッドを使って周波数を入力して放送局を選択します。

[FM Radio]: FM ラジオに切り替えます。FM 局のリスト (直近で聴いていた FM3 局、および受信可能な FM 放送局) を表示します。

[AM Radio]: AM ラジオに切り替えます。AM 局のリスト (直近で聴いていた AM3 局、および受信可能な AM 放送局) を表示します。

[SiriusXM]*1: SiriusXM ラジオに切り替えます。

[For You]とコンテンツ/スーパーカテゴリー/[All channels]/[Listening History]を表示します。

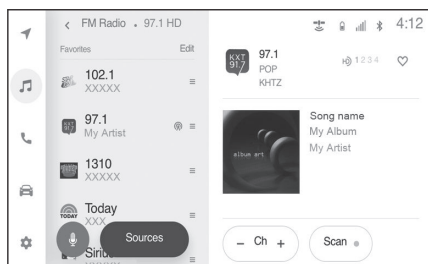
- 5 放送局リストまたはジャンルから放送局を選択します。
- 6 必要に応じて、受信中のラジオを操作します。

- 画面で AM/FM ラジオを操作する

[Ch]: [-]または[+]をタッチして受信可能な放送局を検索します。


タッチし続けると、受信可能な次の周波数にジャンプします。指を離すと、その位置に最も近く、受信感度が最も良い放送局を自動で選択します。

[Scan]: ラジオ局を探し、検出された局の音声を 10 秒間出力します。この動作を繰り返します。




*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。





[]: FM モードでマルチキャストチャンネルがサポートされている場合に
表示されます。タッチすると SPS チャンネルリストが表示されます。表示さ
れた SPS チャンネルリストにモードを変更できます。



[]: 受信している放送局をプリセットに登録します。登録しているときに
タッチすると、解除します。



サブメニューのプリセットボタン: 登録している放送局を受信します。

● 画面で SiriusXM ラジオを操作する*1

[Ch]: []または[]をタッチし
て受信可能なチャンネルを検索しま
す。


タッチし続けると、受信可能な次の
周波数にジャンプします。指を離す
と、現在のチャンネルを受信します。




[]/[]: ラジオキャッ
シュを早送りまたは早もどします。

長押しすると、バッファの先頭または末尾にジャンプします。



[]: ラジオキャッシュを一時停止します。




[]: ラジオキャッシュを再生します。

[Related]: 受信したチャンネルに関連するコンテンツを表示します。

[Notify me]: アーティストまたは曲、あるいはアーティストと曲の両方を選択す
ると、対応する放送が開始された際に通知を受け取れます。(通常チャンネル受
信時)

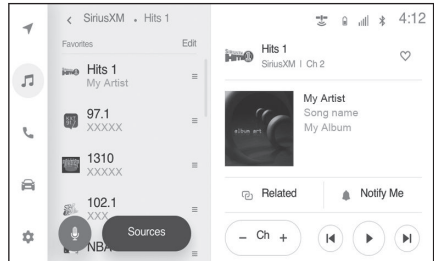
対応する放送が開始された際に通知を受け取るスポーツチームを選択します。
(スポーツチャンネル受信時)



[]: 受信しているチャンネルをプリセットに登録します。登録している
ときにタッチすると、解除します。

サブメニューのプリセットボタン: 登録しているチャンネルを受信します。

● ステアリングスイッチで操作する



*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

[<] / [>] スイッチ

- AM/FM ラジオ

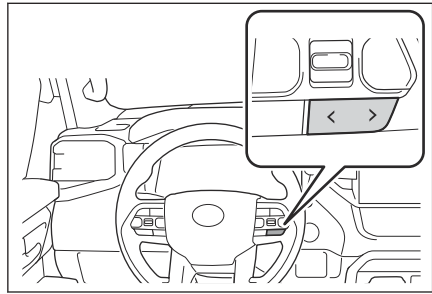
プリセットボタンに登録されている周波数／放送局を順番に切りかえます。

押し続けると周波数を切りかえます。指を離すと、その位置に最も近く、受信感度が最も良い放送局を自動で選択します。

- SiriusXM ラジオ

プリセットボタンに登録されているチャンネルを順番に切り替えます。

押し続けるとチャンネルを切りかえます。指を離すと、その位置に最も近く、受信感度が最も良いチャンネルを自動で選択します。



関連リンク

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

トラブルシューティングガイド

症状	原因	処置
時間のずれによる不一致。ユーザーは短時間の番組内容を繰り返し聞いたり、エコー、音の途切れ、スキップなどが発生することがあります。	ラジオ局のアナログおよびデジタル音量が適切に調整されていないか、局がボールゲームモードに設定されている。	なし。ラジオ放送の問題です。ユーザーはラジオ局に連絡できます。
音がフェードイン・フェードアウトしながら、切りかわる。	ラジオがアナログとデジタル音声の間で切り替わっている。	受信状態の問題は、車両の走行を続けるうちに解消される可能性があります。[HD Radio AM]および[HD Radio FM]ボタンのインジケータを OFF にすると、ラジオを強制的にアナログ音声に切り替えることができます。
HD2/HD3 マルチキャストチャンネル再生時音声ミュート状態	ラジオが現在、デジタル信号を受信できない。	正常な動作です。デジタル信号が受信できるようになるまでお待ちください。受信エリア外の場合は、新しい放送局をお探しください。
HD2/HD3 マルチキャストチャンネルプリセット選択時、オーディオがミュートされる。	デジタルマルチキャストコンテンツは、HD ラジオ™放送がデコードされ、音声を利用可能になるまで利用できません。この処理には最大7秒かかります。	正常な動作です。音声を利用可能になるまでお待ちください。
テキスト情報が再生中の楽曲と一致しない。	ラジオ放送局によるデータサービス障害。	放送局に知らせる必要があります。フォームに記入してください： https://hdradio.com/stations/feedback/
現在選択されている周波数のテキスト情報が表示されない。	ラジオ放送局によるデータサービス障害。	放送局に知らせる必要があります。フォームに記入してください： https://hdradio.com/stations/feedback/

問題を特定し、提案された対処方法を実施する

SiriusXM チューナーに問題が発生すると、画面にメッセージが表示されます。次の表を参照して問題を特定し、提案された対処方法を実施してください。

メッセージ	説明
「SAT Antenna Error」	SiriusXM アンテナが接続されていません。SiriusXM アンテナケーブルが確実に接続されているか確認してください。トヨタ販売店にお問い合わせください。
	アンテナまたはアンテナ周辺のケーブルで短絡が発生しています。トヨタ販売店にお問い合わせください。
「No Satellite Signal」	現在の位置では SiriusXM の信号が弱すぎます。車両がより強い信号を受信できる場所に移動するまでお待ちください。
「Channel not available」	選択したチャンネルは放送を行っていません。別のチャンネルを選択してください。
「SAT Hardware Error」	SiriusXM モジュールに問題があることを示しています。トヨタ販売店にお問い合わせください。
「Something went wrong」	別のチャンネルをお試しください。

USBメモリーの音楽ファイルを再生する

USB端子に接続したUSBメモリーの音楽ファイルを再生して音楽を楽しむことができます。USBメモリーが接続されると、ソース選択画面にその機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USBメモリーを接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 機器名称または[USB]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中のUSBメモリーを操作します。

● 画面で操作する

[🔀]: ランダム再生をします。
 タッチするたびに、全ファイル／トラック、解除、再生中のフォルダー／アルバムの順に切りかわります。

[⏮]: 再生中のファイル／トラックの先頭から再生します。ファイル／トラックの先頭のときは、前のファイル／トラックの先頭から再生します。

タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

[▶]: 再生します。

[⏭]: ファイル／トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

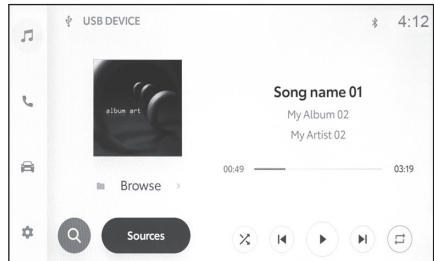
[🔄]: リピート再生をします。

タッチするたびに、再生中のファイル／トラック、再生中のフォルダー／アルバム、全ファイル／トラックの順に切りかわります。

[Browse]: サブメニューに再生モードを表示します。

アーティスト、アルバム、フォルダ、曲、ジャンル、作曲者のリストからトラックを選択できます。

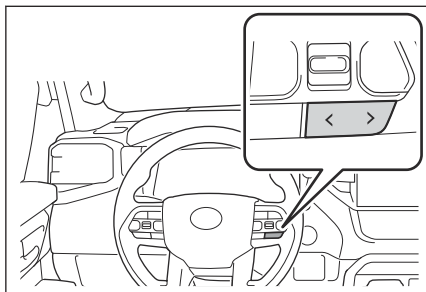
● ステアリングスイッチで操作する



[<] / [>] スイッチ

ファイル / トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし / 早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



関連リンク

[USB 機器を接続する \(P.32\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

USB メモリーの再生についての留意事項

USB メモリーの再生に関して次の情報に特に注意してください。

□ 知識

- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続している機器を抜いたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB メモリーを接続している状態で、他のソースから USB メモリーに切りかえたときは、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び挿し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響が出ることがあります。

▲ 警告

安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

⚠ 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに USB メモリーが故障するおそれがあります。
- 接続中に USB メモリーを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダーなどを書き込まないことをおすすめします。

□ 知識

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

 **注意**

ファイルに間違った拡張子をつけないでください。ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルに付けると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

間違いの例：

- MP3 ではないファイルに、「.mp3」の拡張子をつける
- WMA ではないファイルに、「.wma」の拡張子をつける

— **関連リンク** —

[使用できるメディアについての情報 \(P.204\)](#)

[フォーマットについての情報 \(P.204\)](#)

[USB メモリーについて \(P.209\)](#)

iPod/iPhone を再生する

USB 端子に接続した iPod/iPhone の音楽ファイルを再生できます。iPod/iPhone を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、カバーアートの画像が粗くなったり、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。
- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

iPod/iPhone を接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 機器名称または[USB]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の iPod/iPhone を操作します。

- 画面で操作する

[🔀]: シャッフル再生をします。
タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。^{*1}

[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭の場合は、前のトラックの先頭から再生します。

タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

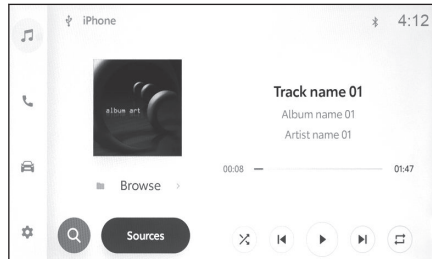
[▶]: 再生します。

[⏭]: トラックが切りかわります。
タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[🔄]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。^{*1}

*1: シャッフル/リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。



[Browse]: サブメニューに再生モードを表示します。

アーティスト、アルバム、曲、プレイリスト、ジャンル、ポッドキャスト、作曲家、オーディオブック、ラジオのリストからトラックを選択できます。

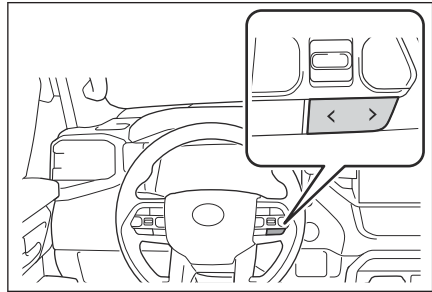
[Shuffle play]は、リストから選択したトラックを再生中に表示されます。タッチすると再生画面に戻り、シャッフル再生を実行します。

- ステアリングスイッチで操作する

[<] / [>] スイッチ

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



関連リンク

[USB 機器を接続する \(P.32\)](#)

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

iPod/iPhone の再生についての留意事項

iPod/iPhone の再生に関して次の情報に特に注意してください。

📖 知識

- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- iPod/iPhone モード中に端子を切断したり、接続している機器を抜いたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod/iPhone を接続している状態で、他ソースから iPod/iPhone に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。^{*1}

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPod/iPhone を操作しないでください。

⚠ 注意

- iPod/iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPod/iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPod/iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[iPhone/iPod について \(P.207\)](#)

*1: 接続する機器によっては、動作が異なる場合があります。

Apple CarPlay を再生する

USB 端子に接続した iPhone またはワイヤレス接続した iPhone の音楽ファイルを再生できます。Apple CarPlay に接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

- 接続する iPhone の世代や機種によって、操作できなかつたり、異なる動作をすることがあります。
- 曲が正常に再生されない場合や音が途切れるなどの症状がある場合、iOS を最新のバージョンに更新してください。更新すると、問題が解消されることがあります。

Apple CarPlay を接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 [Apple CarPlay]（機器名称）にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Apple CarPlay を操作します。

- 画面で操作する

[🔄]: シャッフル再生をします。
タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。^{*1}

[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。
トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

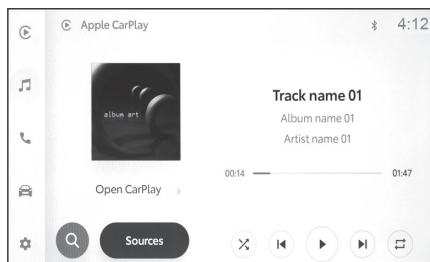
タッチし続けると、早もどします。手を離すと、その位置から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。


[▶]: 再生します。

[⏭]: トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

[]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

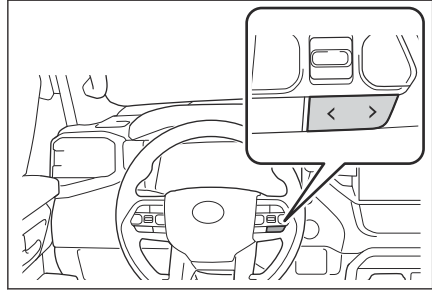
[Open CarPlay]: Apple CarPlay の画面を表示します。

- ステアリングスイッチで操作する

[<] / [>] スイッチ

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし / 早送りします。手を離すと、その位置から再生します。



— 関連リンク —

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.81\)](#)

[未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.107\)](#)

[登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する \(P.110\)](#)

*1: シャッフル / リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

Apple CarPlay の再生についての留意事項

Apple CarPlay の再生に関して次の情報に特に注意してください。

📄 知識

- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Apple CarPlay を USB で接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPhone が接続されている状態で、他ソースから Apple CarPlay に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠️ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPhone を操作しないでください。

⚠️ 注意

- iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.105\)](#)

Android Auto を再生する

USB 端子に接続した Android 機器またはワイヤレス接続した Android 機器の音楽ファイルを再生できます。Android 機器を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

Android Auto を接続してください。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 [Android Auto] (機器名称) にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Android Auto を操作します。

- 画面で操作する

[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭の場合は、前のトラックの先頭から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

[▶]: 再生します。

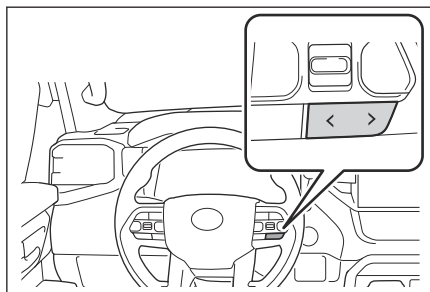
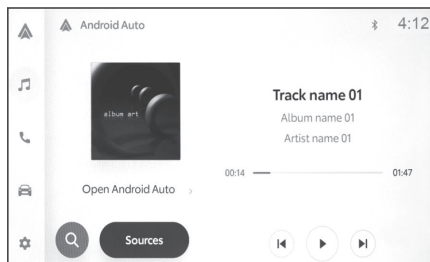
[⏭]: トラックが切りかわります。

[Open Android Auto]: Android Auto の画面を表示します。

- ステアリングスイッチで操作する

[<]/[>]スイッチ

トラックが切りかわります。



関連リンク

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

[未登録のスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.113\)](#)

[登録済みスマートフォンで Android Auto を使用する \(P.116\)](#)

Android Auto の再生についての留意事項

Android Auto の再生に関して次の情報に特に注意してください。

📄 知識

- Apple CarPlay を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Android Auto を接続しているときに、接続する機器を抜いたりすると、雑音が出ることがあります。
- Android 機器を接続している状態で、他のソースから Android Auto に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に Android 機器を操作しないでください。

⚠ 注意

- Android 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに Android 機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に Android 機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.105\)](#)

Bluetooth®オーディオを再生する


ポータブル機を接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。


□ 知識

- 接続したポータブル機によっては、次の情報が表示されないことがあります。
 - フォルダータイトル
 - 曲名
 - アルバム名
 - アーティスト名
 - 再生時間
 - 合計時間
 - ランダム
 - リピート
 - 再生／一時停止
 - トラックアップ／ダウン
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
 - マルチメディアシステムで操作できない。
 - 動作や音量が異なる。
 - マルチメディアシステムとポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
 - 再生を停止すると、接続が切断される。
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時の音量は、ポータブル機によって異なります。
- ペアリングされたポータブル機とマルチメディアシステムの音量レベルは同期されます。デバイスの音量を変更すると、Bluetooth®オーディオのマルチメディア音量も変更されます。


ポータブル機をマルチメディアシステムに接続してください。


- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 機器名称または[Bluetooth]にタッチします。
- 4 必要に応じて、再生中の Bluetooth®オーディオを操作します。
 - 画面で操作する


[]: ランダム再生をします。
 タッチするたびに、ランダムの設定
 が切りかわります。*1


[]: 再生中のトラックの先頭
 から再生します。トラックの先頭の
 ときは、前のトラックの先頭から再
 生します。

タッチし続けると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: 再生を一時停止します。

[]: 再生します。

[]: トラックが切りかわります。
 タッチし続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[]: リピート再生をします。
 タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

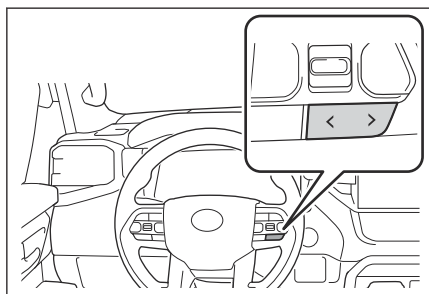
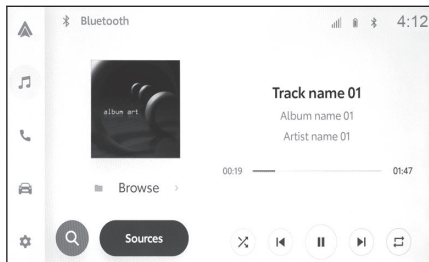
[**Browse**]: サブメニューに再生モードを表示します。

リストからトラックを選択できます。

- ステアリングスイッチで操作する

[<]/[>]スイッチ
 トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし/早送りし
 ます。手を離すと、その位置から再
 生します。



関連リンク

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

*1: ランダム/リピートの設定がどの順番で切りかわるかは機種によって異なります。

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項

Bluetooth®オーディオの再生に関して次の情報に特に注意してください。

□ 知識

- 携帯電話をまたは Bluetooth®ポータブルオーディオプレーヤー（以下ポータブル機）を使用するためには、まずマルチメディアシステムにポータブル機を登録する必要があります。
- ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- マルチメディアシステムの設定で Wi-Fi®機能を ON にしているときは、Bluetooth®オーディオの音が途切れる場合があります。

▲ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナはマルチメディアシステム内に内蔵されています。
植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

▲ 注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにポータブル機が故障するおそれがあります。
- ポータブル機をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化する場合があります。

— 関連リンク —

[Wi-Fi®設定を変更する \(P.77\)](#)

[Wi-Fi® Hotspot を設定する \(P.79\)](#)

[Bluetooth®機器使用上の留意事項 \(P.86\)](#)

[Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.89\)](#)

[Bluetooth®について \(P.210\)](#)

インテグレートッドストリーミングを再生する^{*1}

インテグレートッドストリーミングを本システムで聴くことができます。この機能を利用するには、お客様が事前にモバイル端末にトヨタアプリをダウンロードしてインストールする必要があります。お使いの音楽アカウントがトヨタアプリに連携されている必要があります。

詳細については、<https://www.toyota.com> をご覧ください。

□ 知識

- 利用可能な機能や画面レイアウトは音楽アプリによって異なる場合があります。
- 音楽再生中に他のインテグレートッドストリーミング画面に移動すると、再生画面は最小化されます。最小化された再生画面を選択すると、再生画面が元のサイズに戻ります。
- 画面レイアウトは音楽アプリによって異なる場合があります。

- 1 メインメニューの[🎵]にタッチします。
- 2 [Sources]にタッチします。
- 3 希望のストリーミング音楽サービス名を選択して再生画面を表示します。
- 4 必要に応じて、音楽再生中に次の操作を行ってください。

- 画面で操作する

[⊕] : 現在再生中の曲をライブラリに保存します。

[⏮] / [⏭] : トラックが切りかわります。

タッチし続けると、早もどし/早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

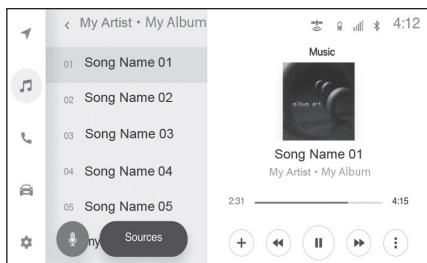
[■] : 現在再生中の音楽を停止します。

[⏸] : 再生を一時停止します。

[▶] : 再生します。

[⋮] : メニューを表示します。次のコンテンツを選択できます：

- [Create station] : 現在再生中の曲と似た曲を再生するステーションを作成します。



*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

- **[Shuffle]**: ランダム再生を行います。トラックやアルバムを自動でランダムに選択します。
- **[Repeat]**: リピート再生を行います。タッチするたびに、プレイリストリピート、1 曲リピート、リピート OFF の順でモードが切り替わります。
- **[Love]/[Dislike]**: 音楽アプリのホーム画面で、ユーザーの好みに合ったおすすめコンテンツをパーソナライズするのに役立ちます。

サブメニューリストの曲名: フォルダ名または曲名をタッチすることで、現在再生中の曲を変更できます。

関連リンク

[サウンドやメディアの設定を変更する \(P.60\)](#)

6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

ハンズフリー電話についての留意事項.....168

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に.....172

6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

ステアリングスイッチで操作する.....175

6-3. 電話のかけ方

履歴から電話をかける.....176

お気に入りリストから電話をかける.....177

連絡先から電話をかける.....178

キーパッドから電話をかける...179

6-4. 電話の受け方

電話に出る.....180

着信を拒否する.....181

6-5. 通話中の操作

通話画面で操作する.....182

割込着信の電話に出る.....184

通話中に別の通話相手へ電話をかける.....185

グループ通話をする.....186

電話を切る.....187

6-6. ハンズフリー電話の変更

ハンズフリー電話を切りかえる.....188

6-7. 連絡先データの編集

連絡先データの転送.....189

6-8. メッセージ機能の使い方

メッセージ機能使用時の留意事項.....191

メッセージから電話をかける...194

ハンズフリー電話についての留意事項

動作確認済みの Bluetooth® 携帯電話を接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー電話と呼びます。

接続する携帯電話は、マルチメディアシステムの仕様に対応している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Apple CarPlay/Android Auto 接続中でも、状況によっては Apple CarPlay/Android Auto のハンズフリー電話画面にならない場合があります。

□ 知識

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点に注意してください。
 - 携帯電話は、マルチメディアシステムに登録して Bluetooth® 接続しないとハンズフリー電話として使用できません。ハンズフリー電話を使用するときは、まず携帯電話の登録を行ってください。
 - 携帯電話は Bluetooth® 機能を使用できる状態で使用してください。
 - Bluetooth® オーディオ再生中に発信／着信すると、画面の表示および発信音／着信音の鳴る動作が遅れる場合があります。
- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth® 端末において動作を保証しているわけではありません。

携帯電話の機種によっては、次のことがあります。

- ハンズフリー電話中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>の操作をすると、通話が切断される場合があります。
- 発信画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話画面が表示される場合があります。
- 発信画面でキーパッドを使用して入力をして、携帯電話会社のサービスによりトーン信号を送れない場合があります。
- 発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。
- 次の場合は、ハンズフリー電話を使用できないことがあります。
 - 通話エリア外るとき
 - 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
 - 携帯電話から連絡先データを転送中るとき
 - 携帯電話がダイヤルロックされているとき
 - データ通信中など、携帯電話が使用中るとき
 - 携帯電話が故障しているとき
 - 携帯電話が接続されていないとき
 - 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
 - 携帯電話の電源が OFF のとき

- 携帯電話がハンズフリーを使用できない設定のとき
- マルチメディアシステムでデータ通信や連絡先転送からハンズフリー電話に切りかえているとき。(切りかえ中はマルチメディアシステムの Bluetooth® 接続状態が表示されません)
- その他、携帯電話自体が使えないとき
- ハンズフリー電話と Wi-Fi® 機能 (Wi-Fi® または Wi-Fi® Hotspot) を同時に使用する場合、携帯電話の Bluetooth® 接続が切断される場合があります。

⚠ 警告

- 運転手は、携帯電話などのモバイル機器をハンズフリーモードでのみ操作してください。この警告に従わない場合、運転者の注意散漫を招き、人身事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。
- 運転手は、車両の安全な運転について唯一の責任を負います。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を装着している方は、Bluetooth® アンテナから適切な距離を保ってください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

— 関連リンク —

[Bluetooth® 機器使用上の留意事項 \(P.86\)](#)

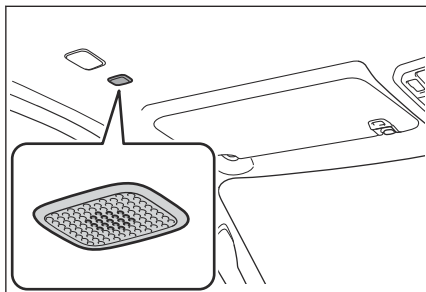
[Bluetooth® の仕様、対応プロファイル \(P.88\)](#)

[Bluetooth® 機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.89\)](#)

通話音声の留意事項

ハンズフリー電話では、車両側に装備されているマイクを通して通話ができます。ハンズフリー電話を行う際は、次の情報に特に注意してください。

- 着信時や通話時などの音声は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリー電話で音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。



□ 知識

- 通話時は通話相手と交互に話をしてください。通話相手と同時に話した場合、相手の音声はこちらに聞こえにくくなる場合があります。
- 受信音量が大きい場合、相手の音声が車外にもれたり、エコーが聞こえるおそれがあります。
- 音声は大きくはっきりと話してください。
- 次の場合は、通話相手側にこちらの音声聞こえにくくなる場合があります。
 - 悪路走行時
 - 高速走行時
 - 窓を開けているとき
 - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - エアコン送風の音が大きいとき
 - 携帯電話をマイクに近付けたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth[®]機器が同時に接続されている場合、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- マルチメディアシステムで Wi-Fi[®]機能（Wi-Fi[®]または Wi-Fi[®] Hotspot）を利用する設定にしていると、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。

⚠ 注意

マイクにふれたり、先の尖ったものを入れないでください。故障の原因となります。

お車を手放すときの注意

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。お車を売却または廃棄するときには、全ての情報を初期化してください。

全ての情報を初期化すると、マルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどります。初期化前の状態にもどすことはできません。

— 関連リンク —

[セキュリティ設定を変更する \(P.66\)](#)

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に

次のような症状に気づいた場合は、考えられることと処置を参考に、もう一度確認してください。


■ ハンズフリー電話を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー電話を使うことができない	携帯電話が Bluetooth® に対応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または次のウェブサイトをご確認ください: https://www.toyota.com/connected-services (U.S.A.)、 https://www.toyotapr.com/serviciosconectados (プエルトリコ)、 https://www.toyota.ca/toyota/en/about/connected-services (カナダ)
	携帯電話のバージョンが Bluetooth® に適合していない。	Bluetooth® Core Specification Ver.5.0 以上の携帯電話を使用してください。

■ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	マルチメディアシステム、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、再度登録操作を行ってください。
Bluetooth® 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth® 接続状態にある。	お使いになる携帯電話をマルチメディアシステムから手動で Bluetooth® 接続してください。
	携帯電話の Bluetooth® 機能が有効状態でない。	エンジンスイッチ<パワースイッチ>が ACC または ON のときに、携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にしてください。
	携帯電話の登録情報が削除されている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。

■ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受ける ができない	圏外にいる	[]アイコン表示が消える場所まで移動してください。
	携帯電話の発信制限 (ダイヤルロック) が ON になっている。	携帯電話の発信制限 (ダイヤルロック) を OFF にしてください。

■ 連絡先

症状	考えられること	処置
連絡先データの転送/ 自動転送ができない	携帯電話の Profile が 連絡先データ転送に対 応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または次のウェブサイトをご確認ください: https://www.toyota.com/connected-services (U.S.A.)、 https://www.toyotapr.com/serviciosconectados (プエルトリコ)、 https://www.toyota.ca/toyota/en/about/connected-services (カナダ)
	マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で、[Sync contacts]が OFF になっている。	マルチメディアシステムの Bluetooth®設定で、[Sync contacts] を ON にしてください。
	携帯電話が、連絡先の転送を承認待ちの状態になっている。	携帯電話で連絡先転送の承認ボタンを選択してください。
携帯電話に承認の確認画面が表示される	携帯電話が常に承認する設定になっていない。	携帯電話を常に承認する設定にしてください。
連絡先データがその他に登録される	携帯電話に連絡先が登録されていない。	携帯電話に連絡先を登録してください。

■ Bluetooth®メッセージ機能を使う

症状	考えられること	処置
新着メッセージの通知 が表示されない	マルチメディアシステムの設定で、[Do not disturb]が ON になっている。	マルチメディアシステムの設定で、[Do not disturb]を OFF にしてください。
	携帯電話で自動メッセージ転送機能が有効になっていない。	携帯電話で自動メッセージ転送機能を有効にしてください。

■ その他の状況

症状	考えられること	処置
考えられる処置をして も、症状が改善されな いとき	携帯電話とマルチメディアシステムの距離が離れすぎている。	携帯電話とマルチメディアシステムの距離を近づけてください。
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi [®] 機器など電波を発生する機器の電源を OFF にしてください。 マルチメディアシステムの Wi-Fi [®] 設定を OFF にしてください。
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。
		携帯電話の Bluetooth [®] 接続を OFF から ON にしてください。
		携帯電話の Wi-Fi [®] 接続を OFF にしてください。
携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリケーションを停止してください。		
	携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。	

□ 知識

詳細は、携帯電話に添付の取扱説明書で確認してください。

— 関連リンク —

[Bluetooth[®]機器を設定する \(P.81\)](#)

[Bluetooth[®]機器をマルチメディアシステムから登録する \(P.89\)](#)

[Bluetooth[®]機器の登録を削除する \(P.92\)](#)

[Wi-Fi[®]を切断する \(P.102\)](#)

[Wi-Fi[®] Hotspot を切断する \(P.104\)](#)

ステアリングスイッチで操作する

電話を受ける／かけるなど、一部のハンズフリー電話機能をステアリングスイッチから操作できます。

● 必要に応じて、各スイッチを操作します。

[🔊] スイッチ

着信音量／受話音量を調整します。

押し続けると、連続して調整できます。

[🗣️] スイッチ

音声操作で電話をかけることができます。

トークスイッチを押し続けると、インテリジェントアシスタントを終了します。

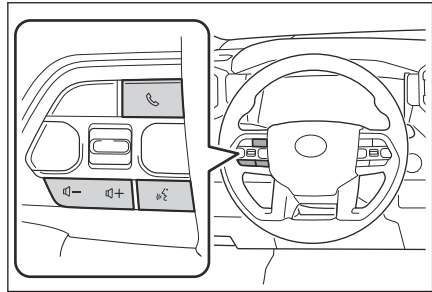
[📞] スイッチ

● 通話中でない場合、履歴画面または電話メニューが表示されます。

● マルチメディアシステムの電話画面に[📞]が表示されているとき、電話をかけます。

● 発信中／通話中は、電話を切ります。

● 着信中／割り込み着信中は、電話に出ます。



📖 知識

- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に[📞]を押すと、Apple CarPlay/Android Auto の電話画面がマルチメディアシステムに表示されます。
- Apple CarPlay とハンズフリー電話を接続中に[📞]を押すと、Apple CarPlay またはマルチメディアシステムの電話画面が表示されます。最後に使用した機能が優先されます。どちらも使用していない場合は、メイン機器が優先されます。
- Android Auto とハンズフリー電話を接続中に[📞]を押すと、マルチメディアシステムの電話画面が表示されます。
- 着信中には、着信した携帯電話の電話画面（ハンズフリー電話／Apple CarPlay/Android Auto）が表示されます。


— 関連リンク —

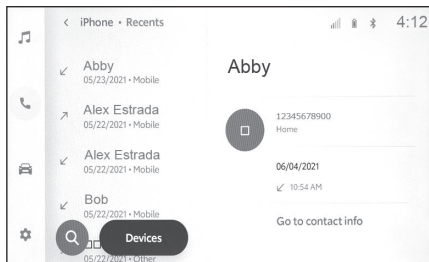
[音声操作を開始する \(P.36\)](#)

[Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 \(P.105\)](#)

履歴から電話をかける

発信または着信履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Recents]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
連絡先に登録されていない電話番号は、電話番号のまま表示されます。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



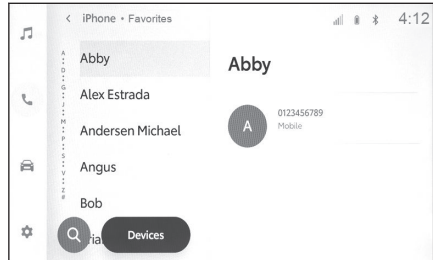
知識

- 最新の履歴 100 件を表示します。履歴が 100 件をこえると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先またはマルチメディアシステムに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 連絡先に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
 - 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
 - 不在着信および着信拒否も登録されます。
 - 相手先電話番号の通知がない場合は、「Unknown」と登録されます。
- 保留した通話も履歴に登録されます。
- 携帯電話の機種によっては、国際電話がかけられない場合があります。

お気に入りリストから電話をかける

お気に入りリストから電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [Favorites]にタッチします。
- 3 お気に入りリストから電話をかけた
い相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



📖 知識

- [Sync contacts]がONの場合、携帯電話のお気に入りはマルチメディアシステムに自動的に転送されます。
- 携帯電話の機種によっては、お気に入りを転送できません。

— 関連リンク —

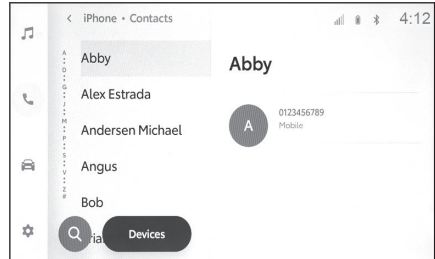
[Bluetooth® 機器を設定する \(P.81\)](#)

[連絡先データの転送 \(P.189\)](#)

連絡先から電話をかける

マルチメディアシステムに登録している連絡先から電話をかけることができます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [Contacts]にタッチします。
- 3 通話相手を選択します。
- 4 希望の電話番号にタッチします。



□ 知識

- 連絡先データが登録されていない場合、マルチメディアシステムに連絡先データを転送する必要があります。
- マルチメディアシステムの連絡先データは、接続しているハンズフリー電話の連絡先データが表示されます。2台接続などでハンズフリー電話を切りかえた場合、連絡先データも切りかわります。

— 関連リンク —

[連絡先データの転送 \(P.189\)](#)

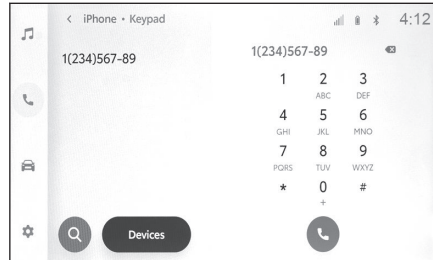
キーパッドから電話をかける

電話番号をキーパッドで入力し、電話をかけます。

- 1 メインメニューの[📞]にタッチします。
- 2 [Keypad]にタッチします。
- 3 電話番号を入力します。

- 4 [📞]にタッチ、またはステアリングスイッチの[📞]スイッチを押します。

サブメニューに表示された連絡先にタッチして発信することもできます。





関連リンク

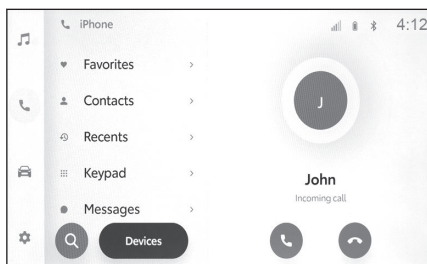
[ステアリングスイッチで操作する \(P.175\)](#)

電話に出る

着信があると着信音が鳴り、着信画面もしくは着信通知が表示されます。

● 次のいずれかの操作をして、電話に出ます。

- [] にタッチします。
- ステアリングスイッチの [] スイッチを押します。



知識

- 駐車支援システム画面表示中は、着信画面が表示されません。着信音のみで着信が通知されます。
- 着信中は、ハンズフリー電話以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリー電話より優先される音声案内は、ミュートされません。
- マルチメディアシステムで携帯電話の着信音を設定していても、携帯電話の設定によっては、マルチメディアシステムでは違う着信音出力される場合があります。
- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
 - 着信音は、車両スピーカーと携帯電話の両方から聞こえる場合があります。
 - 着信時に相手の電話番号が表示されない場合があります。
 - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、携帯電話での通話になる場合があります。
 - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があったときは、着信画面がマルチメディアシステムに表示されず、着信音も鳴らない場合があります。
- 携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。


— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

[ステアリングスイッチで操作する \(P.175\)](#)

着信を拒否する

マルチメディアシステムではいくつかの方法で着信を拒否できます。

- 着信中に、次のいずれかの操作をして、着信を拒否します。
 - []にタッチします。
 - 電話機を直接操作します。

知識

- 携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。
- Bluetooth®設定の[Do not disturb]を ON にすると、ハンズフリー通話の着信を拒否したり、音声やディスプレイでの通知を無効にしたりすることができます。ただし、この設定は Apple CarPlay や Android Auto の電話機能には適用されません。ハンズフリーフォンと Android Auto が接続されている場合でも、この設定はハンズフリー通話機能には適用されません。


— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.175\)](#)

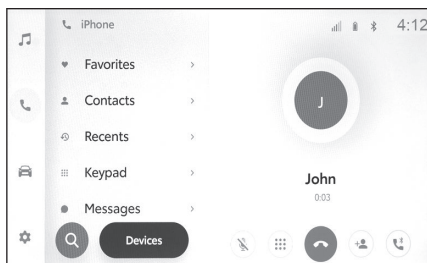
通話画面で操作する


通話中は通話画面でいろいろな操作ができます。




[]: 通話相手に発話した声が聞こえないように、送話音をミュート（消音）します。ミュート（消音）中はボタンが青くなります。解除するときは、再度ボタンにタッチします。

通話相手の声は聞くことができます。




[]: キーパッド画面を表示します。キーパッド画面表示中は、通話画面が縮小されます。




[]: 通話中の電話を切ります。



[]: 別の通話相手に電話をかけるために、サブメニューに連絡先リストを表示します。

通話中に電話番号をタッチして電話をかけることで、別の相手に電話をかけます。




[]: 携帯電話とマルチメディアシステムのあいだで、通話を切りかえることができます。携帯電話で通話中のときは、ボタンが青くなります。




[]: 保留中の通話を解除します。保留中のみ表示されます。



[]: 通話画面を縮小します。



[]: メインエリアに通話画面を表示します。

知識

- マルチメディアシステムの状態によっては、通話画面が縮小されたり、表示されない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話を切りかえることができません。
- 走行中は、ハンズフリー電話での通話から携帯電話での通話に切りかえることはできません。携帯電話の機種によっては、通話を切りかえることができません。
- 通話中の携帯電話がハンズフリー電話としてマルチメディアシステムに接続された場合、通話画面が表示されます。携帯電話の機種によって、携帯電話かマルチメディアシステムのどちらかの通話になります。

- ハンズフリー電話で通話中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>を操作した場合、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、携帯電話で継続される場合があります。携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。

関連リンク

[ステアリングスイッチで操作する \(P.175\)](#)

割込着信の電話に出る

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話できます。割込着信が入ると、画面上部に着信通知が表示されます。

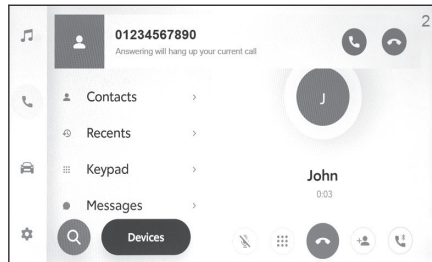
□ 知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロフィールに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

- 割込着信中に、[📞]にタッチ、またはステアリングスイッチの[📞]スイッチを押します。

割込着信に出ると、通話していた相手は保留中になります。

[Swap calls]にタッチするごとに通話相手が切りかわります。



— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.175\)](#)

割込着信を拒否する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込着信を拒否できます。

割込着信中に、[📞]にタッチします。

□ 知識


携帯電話の機種によっては、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

— 関連リンク —

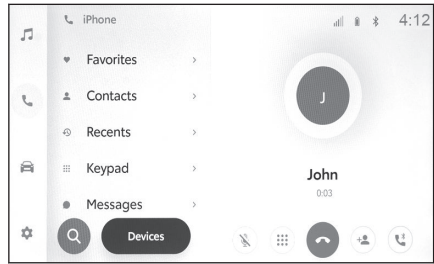
[ステアリングスイッチで操作する \(P.175\)](#)

通話中に別の通話相手へ電話をかける

通話中に新たに第三者へ電話をかけることができます。

- 1 通話画面で、[]にタッチします。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 電話番号を選択します。

本機能を利用すると、通話中の相手を保留します。



知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

グループ通話をする

通話相手と保留相手がいる場合に保留相手を通話に追加できます。

● **第三者と通話中に、[Merge calls]にタッチします。**

保留中の電話が保留解除され、グループ通話へ切りかわります。



 **知識**

- 携帯電話会社とグループ通話の契約が必要な場合があります。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。
- グループ通話を切ると、グループ全員との通話が終了します。

電話を切る

ハンズフリー電話を切るには、いくつかの方法があります。

● **通話中に、次のいずれかの操作をします。**

- ステアリングスイッチの[]スイッチを押します。
押し続けると、保留中を含むすべての電話を切ることができます。
- 発信中または通話画面で、[]にタッチします。
- 携帯電話の操作で電話を切ります。


— 関連リンク —

[ステアリングスイッチで操作する \(P.175\)](#)

ハンズフリー電話を切りかえる

2 台の携帯電話をハンズフリー電話として接続している場合、それぞれの携帯電話を利用できます。ハンズフリー電話には、利用する携帯電話を切りかえる機能があります。ハンズフリー電話画面では、選択している携帯電話の連絡先や履歴などのデータが表示されます。着信などの機能は、選択されていない携帯電話も機能します。

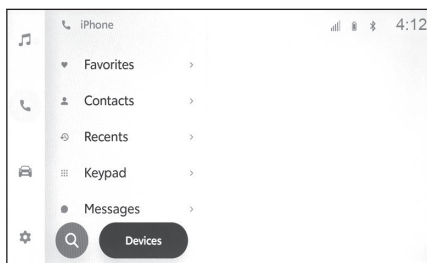
ハンズフリー電話として 2 台接続するには、ドライバーを設定している必要があります。

1 メインメニューの[]にタッチします。

2 [Devices]にタッチします。

3 使用したい携帯電話を選択します。

通話中、着信中、発信中は他の携帯電話を選択できません。



知識

- ハンズフリー電話画面以外から電話をかける場合、メイン機器として発信されます。
- いずれかのハンズフリー電話で通話している場合、もう一方のハンズフリー電話からは発信できません。
- いずれかのハンズフリー電話で通話しているときに、もう一方のハンズフリー電話の着信に出た場合、最初の通話が切れます。
- 次の機能は、選択されていない携帯電話でも利用可能です。
 - 電話着信機能
 - メッセージ送受信機能（メッセージ受信時）
- 携帯電話を切りかえても、メイン機器が変更されるわけではありません。

関連リンク

[ユーザープロファイルの連携 \(P.44\)](#)

[ユーザープロファイルの切り替えや連携をする \(P.51\)](#)

[Bluetooth®機器をメイン機器に設定する \(P.96\)](#)

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、自動転送 (PBAP) に対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話が自動転送 (PBAP) に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。

連絡先を自動転送 (PBAP) するには、Bluetooth®設定で[Sync contacts]を ON にする必要があります。

□ 知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - 1 つの連絡先に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、マルチメディアシステム側の連絡先には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - 電話番号と同時に名称も転送されます。
機種によっては記号などの一部の文字が転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります)
 - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報をもとにして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
 - 連絡先データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。詳細は、接続する携帯電話に添付の取扱説明書をご参照ください。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
 - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
 - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先データ転送中は、次のように対応します。
 - 連絡先データ転送中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。(転送された一部のデータも保存されません)
 - マルチメディアシステム側のメモリ容量により途中で自動転送 (PBAP) が終了したとき。

- 何らかの原因で自動転送（PBAP）が中断されたとき。
- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth®オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送（PBAP）機能により連絡先やお気に入り、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。携帯電話の機種によってはお気に入りの転送ができません。
- [Sync contacts]が ON の場合、携帯電話のお気に入りが自動的にマルチメディアシステムに転送されます。
- 自動転送（PBAP）で連絡先データを転送したときに、機種によっては携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動転送（PBAP）で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動転送（PBAP）が開始されない場合、他の機能をすべて終了させると自動転送が開始されることがあります。
- 連絡先の画像を転送するには、Bluetooth®設定で[Sync contacts]を ON にしてください。

— 関連リンク —

[Bluetooth®機器を設定する \(P.81\)](#)

[Bluetooth®の仕様、対応プロファイル \(P.88\)](#)

メッセージ機能使用時の留意事項

メッセージは、ハンズフリー通話用に接続された携帯電話から転送されます。マルチメディアシステムを使用して、メッセージの確認、返信、送信（MMSを除く）が可能です。接続する携帯電話の機種によっては、メッセージをマルチメディアシステムに転送できない場合があります。携帯電話がメッセージ機能に対応していない場合、この機能は使用できません。

この機能は、HFP および MAP をサポートする携帯電話で使用できます。携帯電話が HFP または MAP をサポートしているかどうかは、携帯電話に添付の取扱説明書または携帯電話の互換プロファイルを参照してください。

□ 知識

- 携帯電話の設定からメッセージ共有設定を有効にする必要があります。
- Eメール機能はサポートしていません。
- 携帯電話の機種によっては返信機能をご利用いただけない場合があります。
- マルチメディアシステムへ接続後に送受信したメッセージは、マルチメディアシステムに転送されます。
- 接続する携帯電話の機種によっては、携帯電話側で追加操作が必要になる場合があります。
- SMS メッセージの場合、件名は表示されません。
- 携帯電話の機種によっては、受信した MMS の件名が表示されない場合があります。
- 走行中はテキストメッセージを音声データに置き換えて再生できます。
- **[Auto read messages]** が ON の場合、メッセージが音声で読み上げられます。
- インテリジェントアシスタントで作成した送信メッセージは、送信前に音声で確認できます。
- 携帯電話の機種やマルチメディアシステムへの登録状況により、一部情報が表示されない場合があります。


— 関連リンク —

[Bluetooth® 機器を設定する \(P.81\)](#)

[Bluetooth® の仕様、対応プロファイル \(P.88\)](#)


メッセージを確認する


送受信したメッセージを確認することができます。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Messages]にタッチします。
- 3 メッセージの送信者を選択します。

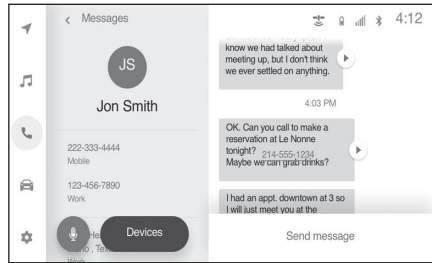
メッセージ本文が読み込めない場合は、最初からやり直してください。

4 必要に応じて項目を選択します。

[]: メッセージを読み上げます。

読み上げを停止するには、[]をタッチしてください。

[Send message]: インテリジェントアシスタントを開始します。



知識

[Auto read messages]を有効にすると、未読メッセージが最も古いものから順に読み上げられます。

関連リンク


[メッセージへ返信する \(P.192\)](#)


[メッセージから電話をかける \(P.194\)](#)

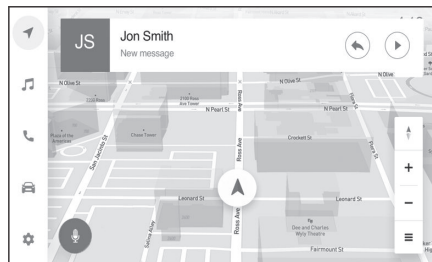
新着メッセージを確認する

SMS または MMS メッセージを受信すると、画面上部に新着メッセージの通知が表示されます。

● メッセージ受信時に次の操作ができます。

[]: メッセージへの返信ができます。返信すると、同じ送信者からのすべてのメッセージが既読になります。


[]: メッセージを読み上げます。読み上げられたメッセージは既読になります。



関連リンク

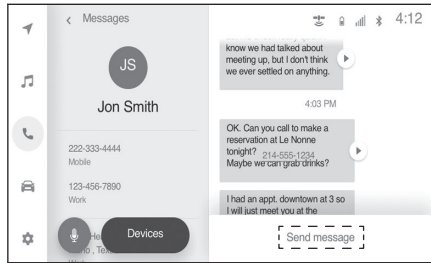
[メッセージへ返信する \(P.192\)](#)

メッセージへ返信する

受信したメッセージに返信できます。音声操作システムで返信することもできます。音声で返信するには、[]をタッチし、表示される指示に従ってください。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Messages]にタッチします。

- 3 **メッセージの送信者を選択します。**
 - チャットが表示されます。
- 4 **[Send message]にタッチします。**
- 5 **インテリジェントアシスタントを使用してメッセージを入力します。**



- サブスクリプションサービス^{*1}が有効な場合、インテリジェントアシスタントを使用してメッセージ本文を入力できます。(テンプレートを使用した返信もできます)
- インテリジェントアシスタントを使用して、定型文で返信することができます。(クイック返信)

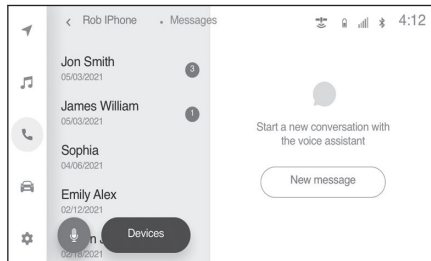
関連リンク

[インテリジェントアシスタントシステムを使用する \(P.33\)](#)

メッセージを送信する

SMS メッセージを新規作成できます。MMS には対応していません。

- 1 **メインメニューの[]にタッチします。**
- 2 **[Messages]にタッチします。**
- 3 **[New message]にタッチします。**
- 4 **インテリジェントアシスタントを使用してメッセージを入力します。**
- 5 **メッセージを送信します。**



関連リンク

[インテリジェントアシスタントシステムを使用する \(P.33\)](#)

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

メッセージから電話をかける

メッセージからハンズフリー電話をかけることができます。

- **青字の番号にタッチして発信できます。**

連続した数字は電話番号として認識される場合があります。また、海外の電話番号など、一部の電話番号は認識されない場合があります。

7-1. コネクテッドサービス概要

機能概要	196
タイプ A: DCM と本システムを 使用する機能	198
タイプ B: DCM を使用する機能	199
タイプ C: DCM とスマートフ ォンを使用する機能	200

機能概要

コネクテッドサービスには次のサービスが含まれます：

- ユーザープロフィール
- Drive Connect（クラウドナビゲーション、インテリジェントアシスタント、デスティネーションアシストを含む）
- Wi-Fi® Connect（Wi-Fi® Hotspot、インテグレートドストリーミングを含む）
- OTA（無線アップデート）*1
- Safety Connect
- Remote Connect
- Service Connect

機能分類

各機能は次のタイプに分類されます。

- タイプ A：DCM と本システムを使用する機能
- タイプ B：DCM を使用する機能
- タイプ C：DCM とスマートフォンを使用する機能

機能	分類
ユーザープロフィール、Drive Connect、Wi-Fi® Connect、OTA	タイプ A
Safety Connect	タイプ B
Remote Connect、Service Connect	タイプ C

□ 知識

コネクテッドサービス機能の利用可否は、ネットワーク受信レベルと信号強度に依存します。

機能を使用するにあたって

■ サブスクリプションについて

トヨタアプリでコネクテッドサービス契約（「コネクテッドサービス利用規約」および「コネクテッドサービスプライバシー通知」）に同意し、お車をご自身のアカウントに登録することでサービスをご利用いただけます。様々なサブスクリプション契約が利用可能です。トヨタ販売店にお問い合わせいただくか、1-800-331-4331（U.S.A.）、1-877-855-8377（プエルトリコ）、1-888-869-6828（カナダ）までお電話ください。

*1: 一部の無線アップデートは Wi-Fi® 接続が必要な場合があります。

■ 利用できる機能について

これらの機能は一部の国や地域、機種ではご利用いただけません。

タイプ A : DCM と本システムを使用する機能

ユーザープロフィール、Drive Connect（クラウドナビゲーション、インテリジェントアシスタント、デスティネーションアシスト）、Wi-Fi® Connect（Wi-Fi® Hotspot、インテグレートドストリーミング）の機能は、DCM と本システムが連携することで使用できます。

これらのサービスは、テレマティクス機能搭載車両でサブスクリプション契約することで利用でき、トヨタが 24 時間 365 日体制でサポートします。

詳細について：

- ユーザープロフィール：(→ P.44)
- インテリジェントアシスタント：(→ P.33)
- クラウドナビゲーション：(→ P.124)
- デスティネーションアシスト：(→ P.132)
- インテグレートドストリーミング：(→ P.164)
- Wi-Fi® Hotspot：(→ P.79)

タイプ B : DCM を使用する機能

Safety Connect 機能は、DCM を使用します。

詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

□ 知識

● フリー／オープンソースソフトウェア情報

本製品にはフリー／オープンソースソフトウェア（FOSS）が含まれています。当該 FOSS のライセンス情報および／またはソースコードは、次の URL でご覧いただけます。

<https://www.denso.com/global/en/opensource/dcm/toyota/>

- 無線周波数信号について：お車に搭載されているシステムには低電力無線送信機および受信機が含まれています。本システムは無線周波数（RF）信号を送受信しません。
- 1996 年 8 月、連邦通信委員会（FCC）は携帯電話の安全基準となる RF ガイドラインを採択しました。これらのガイドラインは、米国及び国際標準化団体が以前に設定した安全基準と一致しています。
 - ANSI (American National Standards Institute) C95.1 [1992]
 - NCRP (National Council on Radiation Protection and Measurement) Report 86 [1986]
 - ICNIRP (International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection) [1996]
- これらの基準は、関連する科学文献の包括的かつ定期的な評価に基づいています。大学、政府保健機関、産業界から 120 名以上の科学者、技術者、医師が利用可能な研究成果を精査し、ANSI 規格（C95.1）を策定しました。
- 本システムは、これらの規格に加え、FCC ガイドラインにも準拠しています。
- トヨタレスポンスセンターへの連絡は、テレマティクス装置の作動状態、携帯電話回線の接続状況、ナビゲーションの地図データ、GPS 衛星信号の受信状況に依存するため、これらの条件によっては、トヨタレスポンスセンターへの連絡やサポートが制限される場合があります。登録およびコネクテッドサービス契約（「コネクテッドサービス利用規約」および「コネクテッドサービスプライバシー通知」への同意）が必要です。様々なサブスクリプション契約が選択でき、料金は選択したサブスクリプション契約によって異なります。
- トヨタレスポンスセンターでは、複数の言語でサポートを提供しています。
- Safety Connect に加入している一部の車両は、車両情報の送信が可能です。詳細は利用規約をご確認ください。車両情報の送信を希望しないオーナーは、加入時、または 1-800-331-4331（U.S.A.）、1-877-855-8377（プエルトリコ）、1-888-869-6828（カナダ）にお電話いただき、Safety Connect の案内に従って送信を拒否できます。
- サービスの詳細については、トヨタ販売店にお問い合わせください。
- 本システムの機能は電気通信法第 255 条の適用対象外であり、本システムは TTY 対応ではありません。

タイプ C : DCM とスマートフォンを使用する機能

Remote Connect および Service Connect の機能は、DCM とスマートフォンを使用します。

これらのサービスの詳細については、<https://www.toyota.com/connected-services> (U.S.A.)、<https://www.toyotapr.com/serviciosconectados> (プエルトリコ)、<https://www.toyota.ca/toyota/en/about/connected-services> (カナダ) を参照してください。

Remote Connect

Remote Connect は、スマートフォンアプリケーションで車両の特定の情報を表示したり、一部機能を遠隔で操作できます。

□ 知識

- Remote Connect 機能の利用可否は、ネットワーク受信レベルに依存します。
- Remote Connect は、許可されたユーザーのみが使用してください。
- 一部の国や地域では、Remote Connect 操作時に車両が利用者の視界内にあることを義務付ける法律が存在する場合があります。また、州によっては Remote Connect の使用が州法または国や地域の条例に違反する可能性があります。Remote Connect を使用する前に、お住まいの州および国や地域の法律を確認してください。
- 車両の不具合は、必ずトヨタ販売店にて修理してください。
- Remote Connect は、約-30°C (-22°F) 以上の温度で動作するよう設計されています。この仕様は Remote Connect の動作に関するものですが、車両の動作温度範囲に依存しており、それとは異なる場合があります。
- 内容は予告なく変更される場合があります。
- 詳細は、<https://www.toyota.com/connected-services> (U.S.A.)、<https://www.toyotapr.com/serviciosconectados> (プエルトリコ)、<https://www.toyota.ca/toyota/en/about/connected-services> (カナダ) でご覧いただけます。

▲ 警告

Remote Connect を誤って操作すると、予期せぬ事故や故障につながるおそれがあります。使用前に車両の状態を確認し、すべての責任を負って操作してください。

Service Connect

Service Connect は DCM を使用して車両データを収集・送信し、次のサービスを提供します：

- 車両のヘルスレポート (VHR) (リコール、サービスキャンペーン、現在の車両アラート、必要なメンテナンス、車両の状態)
- メンテナンス通知
- 車両アラート通知

 **知識**

Service Connect 機能の利用可否は、ネットワーク受信レベルに依存します。

8-1. 付録

メディア／データについての 情報	204
HD ラジオ™/SiriusXM® サテラ イトラジオについて	213
認証情報	216

メディア／データについての情報

使用できるメディアについての情報

使用できるメディアなどの仕様は、次のとおりです。

■ USB メモリーのフォーマット、仕様

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB2.0 HS (480MBPS)
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダー数	3000 (ルート含む)
最大フォルダー階層数	8
最大ファイル数	9999 (1 フォルダーにつき、最大 255 ファイル)
メモリ容量	～32GB
1 ファイルの最大サイズ	2GB

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダー名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USB メモリーによっては、再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンを使用して USB メモリーにファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。再生時に不可視ファイルが悪影響をおよぼし、正常にファイルを切りかえられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

フォーマットについての情報

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

■ MP3

対応規格	MP3 (MPEG1 LAYER 3、MPEG2 LSF LAYER3)
対応サンプリング周波数 (kHz)	MPEG1 LAYER 3 : 32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER 3 : 16、22.05、24
対応ビットレート (kbps) ⁽¹⁾	MPEG1 LAYER 3 : 32～320 MPEG2 LSF LAYER 3 : 8～160

対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24
-----------------------	-------

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96
対応量子化 bit 数 (bit) (2)	16/24

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ Ogg Vorbis

対応サンプリング周波数 (kHz) (1)	8、11.025、16、22.05、32、44.1、48
対応ビットレート (kbps) (2)	32～500

- (1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
- (2) VBR (Variable Bit Rate) に対応しています。

■ ファイル名

MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の拡張子「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」がついたものだけです。

MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルには、「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3 タグ/WMA タグ/AAC タグ/タグ/Vorbis comment

- MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WAV (LPCM) ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- FLAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- ALAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

- Ogg Vorbis ファイルには、Vorbis comment と呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

■ ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源

マルチメディアシステムはハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾ音源の定義は、CTA（Consumer Technology Association）などの団体の定義に準拠しています。

対応フォーマットと再生可能メディアについては、次のとおりです。

対応フォーマット

WAV、FLAC、ALAC、Ogg Vorbis

再生可能メディア

USB メモリー

iPhone/iPod について

■ 商標・設計認証情報



- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards.

- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod touch, Apple CarPlay, Siri and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Made for

- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPod touch (7th generation)

Android/Android Auto について

androidauto

Android and Android Auto are trademarks of Google LLC.

USB メモリーについて

■ パソコンで記録した音楽ファイル

次の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

MP3/WMA/AAC について

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

MP3

MP3 (MPEG Audio LAYER 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮できます。

WMA

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮できます。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

AAC

AAC (Advanced Audio Coding) は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MPEG LA について

This product is licensed under the AVC patent portfolio license for the personal use of a consumer or other uses in which it does not receive remuneration to (i) encode video in compliance with the AVC Standard (「AVC Video」) and/or (ii) decode AVC Video that was encoded by a consumer engaged in a personal activity and/or was obtained from a video provider licensed to provide AVC Video.No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA, L.L.C. See <http://www.mpegla.com>.

Bluetooth® について

使用できる Bluetooth® の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth® オーディオ
対応 Bluetooth® 仕様	Bluetooth® Core Specification Ver.5.0 以上
対応プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver.1.3.2 以上 ● AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) マルチメディアシステムからポータブルオーディオなどをコントロール（再生や停止など）するためのプロファイル：Ver.1.6.2 以上
対応コーデック	LDAC™/AAC/SBC

知識

マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth® 機器との接続性を保証するものではありません。

● 認証情報



Bluetooth® is a registered trademark of Bluetooth SIG, Inc.

QRコードについて

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

地図データについて

©2024 HERE

データライセンスについては、次のリンクをご覧ください。

<https://legal.here.com/terms/general-content-supplier/terms-and-notices/>

エンドユーザーライセンス契約

<https://legal.here.com/en-gb/terms/end-user-license-agreement>

HD ラジオ™/SiriusXM® サテライトラジオ^{*1} について



HD ラジオ™テクノロジーを使用する

HD ラジオ™テクノロジーは、アナログ AM/FM ラジオのデジタル進化形です。お使いのラジオには特別な受信機が搭載されており、従来のアナログ放送に加えて（対応地域では）デジタル放送を受信することができます。デジタル放送は、雑音やひずみのないクリアな音声を無料で提供するため、アナログ放送よりも高音質です。詳細情報および対応ラジオ局・番組ガイドについては、www.hdradio.com をご参照ください。

本ラジオに搭載されている HD ラジオ™機能：

- デジタルサウンド：HD ラジオ™放送はリスナーにクリアなデジタルオーディオ品質を提供します。
- マルチキャストチャンネル（HD2/HD3）：FM 局は HD2/HD3 チャンネルで、コンテンツやフォーマットの選択肢を拡大した追加のデジタル専用オーディオ番組を提供します。
- 番組サービスデータ（PSD）：PSD により、アーティスト名や曲名などの情報が画面に表示されます。
- 放送に関連するアーティストエクスペリエンスイメージ（アルバムカバーアートやステーションロゴなど）がラジオ画面に表示されます。

*1: この機能は一部の国や地域ではご利用いただけません。

 知識

■ 認証情報

HD Radio Technology manufactured under license from iBiquity Digital Corporation. U.S. and Foreign Patents. For patents see <http://dts.com/patents>. HD Radio, Artist Experience, and the HD, HD Radio, and “ARC” logos are registered trademarks or trademarks of iBiquity Digital Corporation in the United States and/or other countries.

SiriusXM サービスのサブスクリプション方法について

すべての SiriusXM サービス（衛星ラジオ、ストリーミングラジオ、データサービスを含む）は、車両購入時またはリース時に提供される可能性のあるトライアル期間終了後、Sirius XM Radio Inc.（カナダは Sirius XM Canada Inc.）が個別またはパッケージとして販売するサブスクリプションが必要です。トライアル期間終了後のサブスクリプションのお申し込みは、1-877-447-0011（U.S.A.）または 1-877-438-9677（カナダ）までお電話ください。SiriusXM および関連するすべてのマークとロゴは、Sirius XM Radio Inc.の商標です。

■ トライアルサブスクリプションに関する重要なお知らせ：

SiriusXM サービスは、継続利用手続きをしないと、トライアル期間終了後に自動的に停止します。継続利用手続きをした場合、選択した有料サブスクリプションプランは自動的に更新され、その時点で選択したお支払い方法に基づき料金が請求されます。料金と税金が適用されます。オンラインまたはお電話にいつでも解約可能です。1-866-635-2349（U.S.A.）または 1-888-539-7474（カナダ）へお電話ください。完全な利用規約およびプライバシーポリシーについては、www.siriusxm.com（U.S.A.）または care@siriusxm.ca（カナダ）をご覧ください。すべての料金、コンテンツ、機能は変更される場合があります。交通情報はすべてのマーケットで利用可能なわけではありません。

SiriusXM with 360L 契約車両では、車両内でデータ接続が有効になっていないと、一部の機能やコンテンツが利用できない場合があります。

■ SiriusXM サービスについて

現在、ほとんどの車両のトライアルには SiriusXM のプラチナプランが含まれています。

■ SiriusXM プラチナプランのトライアルサブスクリプションについて

プラチナプランのトライアルサブスクリプション契約をしていただくことで、どこでもお聴きいただけます。車内でもご利用可能な全チャンネルに加え、SXM アプリやオンラインでもお聴きいただけます。人生のあらゆる場面で、SiriusXM が提供する最高のコンテンツをお楽しみください。このパッケージでは、Howard Sternをはじめ、NFL、MLB[®]、NBA の全試合、NASCAR[®]レース、NHL[®]の試合、主要リーグ専門の24時間トークチャンネルなど、プレミアム番組をすべてお楽しみいただけます。アーティスト専用チャンネルを含む広告なしの音楽、スポーツ、ニュース、トーク、エンターテインメントなど、あらゆるコンテンツが揃っています。

■ ラジオ操作について

Sirius、XM、SiriusXM、Band、SAT、AUX、Radio、または Source ボタンを選択してください。音声聞こえない場合は、次の手順で簡単に開始できません：ラジオ ID を確認するか、SiriusXM 設定画面の[**Help and support**]を参照してください。該当番号が表示されない場合は、siriusxm.com/activation help でご確認ください。siriusxm.com/refresh にアクセスするか、1-855-MYREFRESH (697-3373) までお電話いただき、ラジオに更新信号を送信してください。カナダのお客様：ラジオ ID を確認するか、SiriusXM 設定画面の[**Help and support**]をご確認ください。ラジオに更新信号を送信するには siriusxm.ca/refresh にアクセスするか、サービスについては 1-888-539-7474 までお電話ください。

⚠ 注意

- SiriusXM サテライトラジオシステムと互換性のある受信機や、SiriusXM ウェブサイト、ストリーミングサービス、またはそのコンテンツをサポートする技術やソフトウェアをコピー、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング、ハッキング、操作、またはその他の方法で使用可能にすることは禁じられています。さらに、本製品に含まれる AMBE[®]音声圧縮ソフトウェアは、Digital Voice Systems, Inc.の特許権、著作権、および営業秘密を含む知的財産権によって保護されています。
- 注意：これは SiriusXM サテライトラジオ受信機のみにも適用され、SiriusXM 対応デバイスには適用されません。

ラジオ ID を表示する

各 SiriusXM チューナーには固有のラジオ ID が割り当てられています。SiriusXM サテライトサービスのアクティベーション時や問題報告時には、このラジオ ID が必要です。

- 画面にラジオ ID を表示するには、[**Sound & Media**]設定画面で SiriusXM を選択し、[**Help and support**]を選択してください。

認証情報



当該無線設備の送信は W52 帯において5.2GHz帯高出力データ通信システムの
基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除き、屋内においてのみ可能

FCC ID: ACJ932AT2104

NOTE:

<§15.19(a)(3)> This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC WARNING:

<§15.21> Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

CAUTION:

<§2.1091> Radio frequency radiation exposure information:
This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

Any unauthorized changes or modifications to this equipment would void the user's authority to operate this device.

This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- 1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- 2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

CAUTION

This equipment complies with ISED radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets RSS-102 of the ISED radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment should be installed and operated keeping the radiator at least 20cm or more away from person's body.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncé es pour un environnement non contrôlé et respecte les règles d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'ISDE. Cet équipement doit être installé et utilisé en gardant une distance de 20 cm ou plus entre le radiateur et le corps humain.

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.



FCC ID: JOYCW1011

NOTE

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC WARNING

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Co-location: This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

CAUTION : Radio Frequency Radiation Exposure

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment should be installed and operated keeping the radiator at least 20cm or more away from person's body.

IC: 574B-CW1011

NOTE

This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

The antenna cannot be removed (and changed) by user.

Co-location: This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

CAUTION: Radio Frequency Radiation Exposure

This equipment complies with ISED radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets RSS-102 of the ISED radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment should be installed and operated keeping the radiator at least 20 cm or more away from person's body.

NOTE

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

L'utilisateur n'est pas autorisé à retirer (ou modifier) l'antenne.

Emplacement: Cet émetteur ne doit pas être installé ou utilisé conjointement avec d'autres antennes ou émetteurs.

ATTENTION : exposition aux radiofréquences

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISDE établies pour un environnement non contrôlé et satisfait à la norme CNR-102 de la réglementation ISDE sur l'exposition aux radiofréquences (RF). Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et le corps.

A

AM ラジオ..... 144

Android Auto

Android Auto を再生する..... 159

Android Auto を使用する

登録済みスマートフォン..... 116

未登録のスマートフォン..... 113

Apple CarPlay

Apple CarPlay を再生する..... 156

Apple CarPlay を使用する

登録済みスマートフォン..... 110

未登録のスマートフォン..... 107

B

Bluetooth®オーディオ..... 161

Bluetooth®機器

削除する..... 92

サブ機器に設定する..... 97

接続する..... 93

登録する..... 89

メイン機器に設定する..... 96

F

FM ラジオ..... 144

G

Gracenote..... 204

H

HD ラジオ™..... 144

I

iPod/iPhone..... 153

P

POI 提案..... 131

S

SiriusXM ラジオ..... 144

U

USB メモリー..... 149

W

Wi-Fi® Hotspot 設定..... 79

Wi-Fi®設定..... 77

い

インテグレートッドストリーミング... 164

インテリジェントアシスタントシステム..
..... 33

お

音声コマンド..... 38

音量を調整する..... 175

オーディオ..... 29

音量を調整する

システム音声の音量..... 60

オーディオ..... 144

オーディオシステムの ON/OFF..... 29

オートサウンドレベライザー..... 60

か

画面表示の ON/OFF..... 58

き

共通設定..... 55

く

グループ通話をする..... 186

け

携帯電話

削除する..... 92

登録する..... 89

言語設定.....	55
検索キーワード.....	41

こ

コネクテッドサービス.....	196
-----------------	-----

さ

再生する

Android Auto.....	159
Apple CarPlay.....	156
Bluetooth®オーディオ.....	161
iPod/iPhone.....	153
USB メモリー.....	149
インテグレートッドストリーミング.....	164

削除する

Bluetooth®機器.....	92
ユーザープロファイル.....	53

し

時刻設定.....	55
システムを再起動する.....	13

す

数字の入力.....	24
------------	----

ステアリングスイッチ

音声操作.....	36
オーディオ.....	29
ハンズフリー（電話）.....	175

ステータスアイコン.....	17
----------------	----

スマートフォン

削除する.....	92
接続する.....	93
登録する.....	89

せ

セキュリティ設定.....	66
---------------	----

接続する

Bluetooth®機器.....	93
-------------------	----

iPod.....	32
USB 端子.....	32
Wi-Fi®.....	100
Wi-Fi® Hotspot.....	103

設定

Bluetooth®機器の設定.....	81
Wi-Fi® Hotspot 設定.....	79
Wi-Fi®設定.....	77
アプリケーション設定.....	84
音声操作の設定.....	64
各種設定.....	49
画面表示の設定.....	58
共通設定.....	55
サウンドやメディアの設定.....	60
ソフトウェア更新.....	68
通知設定.....	57
ナビゲーションシステムの設定.....	73
販売店情報の設定.....	65
プライバシーロック.....	66
ユーザープロファイル設定.....	53
全ルートマップ.....	135

そ

ソフトウェア更新.....	68
---------------	----

た

対応プロファイル.....	88
代表的な音声案内.....	141
タッチスクリーンの操作.....	19,22

ち

地図オプション.....	125
地図画面に表示される情報.....	126
地図画面の操作.....	26
地図画面の表示.....	25
地図の詳細画面.....	74

着信拒否.....181,184

調整する

 明るさ.....58

 画質.....58

 コントラスト.....58

 システム音声の音量.....60

 時計.....55

つ

通知設定.....57

て

デスティネーションアシスト.....132

転送する

 連絡先データ（電話番号）.....189

電話に出る／電話を受ける.....180

電話をかける

 お気に入りリスト.....177

 キーパッド入力.....179

 通話中.....185

 登録している連絡先.....178

 発信または着信の履歴.....176

 メッセージ.....194

電話を切りかえる.....188

電話を切る.....187

電話（着信／受話）.....175

と

登録

 販売店情報.....65

登録する

 Bluetooth[®]機器.....89

 時計を調整する.....55

 トヨタアカウント.....44

トラブルシューティング

 ハンズフリー（電話）.....172

 ラジオ.....147

な

ナビゲーション.....124

は

ハイレゾリレーション（ハイレゾ）音源204

ハンズフリー（電話）.....168

ひ

日付設定.....55

ふ

フォーマット情報.....204

プライバシーロック.....66

め

メッセージ.....191

メッセージへ返信する.....192

メッセージを送信する.....193

も

目的地検索.....127

文字の入力.....24

ゆ

ユーザープロファイル

 ユーザープロファイルの切りかえや連携.....51

 ユーザープロファイルの連携.....44

ら

ラジオを聴く.....144

る

ルート案内.....137

ルート案内の開始.....134

ルートオプション.....76

れ

連絡先データ（電話番号）

 転送する.....189

わ

割込着信.....	184
割込着信／割り込み通話.....	184

お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げ
いただきましたトヨタ販売店、または最寄りのトヨタ販売店へお問合せください。
また、リコール情報については、右記の QR コードからご確認ください。

販売店検索



リコール等情報



トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号



お電話によるお問い合わせ

全国共通・フリーコール
☎0800-700-7700
オープン時間 365日9:00～18:00



WEBページからのお問い合わせ



インターネットフォーム
によるお問い合わせ



チャットによる
お問い合わせ



手話通訳サービス
によるお問い合わせ

各お問い合わせサービスのご利用・受付時間など
詳細につきましては右記のQRコードからご確認ください。



「個人情報保護方針」については、https://toyota.jp/privacy_statement/にて掲載しております。

- ご愛用車のお問い合わせは、**自動車検査証（車検証）**をご用意いただくと、スムーズな対応が可能です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>



Publication No.M34646
Part No.01999-34646
Printed in Japan 01-2605 Z
タンドラ Multimedia